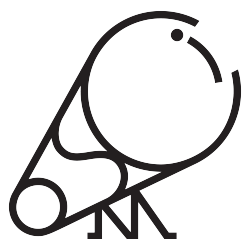


大阪市立科学館 館報

ANNUAL REPORT 2024

令和 6 年（2024 年）度版
vol.35



大阪市立科学館
OSAKA SCIENCE MUSEUM

利 用 案 内

開 館 時 間 9：30～17：00（観覧券の販売は16：30まで）
休 館 日 毎週月曜日（月曜日が祝日・振替休日の場合は開館し、翌平日に休館）
年末年始（12月28日～1月4日）
他にメンテナンス休館日を設けることがある。

利 用 料 金 （単位：円、団体は30名以上）

	展示場		プラネタリウム	
	個人	団体	個人	団体
大人	400	320	600	480
中人（高校・大学生）	300	240	450	360
小人（中学生以下）	無料	無料	300*	240*

*3歳以上

観覧券の販売時間 ★展示場観覧券 9：30～16：30
★プラネタリウム観覧券 9：30～16：00（ただし満席になり次第終了）

施 設 プラネタリウム、展示場、研修室、工作室、多目的室

バリアフリー 乳幼児のオムツ交換台、ベビーチェア、温水洗浄器付き多目的トイレ（全階）、救護室、
車いす・ベビーカーの貸し出し

売 店 天文、科学関連商品、オリジナルグッズなどを販売

カ フ ェ 約40席 軽食、喫茶等

利用上の注意 ペットの持ち込み不可（補助犬可）
撮影不可（プラネタリウムホール内）
大阪市立科学館利用規程、職員の指示に従っていただくこと

交 通 案 内

- ・Osaka Metro 四つ橋線肥後橋駅から西へ約500m
- ・京阪中之島線渡辺橋駅から南西へ約400m
- ・JR 大阪環状線福島駅から南へ約1,000m
- ・JR 東西線新福島駅から南へ約900m
- ・阪神福島駅から南へ約800m
- ・阪神高速環状線土佐堀出口から車で西へ約700m



目次

利用案内

	(12) 出張サイエンスショー	23
1部 2024 年度事業実績概要	(13) 実習生の受け入れ	24
1. 利用状況	(14) 研修講座	24
(1) 2024 年度 利用状況	(15) 共同事業	24
(2) 2024 年度 利用状況詳細	(16) 出版・執筆事業	27
(3) 年度別利用状況（至近5か年）	4. ボランティア活動	30
2. 2024 年度の主な活動・できごと	(1) 展示解説ボランティア	30
2部 事業編	(サイエンスガイド)	
1. 展示事業	(2) 実演担当ボランティア	30
(1) 展示場の公開	(科学デモンストレーター)	
(2) 展示場の改装事業	(3) 客員講師	31
(3) 展示場の公開休止	(4) 大阪市立科学館親善大使	31
(4) 展示の貸し出し	(5) 天体観測指導員	31
(5) 企画展	(6) 大阪市立科学館ボランティア	31
(6) 博学連携	SCIENCE de DOYA	
(7) 図書コーナー	5. ジュニア科学クラブ	32
(8) 学校団体向けワークシート	(1) 概要	32
(9) 展示解説文の多言語化	(2) 2024 年度の活動状況	32
(10) 1階「みんなのサイエンス・ラボ」	6. 科学館友の会	33
2. 演示事業	(1) 概要	33
(1) プラネタリウム	(2) 2024 年度の活動状況	33
(2) サイエンスショー	(3) 科学館との協働事業	34
3. 普及教育事業	7. 資料収集保管活動	35
(1) 講座・教室等	(1) 寄贈・寄託・移管資料	35
(2) 天体観望会	(2) 購入・製作資料	35
(3) 科学イベント	(3) 寄託・借用資料	35
(4) コロキウム	(4) 資料の貸し出し	36
(5) オンライン事業	(5) 図書資料の受入	36
(6) 教員研修プログラム	8. 調査研究活動	37
(7) 質問回答、相談活動	(1) 研究体制と研究テーマ	37
(8) 情報提供	(2) 調査研究活動	37
(9) おでかけサイエンス(出張科学イベント)	(3) 学会・研究会等での発表、招待講演	39
(10) 画像特別使用（画像提供）	(4) 著作・執筆等	40
(11) おむかえサイエンス	(5) 各種委員等	41

（６）学会・研究会所属状況	41	（５）その他展示コーナー等	74
（７）研究会の開催	42	５．プラネタリウム設備及び投影種別	75
（８）共同研究	42	（１）投影機器類	75
（９）研究費交付状況	42	（２）投影の種類	76
（１０）その他活動	42	６．主な設備・備品	77
９．広報・宣伝活動	43	（１）天体観測装置	77
（１）2024 年度広報・宣伝活動の特徴	43	（２）データ解析装置	78
（２）広報・広告活動	47	（３）ネットワークシステム	78
（３）プレスリリース	58	（４）物理・化学関係実験装置・測定器等	78
（４）その他 広報印刷物	59	（５）オンライン収録・配信用機器	79
10．売店事業	60	７．大阪市立科学館利用規程	81
11．電力量料金の推移	61	附録 大阪市立科学館職員名簿	83
（１）過去５カ年の各月使用電力量と 電力量料金の推移	61	大阪市立科学館概要	
12．イベント・その他	62		
（１）開館時間延長	62		
（２）七夕まつり	62		
（３）展示場の無料開放	62		
（４）北側広場の大道芸パフォーマンスへの開放	62		
（５）駐車場の管理運営	62		
（６）自動販売機の設置	62		
（７）Wi-Fi の設置	62		
（８）インターネット予約購入システム	62		
（９）キャッシュレス決済	62		
（１０）クリスマス	62		
3部 資料編	63		
１．科学館概要	63		
２．沿革	64		
３．施設概要	65		
（１）建物概要	65		
（２）配置図・断面図・各階平面図	66		
４．常設展示品一覧	70		
（１）４階 科学の探究	70		
（２）３階 物質の探究／サイエンスショー	72		
（３）２階 みんなでたのしむサイエンス	73		
（４）１階、正面玄関、地階、屋外	74		

1部 2024年度事業実績概要

1. 利用状況

(1)2024年度 利用状況

2024年4月1日～2025年3月31日（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数(日)		0	0	0	0	29	24	27	26	20	23	23	26	198
展示場	大人	0	0	0	0	36,647	21,955	15,452	13,916	9,453	11,938	16,144	16,395	141,900
	中人	0	0	0	0	6,541	4,671	3,321	3,610	2,975	2,199	4,275	6,835	34,427
	小人	0	0	0	0	27,930	18,889	18,374	22,699	11,043	10,707	13,322	12,581	135,545
	その他	0	0	0	0	5,861	4,351	3,371	2,973	1,985	2,537	2,833	2,701	26,612
	小計	0	0	0	0	76,979	49,866	40,518	43,198	25,456	27,381	36,574	38,512	338,484
	1日平均	0	0	0	0	2,654	2,078	1,501	1,661	1,273	1,190	1,590	1,481	1,710
プラネタリウム	大人	0	0	0	0	25,532	16,657	13,533	12,366	9,241	10,465	13,137	13,589	114,520
	中人	0	0	0	0	4,691	3,651	2,876	3,060	2,510	1,995	3,517	5,607	27,907
	小人	0	0	0	0	15,759	11,682	13,117	13,233	7,401	6,008	6,651	7,260	81,111
	その他	0	0	0	0	2,438	2,572	2,642	2,483	1,899	1,890	2,209	2,751	18,884
	小計	0	0	0	0	48,420	34,562	32,168	31,142	21,051	20,358	25,514	29,207	242,422
	1日平均	0	0	0	0	1,670	1,440	1,191	1,198	1,053	885	1,109	1,123	1,224
	1回平均	0	0	0	0	228	195	163	162	142	126	162	158	169
展示場・プラネタリウム計	大人	0	0	0	0	62,179	38,612	28,985	26,282	18,694	22,403	29,281	29,984	256,420
	中人	0	0	0	0	11,232	8,322	6,197	6,670	5,485	4,194	7,792	12,442	62,334
	小人	0	0	0	0	43,689	30,571	31,491	35,932	18,444	16,715	19,973	19,841	216,656
	その他	0	0	0	0	8,299	6,923	6,013	5,456	3,884	4,427	5,042	5,452	45,496
	合計	0	0	0	0	125,399	84,428	72,686	74,340	46,507	47,739	62,088	67,719	580,906
	1日平均	0	0	0	0	4,324	3,518	2,692	2,859	2,325	2,076	2,699	2,605	2,934
普及教育		142	145	124	122	13,033	265	799	920	690	900	1,112	691	18,943
総合計		142	145	124	122	138,432	84,693	73,485	75,260	47,197	48,639	63,200	68,410	599,849

(2)2024年度 利用状況詳細

			4月	5月	6月	7月	8月	9月
開館日数（日）			0	0	0	0	29	24
臨時休館日数（日）								
展示場	個人	大 人	0	0	0	0	36,570	21,403
		高大生	0	0	0	0	6,507	4,481
		中学生以下	0	0	0	0	27,518	12,173
		その他	0	0	0	0	5,848	4,152
		小 計	0	0	0	0	76,443	42,209
	団体	大 人	0	0	0	0	77	552
		高大生	0	0	0	0	34	190
		中学生以下	0	0	0	0	412	6,716
		その他	0	0	0	0	13	199
		小 計	0	0	0	0	536	7,657
	① 計		0	0	0	0	76,979	49,866
	1日平均		－	－	－	－	2654.4	2077.8
	インターネット購入※1		0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8,069 (11.4%)	3,768 (9.9%)
	クレジットカード支払い		0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	14,553 (18.9%)	8,127 (16.3%)
プラネタリウム	投影回数（回）		0	0	0	0	212	177
	個人	大 人	0	0	0	0	25,481	16,227
		高大生	0	0	0	0	4,657	3,473
		中学生以下	0	0	0	0	15,600	5,953
		その他	0	0	0	0	2,425	2,334
		小 計	0	0	0	0	48,163	27,987
	団体	大 人	0	0	0	0	51	430
		高大生	0	0	0	0	34	178
		中学生以下	0	0	0	0	159	5,729
		その他	0	0	0	0	13	238
		小 計	0	0	0	0	257	6,575
	② 計		0	0	0	0	48,420	34,562
	1日平均		－	－	－	－	1669.7	1440.1
	1回平均		－	－	－	－	228.4	195.3
インターネット購入※1		0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	32,725 (71.5%)	16,163 (63.0%)	
クレジットカード支払い		0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	36,731 (75.9%)	18,924 (54.8%)	
展示場・プラネタリウム計	個人	大 人	0	0	0	0	62,051	37,630
		高大生	0	0	0	0	11,164	7,954
		中学生以下	0	0	0	0	43,118	18,126
		その他	0	0	0	0	8,273	6,486
		小 計	0	0	0	0	124,606	70,196
	団体	大 人	0	0	0	0	128	982
		高大生	0	0	0	0	68	368
		中学生以下	0	0	0	0	571	12,445
		その他	0	0	0	0	26	437
		小 計	0	0	0	0	793	14,232
	入館者計(①+②)		0	0	0	0	125,399	84,428
	1日平均		－	－	－	－	4324.1	3517.8
	インターネット購入		0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	40,794 (35.1%)	19,931 (31.3%)
	クレジットカード支払い		0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	51,284 (40.9%)	27,051 (32.0%)
③ 普及事業		142	145	124	122	13,033	265	
合計(①+②+③)		142	145	124	122	138,432	84,693	

(単位：人)

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27	26	20	23	23	26	198
14,461	12,545	8,969	11,570	15,646	16,176	137,340
2,976	3,215	2,648	2,126	4,254	6,799	33,006
6,548	6,252	5,250	6,848	8,283	10,239	83,111
2,999	2,436	1,841	2,467	2,757	2,674	25,174
26,984	24,448	18,708	23,011	30,940	35,888	278,631
991	1,371	484	368	498	219	4,560
345	395	327	73	21	36	1,421
11,826	16,447	5,793	3,859	5,039	2,342	52,434
372	537	144	70	76	27	1,438
13,534	18,750	6,748	4,370	5,634	2,624	59,853
40,518	43,198	25,456	27,381	36,574	38,512	338,484
1500.7	1661.5	1272.8	1190.5	1590.2	1481.2	1709.5
1,151 (4.8%)	931 (4.2%)	569 (3.4%)	984 (4.8%)	1,718 (6.1%)	1,365 (4.1%)	18,555 (7.3%)
3,953 (9.8%)	3,544 (8.2%)	2,842 (11.2%)	3,921 (14.3%)	5,913 (16.2%)	5,123 (13.3%)	47,976 (14.2%)
198	192	148	161	158	185	1,431
12,805	11,468	8,851	10,201	12,846	13,453	111,332
2,640	2,841	2,473	1,985	3,517	5,607	27,193
3,636	3,564	3,198	3,665	4,160	6,118	45,894
2,284	1,963	1,755	1,808	2,138	2,724	17,431
21,365	19,836	16,277	17,659	22,661	27,902	201,850
728	898	390	264	291	136	3,188
236	219	37	10	0	0	714
9,481	9,669	4,203	2,343	2,491	1,142	35,217
358	520	144	82	71	27	1,453
10,803	11,306	4,774	2,699	2,853	1,305	40,572
32,168	31,142	21,051	20,358	25,514	29,207	242,422
1191.4	1197.8	1052.6	885.1	1109.3	1123.3	1224.4
162.5	162.2	142.2	126.4	161.5	157.9	169.4
8,525 (44.7%)	7,455 (41.7%)	6,744 (46.4%)	7,544 (47.6%)	10,810 (52.7%)	10,285 (40.8%)	100,251 (54.4%)
11,626 (36.1%)	10,776 (34.6%)	9,274 (44.1%)	10,372 (50.9%)	13,951 (54.7%)	14,885 (51.0%)	126,539 (52.2%)
27,266	24,013	17,820	21,771	28,492	29,629	248,672
5,616	6,056	5,121	4,111	7,771	12,406	60,199
10,184	9,816	8,448	10,513	12,443	16,357	129,005
5,283	4,399	3,596	4,275	4,895	5,398	42,605
48,349	44,284	34,985	40,670	53,601	63,790	480,481
1,719	2,269	874	632	789	355	7,748
581	614	364	83	21	36	2,135
21,307	26,116	9,996	6,202	7,530	3,484	87,651
730	1,057	288	152	147	54	2,891
24,337	30,056	11,522	7,069	8,487	3,929	100,425
72,686	74,340	46,507	47,739	62,088	67,719	580,906
2692.1	2859.2	2325.4	2075.6	2699.5	2604.6	2933.9
9,676 (22.5%)	8,386 (21.0%)	7,313 (23.3%)	8,528 (23.4%)	12,528 (25.7%)	11,650 (20.0%)	118,806 (27.1%)
15,579 (21.4%)	14,320 (19.3%)	12,116 (26.1%)	14,293 (29.9%)	19,864 (32.0%)	20,008 (29.5%)	174,515 (30.0%)
799	920	690	900	1,112	691	18,943
73,485	75,260	47,197	48,639	63,200	68,410	599,849

(注) 臨時休館日数には、メンテナンス・プログラム入替等のための休館を含まない。

(3)年度別利用状況(至近5か年)

(単位:人)

			2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
開館日数（日）			257	127	300	186	198
展示場	個人	大 人	39,608	40,640	113,754	89,290	137,340
		高大生	7,015	7,633	22,980	18,332	33,006
		中学生以下	20,675	26,805	71,160	51,982	83,111
		その他	8,901	8,999	26,903	22,181	25,174
		小 計	76,199	84,077	234,797	181,785	278,631
	団体	大 人	706	66	504	709	4,560
		高大生	179	151	1,661	1,244	1,421
		中学生以下	9,718	3,001	45,470	44,145	52,434
		その他	603	520	6,488	6,746	1,438
		小 計	11,206	3,738	54,123	52,844	59,853
	① 計		87,405	87,815	288,920	234,629	338,484
	1日平均		420	691	963	1,261	1,710
プラネタリウム	個人	大 人	61,375	51,032	140,347	93,448	111,332
		高大生	9,428	7,626	23,581	16,014	27,193
		中学生以下	16,153	20,321	50,576	33,614	45,894
		その他	11,805	7,854	23,835	15,816	17,431
		小 計	98,761	86,833	238,339	158,892	201,850
	団体	大 人	758	101	515	435	3,188
		高大生	176	141	1,093	756	714
		中学生以下	10,162	3,176	41,639	38,165	35,217
		その他	553	496	5,637	5,471	1,453
		小 計	11,649	3,914	48,884	44,827	40,572
	② 計		110,410	90,747	287,223	203,719	242,422
	1日平均		430	715	957	1,095	1,224
1回平均		65	106	133	152	169	
展示場・プラネタリウム計	個人	大 人	100,983	91,672	254,101	182,738	248,672
		高大生	16,443	15,259	46,561	34,346	60,199
		中学生以下	36,828	47,126	121,736	85,596	129,005
		その他	20,706	16,853	50,738	37,997	42,605
		小 計	174,960	170,910	473,136	340,677	480,481
	団体	大 人	1,464	167	1,019	1,144	7,748
		高大生	355	292	2,754	2,000	2,135
		中学生以下	19,880	6,177	87,109	82,310	87,651
		その他	1,156	1,016	12,125	12,217	2,891
		小 計	22,855	7,652	103,007	97,671	100,425
	入館者計(①+②)		197,815	178,562	576,143	438,348	580,906
	1日平均		770	1,406	1,920	2,357	2,934
	③ 普及事業		267	1,129	6,684	19,599	18,943
	総合計(①+②+③)		198,082	179,691	582,827	457,947	599,849

2. 2024年度の主な活動・できごと

	主な活動・できごと
4/14・4/15	オンライン天体観測会「月の動きをはかろう」
4/21	オンライン実験教室「おうちで科学とものづくり！」 生分解性プラスチックを作ろう！
5/17	オンライン天体観望会「月の動きをはかろう」
5/19	オンライン実験教室「おうちで科学とものづくり！」 生分解性プラスチックを作ろう！
6/16	オンライン実験教室「おうちで科学とものづくり！」 ひんやり！涼しさの科学
6/20	オンライン天体観望会「月の動きをはかろう」
6/30	科学デモンストレーター養成講座 2024 開講式
7/31	展示場リニューアル記念式典・内覧会
8/1	リニューアルオープン
8/1～11/24	リニューアルオープン企画展「日本の科学館は大阪から」
8/10	オンライン天体観望会「月の動きをはかろう」
8/17・8/18	青少年のための科学の祭典 2024 第 33 回 大阪大会 サイエンス・フェスタ
8/20・8/21	夏休みミニ气象台 2024
8/23	小・中学生のための電気教室 「さわってつくって楽しもう！なぜなにでんき？」
8/24	七夕講演会 2024 『『アマテラス粒子』の検出』
9/7	楽しいお天気講座「台風のふしぎ」
9/14	天体観望会「月と土星を見よう」
9/16	ワークショップ「のぞいてみよう！発酵の世界」
9/29	大人の化学クラブ 2024 日本酒の化学スペシャル
10/5	楽しいお天気講座「天気予報にチャレンジしよう」
10/12	天体観望会「月と土星を見よう」
10/19	「プラネタリウム 100 周年」×「すばる望遠鏡 25 周年」記念 全国一斉オンライン講演会
10/27	みんなで宇宙線空気シャワーを VR 技術で 3D 映像体験
10/27	大阪市立科学館 出張講演（おはなし会）「宇宙の石を地球へ届ける」
11/2	楽しいお天気講座「いろんな雲を観察しよう」
11/9	天体観望会「月と土星を見よう」
11/16	エレクトロニクス・ファンタスティクス！の家電楽器がやってくる！
11/30	高校生のための量子コンピュータとの出会い ～量子コンピュータが切り拓く未来の化学～
12/6～2025/4/6	企画展「万博で夢見たサイエンス展」
12/7	楽しいお天気講座「空気のふしぎな実験」
12/7	スペシャルナイト「はやぶさ 2 以前、はやぶさ 2 以後」
12/8	お天気実験教室 天気不思議を体験しよう

12/8	オンライン天体観望会「土星食を見よう」
12/11	大阪中之島美術館×大阪市立科学館 科学と音楽のワークショップ つくってみよう電子楽器・電子音楽
12/14	大人の化学クラブ 2024「分析化学入門」
12/21	天体観望会「木星と土星を見よう」
12/22	第3回 学びあうサイエンスキッズ広場
2025/1/11	天体観望会「月・木星・火星を見よう」
1/13	風力発電ワークショップ「風車を作って発電しよう！」
1/25	天体観望会「木星と火星を見よう」
1/25・1/26	サイエンスブックフェスタ
1/26	つくってみよう 電子楽器・電子音楽
2/1	楽しいお天気講座「雪の結晶を作ろう」
2/9	科学実験大会 2025
2/15	天体観望会「木星と火星を見よう」
2/16	特別サイエンスショー「爆発ステージ！」
3/1	スペシャルナイト「月の石ナイト」
3/2	We are, 科学デモンストレーターズ
3/8	天体観望会「月・木星・火星を見よう」
3/15	科学デモンストレーター養成講座 2024 修了式
3/22	電気記念日スペシャルイベント 2025
3/23	大阪中之島美術館×大阪市立科学館 はじめてのプログラミングー簡単なゲームを作ってあそぼう！
3/29	スペシャルナイト「月の石、『リュウグウ』の石ー太陽系の歴史を探るー」

2部 事業編

1. 展示事業

(1) 展示場の公開

メインテーマ「宇宙とエネルギー」にしたがい、主に1～4階の常設展示場で公開した。

2023年11月6日から第四次展示改装(第二期)事業のため全館休館していたが、リニューアル事業完成により8月1日から公開した。新展示場の名称とその概要は以下のとおりである。なお、展示改装に伴う新しい展示のリストは、第三部資料編、常設展示品一覧に掲載したので、参照されたい。

階	名称	概要	展示点数
4	科学の探究	「私たちの宇宙」、「大阪と科学」、「科学の歴史とあゆみ」の3つの大テーマで展開している。体験展示を中心に、テーマに合わせた実物資料の展示を組み合わせ、広い視点から科学を紹介する。	120
3	物質の探究	私たちの身のまわりの物質を作る元素や、元素を組み合わせでできる様々な物質に焦点を当て、資料展示、体験展示で紹介する。また、サイエンスステージでは、実験の演示と解説によるサイエンスショーを行う。	70
2	みんなでたのしむサイエンス	「ボールがころがる」、「鏡にうつる」、「風がふく」、「音がなる」、「じ石にくっつく」の5つのテーマで展開し、体験展示による「生の現象」を通じて、大人から子どもまで科学を楽しみながら学ぶ。	35
1	みんなのサイエンス・ラボ	企画展や大学との連携展示、ミニ実験ショー、ワークショップなどを展開し、市民と科学館スタッフがコミュニケーションしながら科学を学ぶ。	2
B1	ツアイス広場、ホワイエ	アトリウム空間のカールツアイスⅡ型投影機とその関連展示をはじめ、プラネタリウムをはじめとした資料の展示を行う。	2

(2) 展示場の改装事業

2023年度から2024年度にかけて、科学館のリニューアルを行った。展示場は3階サイエンスショーコーナー(2024年度からサイエンスステージと改称)と、図書コーナー周辺以外の全域をリニューアルした。施工対象面積は展示場以外の地下1階、1階を含め合計3,999㎡であり、うち展示場は2,979㎡で内訳は、4階1,469㎡、3階490㎡、2階487㎡、1階533㎡である。地下1階もカールツアイスⅡ型投影機をホワイエからアトリウム(新名称ツアイス広場)に移動し展示した他、ホワイエにも展示品を展開した。

なお、1階「みんなのサイエンス・ラボ」については常設展示を置かず(1)に述べたような内容で、企画展の展開をはじめ、コミュニティの参加、専門的なコミュニケーションによる様々な体験の提供の場としての機能を発揮できるスペースとしたのが特徴である。

なお、改装事業については「大阪市立科学館研究報告第34号」2024年に詳述している。

委託業者：株式会社丹青社 関西支店

契約金額：金997,920,000円(消費税額90,720,000円、展示場以外も含む)

(3) 展示場の公開休止

展示改装、館内リニューアル工事に伴い、2023年11月6日から2024年7月31日まで全館休館し、展示場の公開を休止した。

改装した展示場の様子



4階 柱状のコーナーサインを随所に配置した。大きなコーナー名でテーマを分かりやすくしている。



4階 1階入り口付近にあった学天則模型を4階に移設。シアターとともに大大阪時代の科学を語る場に。



3階 カラフルな展示を多数配置し、壁面にはテーマを象徴するグラフィックスを随所に配置した。



2階 子供に親しみやすいように壁面にグラフィックを配置し、継続利用の展示装置もパステル調にした。



1階 常設展示は置かず、フラットなフロアに大きなプロジェクタースクリーンがあるスペース。写真はオープニング時の企画展展開の様子。



地下1階 アトリウムをツアイス広場と改称し、中央にカールツアイスⅡ型投影機を展示。壁面は町風景パノラマを再現。周囲はカフェ・休憩スペースとなっている。

(4)展示の貸し出し

貸出先	期間	貸出物
大阪公立大学	4月1日*～3月31日**	磁石のテーブル

*2023 年度より引き続き貸し出し **2025 年度も引き続き貸し出し予定

(5)企画展

名 称	実施期間	見学者数	内 容
日本の科学館は大阪から	8月 1日～ 11月24日	204, 083人*	1937年に開館した日本初の科学館である大阪市立電気科学館から、現在の市立科学館に至る87年間の活動の歴史をはじめ、リニューアルした展示場や新たな活動と、より深い楽しみ方を紹介する。
万博で夢見たサイエンス展	12月6日～ 3月31日**	126, 456人*	2025年大阪・関西万博の開催を前に、「万博」の価値を、1970年万博のサイエンス関連分野の展開を中心に紹介した。 主要展示は前期（～1月25日）と後期（2月5日～）で入れ替え、前期はコンピュータをテーマに、IBM System/360コンピュータ実物資料を、後期は宇宙をテーマに月の石の実物資料を目玉として行った。

*期間中の展示場入場者数

**2025 年 4 月 6 日まで実施予定

(6)博学連携

2019 年度より展示場に「博学連携コーナー」を設け、大学等で行われている研究内容を紹介している。当初は展示場 4 階に設置していたが、2024 年度のリニューアルの機会に展示場 1 階に移動した。

2024 年度は、大阪大学理学研究科の各専攻が交代で展示を行った。

展示内容は以下のとおり。

展示期間	専攻	内容
8月1日～3月 2日	数学	「ブレイドの数学」 展示資料：パネル解説
	物理	「原子核とは何だろうか？」 展示資料：シリコンストリップ検出器・多芯式比例計数管、パネル・映像解説
	生物科学	「ゲノム探検の地図」 展示資料：顕微鏡・生物標本、パネル・映像解説
3月4日～3月31日*	化学	「光エネルギーを利用してプロトンを送るタンパク質」 展示資料：分子模型、タンパク質試料、パネル解説
	高分子科学	「物性と分子運動の関係を理解し、環境に優しく物性が制御された高分子材料をデザインする」 展示資料：弾むゴムと弾まないゴム、パネル解説
	宇宙地球科学	「宇宙機による月・惑星圏でのプラズマ観測」 展示資料：宇宙機搭載の観測装置、パネル解説

*2025 年 9 月 30 日まで展示予定

(7)図書コーナー

3階図書コーナーにおいて、天文学・物理学・化学などを中心とした科学関連図書・雑誌（7種類）を閲覧に供している。所蔵図書は約2,000冊。

(8)学校団体向けワークシート

8月の展示の全面リニューアルに対応し、学校団体が見学の際に使うワークシートの試作を行った。展示全体で見るべき展示をピックアップした「探検シート」の小学4年生分と、個別の展示の学び方をA4・1枚表裏（表が学習者、裏が指導者）向けのものを3種類試作した。

(9)展示解説文の多言語化

2024年のリニューアルオープンにおいて、各展示物近辺に展示解説用の二次元コードを貼付した。この二次元コードは、展示解説文の多言語化を図るために設置したもので、二次元コードは大阪市立科学館 公式ホームページにリンクしている。個人のスマートフォン等で二次元コードを読み込むことで日本語、英語、中国語、韓国語による展示解説文が閲覧できるようになっており、各言語利用者の便宜を図っている。

(10)1階「みんなのサイエンス・ラボ」

市民と科学館スタッフがコミュニケーションしながら科学を学ぶ場として、展示場1階に「みんなのサイエンス・ラボ」を設置した。企画展や大学との連携展示、ミニ実験ショー、ワークショップなどを展開するものである。2024年度は試行として、以下を行った。

実施日	内容	担当
11月16日	エレクトロニクス・ファンタスティコス！の家電楽器がやってくる！	上羽 貴大
11月26日、27日	手回し計算機のデモンストレーション	永原 達哉
12月24日、26日、27日	IchigoJamでプログラミングにちょうせん！	西野 藍子、猪口 睦子 木村 優斗
12月6日～3月31日	月の模擬砂をさわってみよう（5回実施）	野村 美月、渡部 義弥
1月26日	つくってみよう 電子楽器・電子音楽	上羽 貴大

2. 演示事業

(1) プラネタリウム

1-1) 投影活動

プラネタリウムの投影は通常日は1日7回、開館延長日は1日8回実施した。機器構成や投影方式については3部 資料編にまとめた。

(ア) 一般投影 A

「今夜の星空」の解説に加え、下記のテーマ解説を行った。学芸スタッフ等による生解説を基本としている。

総投影回数：500回、 観覧者数：86,400人

タイトル	制作担当	投影期間	投影回数	観覧者数
探れ！天の川の姿	江越 航	8月 1日*～ 12月 1日	270	46,672名
オーロラに逢いにいこう	西野 藍子	12月 6日 ～ 3月 2日	166	29,967名
月世界への道	飯山 青海	3月 4日 ～ 3月31日**	64	9,761名

*7月31日まで休館。

**2025年6月1日まで投影予定。

(イ) 一般投影 B

当館オリジナル製作の全天周映像作品をメインに、学芸スタッフ等による「今夜の星空」の生解説と合わせて投影している。

総投影回数：396回、 観覧者数：67,564人

タイトル	制作	投影期間	投影回数	観覧者数
まだ見ぬ宇宙へ	製作委員会（大阪市立科学館、(有)ライブ、(株)五藤光学研究所） 担当：飯山、2022年	* 8月 1日～ 12月 1日	214	43,838名
HAYABUSA2 ～REBORN	製作委員会（大阪市立科学館、(有)ライブ、(株)五藤光学研究所） 担当：飯山、2020年	12月 6日～ 3月 2日	134	15,018名
ブラックホールを見た日 ～人類100年の挑戦～	製作委員会（大阪市立科学館、(合)スターライトスタジオ、(株)五藤光学研究所） 担当：石坂・飯山、2021年	3月 4日～ 3月31日**	48	8,708名

*7月31日まで休館。

**2025年度6月1日まで投影予定。

(ウ) 学芸員スペシャル

学芸員の専門・得意分野を生かした投影を行う。担当者と解説テーマは約一月前にホームページ上にて告知。

投影期間	投影回数	観覧者数
通年の土日祝日（17:00～）*	78	13,760名

*10月21日はイベント開催のため実施なし。

(エ) 学習投影

平日学校団体専用の学習用プログラム。見学校：378校、総投影回数：153回、観覧者数：26,935名

投影期間	投影回数（A：小学校向き）	投影回数（B：中学校向き）
8月27日～12月20日 1月9日～3月14日 (9:50～、11:55～)	149	4

※学習投影（A）（B）の種別は、3部 5. (2)「投影の種別」を参照

(オ)ファミリータイム

幼児から小学校低学年までの子供連れの家族（園団体を含む）向け投影（35 分間）。

投影期間	投影回数	観覧者数
通年の平日 11:00、土日祝日 10:10/13:00、 市内学校休日期間 10:10/13:00	299	46,729 名

(カ)スペシャルナイト

天文学の普及と市民の生涯学習に資することを目的に、学芸員の専門・得意分野を活かした特別投影。

名 称	実施日	参加費	参加者数	担 当
はやぶさ 2 以前、はやぶさ 2 以後	12月 7日	1,000 円	131 名	飯山 青海
月の石ナイト	3月 1日	1,500 円	250 名	渡部 義弥
月の石、「リュウグウ」の石 -太陽系の歴史を探る-	3月29日	1,000 円	240 名	江越 航

(キ)特別投影

小学校高学年生とその家族を主たる対象として、天体観察の方法などを解説する特別投影。ジュニア科学クラブ会員も同時に対象とする。投影時間約 35 分間

名 称	実施日	投影回数	参加者数
冬休みの天体観察	12月15日	1 回	204 名
春休みの天体観察	3月16日	1 回	209 名

1-2)プラネタリウム団体との提携事業

事業・団体	出席者	実施日	会場
全国プラネタリウム大会 2024・横浜	渡部 義弥 飯山 青海 江越 航	6月3日～5日	はまぎんこども宇宙科学館 (横浜こども科学館)
日本プラネタリウム協議 会近畿地域研修会	飯山 青海 西野 藍子 野村 美月 長尾 碧	2月25日	大阪市立科学館

1-3)オリジナル全天周映像作品の製作

一般投影 B で投影するための全天周映像作品の制作活動を行っている。2025 年度以降、当館での一般投影の他、他館への配給も検討している。

作品名	担当	制作委託業者	概要
GALAXY ～銀河の生い立ちを探る～	石坂 千春 飯山 青海	株式会社D&D ピクチャーズ	銀河の形状の成り立ちを解説し、 生命の住める星が存在しう場所 と銀河の形状の関係を解説する。

(2)サイエンスショー

平日は予約団体向けと一般来館者向けにそれぞれ最大3回と1回、土日祝は1日4回上演した。ショーの演目は、これまでプラネタリウムのプログラム変更と同様に3ヶ月ごとに固定して実施していたが、体制を見直し、演目の3ヶ月間の固定はせず、これまでのレパトリーを様々な観覧できるようにした。ただし予約団体向けの演目は「炎のアツい科学」とした。上演演目のスケジュールはホームページで告知している。定員90名。

2-1) 演示実績

タイトル	上演回数	見学者数 (人)
炎のアツい科学	263	15,730名
バランス大実験	92	6,850名
風はふしぎ	70	6,390名
花火の化学	53	6,140名
ロケット!	41	2,770名
静電気	39	2,140名
水の科学	35	2,440名
光の三原色	18	1,470名
光のスペクトル	16	790名
ブーメラン	12	730名
空気パワー	10	990名
磁石のひみつ	10	670名
てづくり電気	9	760名
偏光板	5	370名
酸アルカリ	4	320名
合 計	677	48,560名

3. 普及教育事業

(1) 講座・教室等

2023 年 11 月 6 日から工事のため休館したため、2024 年 8 月 1 日のリニューアルオープンまでオンライン実験教室を除いて科学教室等のイベントは無かった。

またコロナ禍は収まったものの小規模の発生やインフルエンザの流行により、参加者数に影響の出た科学教室等があった。一方で、大阪中之島美術館など、館外にて共催で行った事業もあった。

1-1) 科学教室

名称	実施日	参加者数	備 考
小・中学生のための電気教室「さわってつくって楽しもう！なぜなにでんき？」	8月23日(金)	8組 16 名	電気とはどんなものか学び、メッセージちょきん箱の工作を行った。 対 象：小学4年生～中学3年生 開 催：13:30～16:00 協 同*：電気学会関西支部 参加費：1,500 円 担 当：大倉 宏
楽しいお天気講座「台風のふしぎ」	9月 7日(土)	19 名	台風のしくみについて知ること、台風が近づいた時にどのような備えが必要かを学んだ。 対 象：小学3年生～中学3年生 開 催：13:30～15:30 協 同*：一般社団法人 日本気象予報士会関西支部 参加費：500 円 担 当：江越 航
ワークショップ「のぞいてみよう！発酵の世界」	9月16日(月)	22 名	発酵について理解を深めることを目指し、酵母やコウジカビ、乳酸菌などの顕微鏡による観察、アルコール発酵で風船やパン生地の膨張の観察、酵素による糖化実験、酵素による過酸化水素の分解を用いたフィルムケースのロケット実験などを行った。 対 象：小学4年生以上 開 催：午前の部：10:30～12:00 午後の部：14:00～15:00 主 催：大阪市立科学館ボランティア SCIENCE de DOYA 参加費：500 円 担 当：上羽 貴大
大人の化学クラブ 2024 日本酒の化学スペシャル 実験ワークショップ「日本酒を分析する」	9月29日(日)	17 名	日本酒の味わいの指標「日本酒度」と「酸度」について、工作や中和滴定分析を通して理解を深めた。 対 象：20 歳以上 開 催：13:00～14:30 参加費：1,000 円 協 同*：酒ミュージアム (公益財団法人 白鹿記念酒造博物館) 担 当：上羽 貴大
楽しいお天気講座「天気予報にチャレンジしよう」	10月 5日(土)	16 名	気象観測の方法、天気変化のしくみを学び、明日の天気を予想した。 対 象：小学3年生～中学3年生 開 催：13:30～15:30 協 同*：一般社団法人 日本気象予報士会関西支部 参加費：500 円 担 当：江越 航

みんなで宇宙線空気シャワーをVR技術で3D映像体験	10月27日(日)	9組25名	展示場の展示で宇宙線について学び、目には見えないが昼夜起きている宇宙線空気シャワーと呼ばれるダイナミックな現象について、VR 技術を使った迫力ある 3D 映像により体験した。 対 象：小中学生とその保護者 開 催：13:30～16:00 協 同*：信州大学工学部富田研究室 参加費：無料 担 当：大倉 宏
楽しいお天気講座「いろいろな雲を観察しよう」	11月 2日(土)	6名	空に浮かぶ雲にはどのようなものがあるのか、雲のパネルを作りながら、いろいろな雲の種類と性質を学んだ。 対 象：小学3年生～中学3年生 開 催：13:30～15:30 協 同*：一般社団法人 日本気象予報士会関西支部 参加費：500 円 担 当：江越 航
高校生のための量子コンピュータとの出会い ～量子コンピュータが切り拓く未来の化学～	11月30日(土)	12名	量子コンピュータの原理や応用の可能性について、講演やシミュレーション、また実機による実習を通して学んだ。 対 象：高校生以上 開 催：13:00～16:30 主 催：株式会社 QunaSys、大阪市立科学館 共 催：文部科学省 光・量子飛躍フラッグシッププログラム(Q-LEAP)「量子人材を創出するエコシステムづくり」 協 力：大阪大学 量子情報・量子生命研究センター(QIQB)、山本典史教授(千葉工大)、松井亨准教授(筑波大学) 参加費：無料 担 当：上羽 貴大
楽しいお天気講座「空気のふしぎな実験」	12月 7日(土)	15名	空気に関する様々な実験を体験することを通して、天気予報でよく使われる気圧とは何かについて学んだ。 対 象：小学3年生～中学3年生 開 催：13:30～15:30 協 同*：一般社団法人 日本気象予報士会関西支部 参加費：500 円 担 当：江越 航
お天気実験教室 天気の不思議を体験しよう	12月 8日(日)	22組47名	毎日放送 気象キャスターの前田智宏さんが講師となり、天気のおもしろさについてクイズや実験を交えて、分かりやすく解説を行い、オリジナルの雲図鑑を作成した。 対 象：小学生とその保護者 開 催：13:30～15:30 協 同*：NPO 法人気象キャスターネットワーク 参加費：無料 担 当：江越 航

大阪中之島美術館 × 大阪市立科学館 科学と音楽のワークショップ つくってみよう電子楽器・電子音楽	12月11日(水)	18名	音響システムをテーマとした展覧会「Osaka Directory 7 Supported by RICHARD MILLE 小松 千倫」(会期: 11月16日～12月15日)の関連イベントとして実施した。展覧会を学芸員の解説とともに鑑賞したのち、ブレッドボードとICなど電子素子を用いて発振回路を構成し、自由に試行錯誤、改造しながら、自分だけの電子楽器を制作した。その後グループに分かれ、音作品を制作し、発表を行った。 対 象: 中学生以上 開 催: 13:00～17:00 協 同*: 大阪中之島美術館 会 場: 大阪中之島美術館2階 多目的スペース 参加費: 無料 協 力: 20/100 (にじゅうひゃく) 助 成: 一般財団法人地域創造 担 当: 上羽 貴大
大人の化学クラブ2024 分析化学入門	12月14日(日)	11名	日本酒の酸度を分析する中和滴定実験をとおして、ビュレットやホールピペットなど、ガラス実験器具の基本的な扱いや、共洗いや中和などの化学概念を学んだ。二人一組で実験した。 対 象: 20歳以上 開 催: ①10:00～12:00 ②14:00～16:00 参加費: 1,000円 担 当: 上羽 貴大
学びあうサイエンス・キッズ広場2024	12月22日(日)	約500名	中高生が先生役となり、小中学生向けにストロボスコープ、葉脈標本づくり、ペーパークロマトグラフィ、ホバークラフト、スライムなど10種類の工作や実験を行った。 対 象: 小中学生とその保護者 開 催: ①10:30～12:30 ②14:30～16:30 協 同*: 四天王寺大学 みらい科学推進室 参加費: 無料 担 当: 大倉 宏・猪口 睦子
風力発電ワークショップ 「風車を作って発電しよう!」	1月13日(月)	23名	発電のしくみとその効率などについて工作をしながら考えるワークショップ。 主 催: 大阪市立科学館ボランティア SCIENCE de DOYA、未来創造本部みらいほん(川崎重工・神戸市企画調整局) 対 象: 小学生とその保護者 開 催: 13:00～15:00 参加費: 無料 担 当: 上羽 貴大
「つくってみよう電子楽器・電子音楽」	1月26日(日)	16名	ブレッドボードとICなど電子素子を用いて発振回路を構成し、自由に試行錯誤、改造しながら、自分だけの電子楽器を制作した。その後グループに分かれ、音作品を制作し、発表を行った。 対 象: 中学生以上

			開 催：10:00～16:00 参加費：1,500 円 協 力：20/100（にじゅうひゃく） 担 当：上羽 貴大
楽しいお天気講座「雪の結晶を作ろう」	2月 1日(土)	16 名	冬の代表的な気象現象である雪の降る仕組みを学び、ペットボトルの中で雪の結晶を作る実験を行った。 対 象：小学3年生～中学3年生 開 催：13:30～15:30 協 同*：一般社団法人 日本気象予報士会関西支部 参加費：800 円 担 当：江越 航
特別サイエンスショー「爆発ステージ！」	2月16日(日)	約 100 名	科学の鉄人優勝経験があるサイエンスショー熟練者である愛知淑徳大学の教授の海老崎功氏による特別サイエンスショー「爆発ステージ！」を実施した。終了後に、サイエンスショー演者への講習会を実施した。 対 象：どなたでも 開 催：15:00～15:30 参加費：無料 担 当：大倉 宏
大阪市立科学館×大阪中之島美術館 はじめてのプログラミング-簡単なゲームを作ってあそぼう！	3月23日(日)	午前の部：20 名 午後の部：19 名	展覧会「大カプコン展-世界を魅了するゲームクリエイション」関連イベントとして実施した。こどもパソコン「IchigoJam」を使って、簡単なプログラミングを通してゲーム作りを行うことで、ゲームクリエイターたちがどのように創造し、複雑なゲームを実現しているのかを体験してもらった。 開 催：＜午前の部＞10:00～12:00 ＜午後の部＞14:00～16:00 対 象：＜午前の部＞小学生 ＜午後の部＞中学生以上 参加費：無料 助 成：一般財団法人地域創造 担 当：猪口 睦子、西野 藍子

*大阪市立科学館以外の主催者

1-2)講演会、シンポジウム

名 称	実施日	参加者数	備 考
七夕講演会 2024 『「アマテラス粒子」の検出』	8月24日(土)	67 名	観測史上2番目に高いエネルギーの宇宙線「アマテラス粒子」がどこでどのように生まれ、地球にやってきたのでしょうか。宇宙における最大の謎のひとつとなっている。極高エネルギー宇宙線の謎について説明し、北半球最大の観測装置であるテレスコープアレイ実験について紹介した。 対 象：中学生以上 開 催：13:30～15:00 協 同*：大阪公立大学（大阪市博物館機構包括連携） 担 当：石坂 千春
大人の化学クラブ 2024 日本酒の化学 スペシャル 講演① 「日本酒をつくる」	9月29日(日)	約 70 名	日本酒づくりについて、またその現場について、杜氏から話を伺った。 講 師：小川 義明（辰馬本家酒造株式会社 丹波杜氏） 開 催：15:30～16:30

			対 象：どなたでも 参加費：無料 協 同*：酒ミュージアム （公益財団法人 白鹿記念酒造博物館） 担 当：上羽 貴大
大人の化学クラブ 2024 日本酒の化学 スペシャル 講演② 「日本酒の味わいと 化学」	9月29日(日)	67 名	日本酒3種の試飲をしながら、日本酒の味わいを作り出す 化学について、杜氏と学芸員が紹介した。 講 師：小川 義明（辰馬本家酒造株式会社 丹波杜氏） 開 催：17:00～18:00 対 象：20 歳以上 参加費：1,500 円 協 同*：酒ミュージアム （公益財団法人 白鹿記念酒造博物館） 担 当：上羽 貴大
「プラネタリウム 100 周年」×「すばる 望遠鏡 25 周年」記念 全国一斉オンライン 講演会	10月19日(土)	65 名	国立天文台ハワイ観測所と大阪市立科学館を含む全国 25 の施設をオンラインでつなぎ、「すばる望遠鏡」に関する講 演会を実施した。 対 象：どなたでも 開 催：14:00～15:30 参加費：無料 担 当：野村 美月
大阪市立科学館 出 張講演（おはなし会） 「宇宙の石を地球へ 届ける」	10月27日(日)	32 名	共催イベント「小惑星探査機『はやぶさ 2』実物大模型展 示」の一環として、宇宙研究者たちの想いを知り、宇宙や 科学の世界に興味をもつていただくことを目的とし、はや ぶさ 2 に関する大阪市立科学館からの出張講演を実施し た。 対 象：小学校 4 年生以上 開 催：15:30～17:00 参加費：無料 協 同*：京阪ホールディングス、大阪市北区役所、アート エリア B 1 担 当：飯山 青海

*大阪市立科学館以外の主催者

(2)天体観望会

天文現象や有名な天体を実際に観察する機会を提供する天体観望会を開催している。観望会の運営には、ボランティアによる天体観望会指導員の協力を得ている。また、天文現象に際して、科学館の天体望遠鏡で撮影した映像を YouTube で配信するオンライン天体観望会、各地の観測場所を Zoom を利用して接続し星食の現象時刻の違いを観測するオンライン天体観測会を開催した。

2-1)天体観望会

タイトル	実施日	参加者数	天 候
月と土星を見よう	9月14日(土)	33名	曇りときどき晴れ
月と土星を見よう	10月12日(土)	46名	晴れ
月と土星を見よう	11月 9日(土)	43名	晴れ、雲あり
木星と土星を見よう	12月21日(土)	36名	雨
月・木星・火星を見よう	1月11日(土)	48名	晴れ
木星と火星を見よう	1月25日(土)	35名	晴れ

木星と火星を見よう	2月15日(土)	34名	曇り、小雨
月・木星・火星を見よう	3月 8日(土)	32名	晴れ

2-2)オンライン天体観望会

タイトル	実施日	同時接続者数	天 候
土星食を見よう	12月8日(日)	76名	晴れ

2-3)オンライン天体観測会

タイトル	実施日	参加者数	天 候
月の動きをはかろう	4月14日(日)	5名	晴れ
月の動きをはかろう	4月15日(月)	曇天のため中止	曇り
月の動きをはかろう	5月17日(金)	4名	晴れ
月の動きをはかろう	6月20日(木)	曇天のため中止	曇り
月の動きをはかろう	8月10日(土)	11名	晴れ

(3)科学イベント

名 称	実施日	参加者数	備 考
青少年のための科学の祭典 2024 第 33 回 大阪大会 サイエンス・フェスタ	8月17日(土) 8月18日(日)	5,000 名 7,000 名	自然科学のさまざまな分野の実験や工作、講演などを通じて、青少年に自然科学の楽しさを味わってもらうことを目的に開催した。 対 象：どなたでも 開 催：各日 10:00～17:00 会 場：大谷中学校・高等学校 内 容：ドラム缶つぶし、バンデグラフを使った静電気実験、アイの葉のたたき染め等、全64件 協 同*：「青少年のための科学の祭典」大阪大会実行委員会、公益財団法人日本科学技術振興財団、日本物理教育学会近畿支部、一般社団法人日本物理学会大阪支部、読売新聞社 参加費：無料 担 当：大倉 宏
夏休みミニ气象台 2024	8月20日(火) 8月21日(水)	525名 507名	気象や地震についての実験コーナーや、雨や風、地震の揺れなどを計る機械の展示、お天気に関するミニ講座を通じて、気象関係の理解を深めてもらった。 対 象：どなたでも 開 催：8/20(火) 11:00～16:30 8/21(水) 9:30～15:00 内 容：気象に関する展示、お天気講座、実験・工作コーナー等 協 同*：大阪管区气象台 参加費：無料 担 当：江越 航
エレクトロニコス・ファンタスティコス！の家電楽器がやってくる！	11月16日(土)	約 800 名	家電を楽器に生まれ変わらせオーケストラをつくるプロジェクト「エレクトロニコス・ファンタスティコス！」の家電楽器を実際にさわって、意外な音色を体験してもらった他、家電楽器の製作についての講演及びライブパフォーマンスを行った。 開 催：13:00～16:30

			協 同*：エレクトロニコス・ファンタスティコス！ 京都 Orchest-Lab 参加費：無料 担 当：上羽 貴大
サイエンスブック フェスタ	1月25日(土) 1月26日(日)	305 名 373 名	科学館が扱うサイエンスやテクノロジーについて、 自ら本などを製作して紹介している人たちと、科学 に関心のある人が交流するイベントを開催した。 対 象：小学1年生以上 開 催：1/25(土) 13:00～16:30 1/26(日) 10:00～15:30 参加費：無料 担 当：渡部 義弥、西野 藍子
科学実験大会 2025	2月 9日(日)	各回 約100名	公募により全国から集まった方々にサイエンスステ ージにてサイエンスショーを披露していただいた。 全9演目
特別サイエンスショ ー「爆発ステージ！」	2月16日(日)	約90名	海老崎功教授（愛知淑徳大学）が爆発についてのサイ エンスショーの上演を行った。
We are, 科学デモン ストレーターズ	3月 2日(日)	580名	サイエンスショー会場にて科学デモンストレーター が終日、特別プログラムでさまざまな実験ショーを 披露した。 対 象：どなたでも 開 催：11:00～16:30 参加費：無料 担 当：科学デモンストレーター

*大阪市立科学館以外の主催者

(4)コロキウム

普及事業として、中之島科学研究所コロキウムを行った。実施は毎月第2木曜日（8月を除く）で、今年度は7回実施した。

実施日	発表者	参加者数	演 題
9月12日(木)	西野 藍子 嘉数 次人	9名	日本の科学館と大阪
10月10日(木)	吉岡 克己	18名	大阪市立科学館の新展示デザインとこれからの活用
11月14日(木)	大倉 宏	16名	量子のふしぎ
12月12日(木)	渡部 義弥	16名	万博で夢見たサイエンス
1月 9日(木)	北尾 浩一	23名	星を語る、星を歌う、星に祈る
2月13日(木)	木村 優斗	12名	韓国科学館視察研修の報告
3月13日(木)	宮島 一彦	26名	中国天文学史と朝鮮の古星図

(5)オンライン事業

名 称	実施日	備 考
科学館友の会 例会、総会、 一部のサークル活動	—	配信方法：Zoom による対面配信 詳しくは、2部 6. 科学館友の会を参照 担当：飯山 青海
オンライン天体観測会 「月の動きをはかろう」	4月14日(日) 4月15日(月) 5月17日(金) 6月20日(木) 8月10日(土)	Zoom を使用し各地の現象時刻の違いを観測 詳しくは、2部 3. (2) 天体観望会を参照 担当：飯山 青海

オンライン実験教室「おうちで科学とものづくり！」	4月21日(日) 5月19日(日) 6月16日(日)	配信方法：Zoom による対面教室 詳しくは、2部 4. ボランティア活動を参照 担当：SCIENCE de DOYA
オンライン天体観望会 「土星食を見よう」	12月 8日(日)	配信方法：Youtube によるライブ配信 詳しくは、2部 3. (2) 天体観望会を参照 担当：飯山 青海

(6)教員研修プログラム

大阪市教育センター等との協同で下記の研修を行った。

名 称	実施日	参加者数	備 考
科学館連携研修	① 5月15日(水) ② 10月17日(木)	14 名 12 名	実施中のサイエンスショーの演示と解説。 協 同*：大阪市教育センター 内容・担当： ①「風の意外な力」大倉 宏 (大阪市総合教育センターにて開催) ②「炎のアツい科学」上羽 貴大
小学校理科研修B			2024 年度は開催せず
新任教員研修			2024 年度は開催せず
科学館セミナー			2024 年度は開催せず
大阪府中学校教育 研究会理科部研修会			2024 年度は開催せず

*大阪市立科学館以外の主催者

(7)質問回答、相談活動

学芸課で受けた電話による問い合わせや、来訪による質問件数は以下のとおり。

天文関係 (計 110 件)		物理・化学関係 (計 19 件)	
質問内容	件数	質問内容	件数
暦関連 (春秋分、日食含む)	8	物理	9
天体位置 (日の出入、月齢、惑星位置等)	9	化学	8
太陽系 (太陽、流星群含む)	39	その他	2
星座	4		
銀河系内 (恒星、星雲、星団)	8		
銀河・宇宙	4		
観測機器 (望遠鏡、天文台、観測衛星等)	16		
その他	22		

(8)情報提供

名 称	内 容
ホームページ https://www.sci-museum.jp/	科学館の行事案内や活動などに関するさまざまな情報、利用案内などの情報を随時提供している。 2024 年度ページアクセス数：約 160 万件 アクセス数累計：約 2,306 万件 (1998 年 3 月 10 日～2025 年 3 月 31 日) 担当：竹浦 雅美、伊丹 柚、曾我部 孝子
SNS (X (旧 Twitter)、Instagram)	X (旧 Twitter) では「大阪市立科学館広報」「学芸員@大阪市立科学館」「館長のひとりごと」の 3 つのアカウントで情報を提供している。また、Instagram でも「大阪市立科学館」のアカウントで情報提供している。

	X「大阪市立科学館広報」アカウントでは、科学館の行事案内や科学館の活動、利用案内などに関するさまざまな情報を、2024 年度に 134 件、累計 4,191 件提供し、9,544 人にフォローされている。 (担当：伊丹 柚、竹浦 雅美) X「学芸員@大阪市立科学館」アカウントでは、科学に関する情報を、2024 年度に 194 件、累計で 5,958 件提供し、11,472 人にフォローされている。(担当：学芸員一同) X「館長のひとりごと」アカウントは、2024 年 4 月から運用を開始し、科学館の活動や身の回りに発見した科学の楽しみなどを、2024 年度に 60 件提供し、311 人にフォローされている。(担当：吉岡 克己) Instagram「大阪市立科学館」アカウントでは、科学館の行事案内や科学館の活動、利用案内などに関するさまざまな情報を、2024 年度に 268 件、累計で 950 件提供し、3,104 人にフォローされている。 (担当：伊丹 柚、竹浦 雅美)
YouTube (「学芸員の展示場ガイド」) https://www.sci-museum.jp/exhibit/movie/	学芸員がサイエンスガイドとともに展示物を解説する動画を YouTube で公開している。累計で 108 件となった(番外編 10 件を含む、展示の変更や新たに撮影したために除外した動画あり)。うち 4 件が英語バージョンで、49 件には英語字幕を付加している。新展示については制作中。

(9)おでかけサイエンス(出張科学イベント)

各所で、科学の普及・教育を目的としたモバイルプラネタリウム投影、出張サイエンスショー、出張科学教室、工作教室や講演会を例年実施している。

9-1)モバイルプラネタリウム

2024 年度の実績はなし。

9-2)3D 宇宙映像体験

2024 年度の実績はなし。

9-3)出張サイエンスショー(一般)

2024 年度の実績はなし。

9-4)サイエンス縁日

2024 年度の実績はなし。

9-5)ワークショップ

2024 年度の実績はなし。

9-6)イベントプロデュース

実施日	依頼者	場所	名称	参加者数	講師/解説
3 月 22 日 (土)	電気記念日 行事関西実 行委員会	大阪市立 科学館	電気記念日スペシャ ルイベント 2025	①196 名 ② 63 名 ③ 30 名 ④210 名	①電気クラゲ ②工作「かんたんモーター」 ③ガイドツアー ④スペシャル・サイエンス ショー

9-7)講演

実施日	依頼者	場所	名称	参加者数	講師/解説
3月1日(土)	浪速高等学校 浪速中学校	浪速高等学校 浪速中学校	おでかけサイエンス (講演会) 「OWN-Selection (1S)」	6名	江越 航

9-8)コンサルティング

2024年度の実績はなし。

9-9) その他

2024年度の実績はなし。

(10)画像特別使用(画像提供)

依頼者	画像名称
日本食糧新聞社	「レーウェンフックの顕微鏡」の写真1枚
株式会社小学館集英社プロダクション	「学天則オリジナル写真(original2)」1枚
株式会社TBS スパークル	「1749年 土星・金星スケッチ」画像1枚
株式会社筑摩書房	①天文分野之図、②宝暦3年版伊勢暦、③西洋新法暦書、 ④宝暦5年版伊勢暦、⑤垂揺球儀、⑥象限儀 画像6枚
株式会社アストロアーツ	「平天儀図解・火星」画像1枚
株式会社ベネッセコーポレーション	月食の経過

(11)おむかえサイエンス

実施日	依頼者	内容	参加者数	講師
9月13日(金)	同志社国際学院初等部	特別サイエンスショー(じしゃくのひみつ)	53名	大倉 宏
10月16日(水)	香里ヌヴェール学院 中学校高等学校	おむかえサイエンス「新展示場の案内」	30名	吉岡 克己
10月19日(土)	同志社国際学院初等部	サイエンスショー「じしゃくのひみつ」	46名	大倉 宏
10月19日(土)	近畿ケニス会	おむかえサイエンス「リニューアル後の展示場紹介」	16名	小野 昌弘
11月1日(金)	上海市都市再生研修団	おむかえサイエンス「リニューアル後の展示場紹介」	26名	吉岡 克己
11月26日(火)	岸和田市立小学校・ 幼稚園校園長会研修部	おむかえサイエンス「リニューアル後の展示場紹介」の実施	33名	小野 昌弘
1月24日(金)	大阪公立大学教育後援会	おむかえサイエンス「HAYABUSA2～REBORNについて」	24名	飯山 青海
3月23日(日)	関西博物館研究会	おむかえサイエンス「展示改装のねらいなどの紹介」	10名	吉岡 克己
3月28日(金)	大阪公立大学附属高等学校天王寺校舎	おむかえサイエンス「改装後の展示場について」	18名	上羽 貴大
3月30日(日)	ペガサス同友会	おむかえサイエンス「学芸員のお仕事について」	30名	江越 航

(12)出張サイエンスショー(大阪市立小学校向け)

大阪市の小学校との連携事業のひとつとして、サイエンスショー担当職員や科学デモンストレーターが講師として赴き、サイエンスショーを題材に授業を行った。

小学校名	実施日	学年	人数	タイトル	講師
西三国	11月6日(水)	3年	93名*	見える見えないのふしぎ(偏光)	吉岡 亜紀子

野里	11月20日(水)	6 年	57 名*	炎のアツい科学	猪口 睦子
東小橋	11月22日(金)	3、6 年	24 名*	風のもつちから	大倉 宏
大国	11月27日(水)	6 年	19 名	炎のアツい科学	木村 友美
長谷川	11月28日(木)	2～6 年	15 名	水の科学	大倉 宏
中大江	12月18日(水)	4 年	119 名*	電池のヒミツ	上羽 貴大
木川	12月19日(木)	6 年	76 名*	炎のアツい科学	猪口 睦子
大宮	12月19日(木)	3 年	83 名	見える見えないのふしぎ(偏光)	吉岡 亜紀子
春日出	12月20日(金)	5 年	51 名*	ハラハラ! バランス大実験	木村 優斗
西九条	1月17日(金)	4 年	63 名*	水の科学	大倉 宏

*2 コマ実施

(13)実習生の受け入れ

13-1)博物館実習

- ・期 間：9月19日(木)～9月26日(木) (24日(火)は休み)
- ・実習生：廣瀬 ゆらら(奈良女子大学4年)、瀬川 真由子(近畿大学3年)
- ・内 容：館内見学、館長・学芸課長講話、学芸員の仕事の見学、懇話
図書の整理実習
友の会例会でのショート講話担当(各7分間)
展示場において、ギャラリートークの実施
報告書の作成(事後、来年度の研究報告に記載)
- ・担 当：渡部 義弥

(14)研修講座

14-1)科学デモンストレーター養成講座

大阪市立科学館で実験ショーの実演などを担当するボランティア「科学デモンストレーター」を養成することを目的とする。2019年から休止していた科学デモンストレーター研修講座を「科学デモンストレーター養成講座2024」として6年ぶりに実施した。「風はふしぎ」「バランス大実験」「ロケット!」の3演目の習得を目指し科学デモンストレーターとしての訓練を行った。3名が修了し、2025年度より科学デモンストレーターとして活動する予定である。

担 当：大倉 宏、上羽 貴大、猪口 睦子、木村 優斗

14-2)実験道場

科学デモンストレーターの主催で、会場と実験機材を科学館が提供し、実演を観覧したのち、実験技術や演出方法などの向上を目的に意見交換を行う研修会。11月2日に実施した。

担 当：大倉 宏、上羽 貴大、猪口 睦子、木村 優斗

(15)共同事業

15-1)大阪市博物館機構共同事業

大阪市博物館機構の博物館6施設(美術館、歴史博物館、自然史博物館、東洋陶磁美術館、大阪中之島美術館、科学館)が実施した共同事業に参加した。

名 称	実施日	実施内容
大阪市博物館機構共同広報	—	ポータルサイト「Osaka Museums 博物館・美術館情報」(https://museums.ocm.osaka/)での共同広報を行った。 展覧会情報(2024年10-12月)に企画展情報を掲載した。
大阪博関連事業	—	2025年大阪・関西万博に合わせて、大阪市博物館機構が所属する6館で行う共同事業。ホームページ(https://osakahaku.ocm.osaka/)でのさまざまなコンテンツの作成と公開を行った。

ミュージアム連続講座 2024	12月12日(木)	「『博覧会』と『芸術・科学』 ～想像と創造の力～」をテーマとし、万博にまつわる話題を取り上げた講座において、当館から渡部学芸員が出講した。 場 所：難波市民学習センター 定 員：70 名 参加費：無料 共 催：大阪市博物館機構、大阪市文化財協会、大阪公立大学、大阪市立難波市民学習センター テーマ：「万博で夢見たサイエンス展」 担 当：渡部 義弥
-----------------	-----------	--

15-2)大阪市関連連携事業

名 称	実施日	参加者数	事業内容・連携先など
教員研修プログラム	—	—	大阪市教育センター等と連携し、各種教員研修プログラムを実施した。 内容等詳細は2部 3. (6) 教員研修プログラムを参照。

15-3)中之島美術館連携事業

大阪中之島美術館と連携し、一つのテーマに焦点を当て、科学と芸術の総合的な体験のワークショップを実施し、領域横断的で新しいプログラムを創造している。今年度は2回の事業を実施した。

名 称	実施日	参加者数	実施内容
大阪中之島美術館×大阪市立科学館 科学と音楽のワークショップ つくってみよう電子楽器・電子音楽	12月11日(水)	18 名	展覧会「Osaka Directory 7 Supported by RICHARD MILLE 小松 千倫」関連イベントとして実施した。ブレッドボードと IC など電子素子を用いて発振回路を構成し、自由に試行錯誤、改造しながら、自分だけの電子楽器を制作した。その後グループに分かれ、音作品を制作し、発表を行った。 開 催：13:00～17:00 対 象：中学生以上 参加費：無料 助 成：一般財団法人地域創造 協 力：20/100 (にじゅうひゃく) 担 当：上羽 貴大
大阪市立科学館×大阪中之島美術館 はじめてのプログラミング - 簡単なゲームを作ってみよう！	3月23日(日)	午前の部：20 名 午後の部：19 名	展覧会「大カブコン展-世界を魅了するゲームクリエイション」関連イベントとして実施した。こどもパソコン「IchigoJam」を使って、簡単なプログラミングを通してゲーム作りを行うことで、ゲームクリエイターたちがどのように創造し、複雑なゲームを実現しているのかを体験してもらった。 開 催：＜午前の部＞10:00～12:00 ＜午後の部＞14:00～16:00 対 象：＜午前の部＞小学生 ＜午後の部＞中学生以上 参加費：無料 助 成：一般財団法人地域創造 担 当：猪口 睦子、西野 藍子

15-4)大阪公立大学・博学連携事業

名 称	実施日	参加者数	事業内容・連携先など
七夕講演会 2024 「アマテラス粒 子のなぞ」	8月24日(土)	67 名	大阪公立大学と連携してオンライン講演会を実施した。 内容等詳細は2部 3. (1) 1-2) 講演会・シンポジウムを 参照。 担 当：石坂 千春

15-5)クリエイティブアイランド中之島

当館を含めた中之島地区に拠点を置く 14 の組織が、2019 年に「クリエイティブアイランド中之島実行委員会」を組織してネットワークを構築し、さまざまなクリエイティブコンテンツの創出を行っている。科学館からは吉岡克己館長が実行委員として、また嘉数次人学芸員が企画チームメンバーとして会議などへ出席した。また、クリエイティブアイランド中之島のホームページや配布チラシへのデータ提供も行ったほか、11 月 1 日より実施の中之島プロモーション・岡田利規「中之島 15 の場所での物語」の配架を実施している。

15-6)その他、連携事業リスト

上記以外で、連携事業として行った事業。各内容については、本章 (1) ～ (3) を参照。

名 称	開催日	連 携 先
青少年のための科学の祭典 大阪大会 2024 第 33 回大阪大会 サイエンス・フェスタ	8月17日(土) 8月18日(日)	「青少年のための科学の祭典」大阪大会実行委員会 公益財団法人日本科学技術振興財団 日本物理教育学会近畿支部 一般社団法人 日本物理学会大阪支部 読売新聞社
夏休みミニ气象台 2024	8月20日(火) 8月21日(水)	大阪管区气象台
小・中学生のための電気教室	8月23日(金)	電気学会関西支部
楽しいお天気講座 「台風のふしぎ」	9月 7日(土)	一般社団法人日本気象予報士会関西支部
大人の化学クラブ 2024 日本酒 の化学スペシャル	9月29日(日)	酒ミュージアム (公益財団法人 白鹿記念酒造博物館)
楽しいお天気講座「天気予報に チャレンジしよう」	10月 5日(土)	一般社団法人日本気象予報士会関西支部
「プラネタリウム 100 周年」× 「すばる望遠鏡 25 周年」記念 全国一斉オンライン講演会	10月19日(土)	日本プラネタリウム協議会プラネタリウム 100 周年記念 事業実行委員会、国立天文台ハワイ観測所
みんなで宇宙線空気シャワー を VR 技術で 3D 映像体験	10月27日(日)	信州大学工学部富田研究室
大阪市立科学館出張講演(おは なし会)「宇宙の石を地球へ届 ける」	10月27日(日)	京阪ホールディングス株式会社、大阪市北区役所、 アートエリア B 1
楽しいお天気講座「いろんな雲 を観察しよう」	11月 2日(土)	一般社団法人日本気象予報士会関西支部
エレクトロニクス・ファンタス ティコス! の家電楽器がやっ てくる!	11月16日(土)	エレクトロニクス・ファンタスティコス! 京都 Orchest-Lab

高校生のための量子コンピュータとの出会い～量子コンピュータが切り拓く未来の化学～	11月30日(土)	株式会社 QunaSys
楽しいお天気講座 「空気のふしぎな実験」	12月 7日(土)	一般社団法人日本気象予報士会関西支部
お天気実験教室 天気の不思議を体験しよう	12月 8日(日)	NPO 法人気象キャスターネットワーク
学びあうサイエンスキッズ 広場 2024	12月22日(日)	四天王寺大学 みらい科学推進室
風力発電ワークショップ 「風車を作って発電しよう！」	1月13日(月)	未来創造本部みらいほん (川崎重工、神戸市企画調整局)
つくってみよう電子楽器・電子音楽	1月26日(日)	20/100 (にじゅうひゃく)
楽しいお天気講座 「雪の結晶を作ろう」	2月 1日(土)	一般社団法人日本気象予報士会関西支部

(16)出版・執筆事業

16-1)大阪市立科学館ミニブック等の発行・販売

今年度新たに制作・発行したものはない。また、これまで発行したミニブック、こよみハンドブック等オリジナル書籍については、ミュージアムショップ及び公式ネットショップでの販売を行った。

16-2)月刊うちゅうの発行・配布

月刊「うちゅう」は、1984年に大阪市立電気科学館の星の友の会の会誌として創刊され、その後大阪市立科学館の機関誌として発行している。物理、化学、天文など科学に関する話題、科学館に関する話題、行事案内などを掲載している。A5 サイズ24 ページで2012年度から全ページカラー印刷となった。発行約1,200部で、関係機関、大阪市立科学館友の会会員などに配布した。

2024年度の発行は、月刊「うちゅう」vol. 41、No. 1～12(通巻481号～492号)の計12号。学芸員、及び科学館関係者による記事執筆は以下のとおり。

執筆者	タイトル	掲載号
嘉数 次人	天文の話題「生駒山にあったプラネタリウム」	8月号
	展示場へ行こう「橋本宗吉とエレキテル」	9月号
	科学館のコレクション「電気科学館プラネタリウムのスカイライン原画」	11月号
	メイン記事「旧生駒山宇宙科学館の資料」	12月号
	天文の話題「日本で最初のプラネタリウム解説」	2月号
渡部 義弥	新展示場紹介「トピックス『グライダー“着陸”』」	4月号
	天文の話題「こよみハンドブックの天文カレンダー」	6月号
	天文の話題「スマート望遠鏡で、都会でもラクラク天体撮影」	12月号
	企画展紹介「万博で夢見たサイエンス展」	12月号

大倉 宏	ジュニア科学クラブ「風はふしぎ」	5月号
	窮理の部屋「2022年ノーベル物理学賞（その8）」	6月号
	新展示場紹介「手回し発電」	7月号
	窮理の部屋「2022年ノーベル物理学賞（その9、最終回）」	10月号
	ジュニア科学クラブ「炎のアツイ科学」	10月号
	科学館の新プログラム「静電気」	12月号
	窮理の部屋「ウラシマ効果と双子のパラドックス8」	2月号
	展示場へ行こう「綿工業～糸紡ぎ車～」	3月号
石坂 千春	天文の話題「新刊紹介『ゴッホが見た星月夜』」	4月号
	ジュニア科学クラブ「たん生日のせいざ、ってな～に？」	5月号
	メイン記事「小説『宇宙ヒストリア』（下）」	8月号
	天文の話題「ジェームズウェッブ宇宙望遠鏡とユークリッドが見つめる深宇宙」	10月号
	展示場へ行こう「足あととウェーブ」	10月号
	科学館のコレクション「銅鑼：アイダ『蓬莱羅漢』GR-40S」	2月号
石坂 千春 飯山 青海	科学館の新プログラム「ブラックホールを見た日～人類100年の挑戦～」	3月号
飯山 青海	メイン記事「彗星のふるさと」	4月号
	ジュニア科学クラブ「北斗七星と北極星」	4月号
	科学館の新プログラム「まだ見ぬ宇宙へ」	8月号
	天文の話題「ツチンシャン・アトラス彗星 異常あり」	9月号
	展示場へ行こう「素材の重さくらべ」	11月号
	ジュニア科学クラブ「冬休みの天体観察」	12月号
	科学館の新プログラム「HAYABUSA2～REBORN～」	12月号
	メイン記事「ツチンシャン・アトラス彗星顛末記」	1月号
	科学館のコレクション「藍晶石 Kyanite」	1月号
	天文の話題「突然の大彗星アトラス彗星」	3月号
	科学館の新プログラム「月世界への道」	3月号
江越 航	星空ガイド「月と明るい星の並び」	4月号
	星空ガイド「干支の星座」	5月号
	天文の話題「歳差運動」	5月号
	新展示場紹介「てこと滑車」	5月号
	その他の記事「学芸員の研究発表」	5月号
	天文の話題「X線分光撮像衛星XRISMの公募観測」	6月号
	科学館の新プログラム「探れ！天の川の姿」	8月号
	科学館のコレクション「最高温度計」	9月号
	その他の科学の話題「気象庁長官表彰を受賞しました」	9月号
	天文の話題「金星太陽面通過観測150年」	11月号
	展示場へ行こう「博学連携コーナー」	2月号
	その他の科学の話題「標高の改定」	2月号
西野 藍子	新展示場紹介「トピックス『カールツアイスⅡ型プラネタリウム 大移動！』」	6月号
	ジュニア科学クラブ「月たんさ機『SLIM』、ひっくり返って着陸！」	6月号
	天文の話題「低緯度オーロラ日本各地で観測」	7月号
	企画展紹介「企画展『日本の科学館は大阪から』」	8月号
	メイン記事「企画展『日本の科学館は大阪から』」	9月号
	科学館の新プログラム「オーロラに逢いにいこう」	12月号
	天文の話題「低緯度オーロラ 観測のその後」	1月号

江越 航 飯山 青海 石坂 千春 西野 藍子	新展示場紹介「新展示場オープン」	7月号
上羽 貴大	ジュニア科学クラブ「ジュニア科学クラブへようこそ」 化学のこばなし「おいしい化学 メイラード反応」 科学館のコレクション「宇田川榕菴著『舎密開宗』」 展示場へ行こう「ステンドグラス」 科学館の新プログラム「いろいろなサイエンスショーが楽しめる！」 化学のこばなし「堺打刃物の化学」 ジュニア科学クラブ「見えるみえないのふしぎ」 化学のこばなし「貝で布を染めてみた」 ジュニア科学クラブ「ビリッとびっくり！静電気」	4月号 5月号 5月号 8月号 8月号 9月号 9月号 1月号 2月号
野村 美月	星空ガイド「七夕の日は雨ばかり！？」 星空ガイド「スピカ食/ペルセウス座流星群」 ジュニア科学クラブ「同じ日本でも星の見え方が違う？」 星空ガイド「土星が衝/土星の環が見られるのは今のうち！？」 星空ガイド「紫金山－アトラス彗星の観察にチャレンジしよう！」 星空ガイド「スーパームーンってどんなムーン？」 星空ガイド「土星食を観察しよう/月夜のふたご座流星群」 その他の科学の話題「(3回目の) プラネタリウム投影デビュー」 星空ガイド「1月12日、火星が最接近」 星空ガイド「最大光度となる金星」 天文の話題「2025年注目の天文現象」 星空ガイド「カノープスを見る季節がやってきました！/見ると長生きできる星？」 星空ガイド「消える土星の環/逆スーパームーン？1年で最も小さく見える満月」 ジュニア科学クラブ「春休みの天体観察」	6月号 7月号 7月号 8月号 9月号 10月号 11月号 11月号 12月号 1月号 1月号 2月号 3月号 3月号
猪口 睦子	天文の話題「太陽活動と磁場」 ジュニア科学クラブ「花火のひみつ」 窮理の部屋「光をいろいろな色に『分ける』」 ジュニア科学クラブ「ロケット！ロケット！ロケット！」 窮理の部屋「かんたんゲームプログラミングに挑戦！」	7月号 8月号 11月号 1月号 3月号
木村 優斗	ジュニア科学クラブ「ハラハラ バランス大実験」 化学のこばなし「ドロドロの沼にはまってみる」 ジュニア科学クラブ「光を分ける？分光のふしぎ」 窮理の部屋「新潟の科学～佐渡ブロック～」	7月号 8月号 11月号 12月号
野村 美月 猪口 睦子 木村 優斗	その他の記事「新スタッフ紹介」	6月号
吉岡 克己	その他の記事「新・館長よりご挨拶」 その他の記事「学芸員の研究発表」	4月号 4月号
竹浦 雅美	その他の記事「リニューアルへ向けて」	4月号
科学デモンストレーター	ジュニア科学クラブ「ひんやり！涼しさの科学」 ジュニア科学クラブ「高さに挑戦！ペーパー・タワー」	5月号 1月号

4. ボランティア活動

(1) 展示解説ボランティア(サイエンスガイド)

- ・活動登録者数：44 名
- ・事業：2024 年度は展示場リニューアルに合わせた展示解説やプチ・サイエンスショーを実施した。
- ・研修：

①リニューアルオープン前の研修

実施日	内容	講師
7 月 2 日、6 日	1 階展示場、地下 1 階の紹介	西野 藍子
	2 階展示場の紹介	石坂 千春
7 月 12 日、13 日	3 階展示場の紹介	上羽 貴大
7 月 18 日	4 階展示場の紹介 (大阪の科学)	嘉数 次人
	4 階展示場の紹介 (全体)	江越 航
7 月 27 日	4 階展示場の紹介 (全体)	江越 航

②リニューアルオープン後の展示研修

実施日	内容	講師
10 月 3 日、5 日	3 階展示場「鉱物」の紹介	飯山 青海
10 月 11 日、13 日	4 階展示場「望遠鏡の歴史」の紹介	西野 藍子
10 月 17 日、26 日	4 階展示場「宇宙の階層構造」の紹介	石坂 千春
10 月 31 日、11 月 2 日	3 階展示場「高分子」の紹介	上羽 貴大
11 月 10 日、15 日	4 階展示場「発電、スペクトル」の紹介	吉岡 克己
1 月 25 日、28 日	3 階展示場「構造色」の紹介	飯山 青海

③その他の研修：プチ・サイエンスショー(随時)、職員研修参加 (1 回)

- ・毎週金曜日にメールマガジンを送付
- ・イベント実施

実施日	内容	備考
11 月 26 日、27 日	手回し計算機のデモンストレーション	場所：1 階展示場「みんなのサイエンス・ラボ」

- ・その他：ガイドリーダーによる研修資料等作成
- ・指導補助：出山 茂雄、谷坂 明代、筒井 満

(2) 実演担当ボランティア(科学デモンストレーター)

1 年間の研修を修了した科学デモンストレーターが、実験ショーや、科学実験工作教室を行う。今年度は 14 名が活動した。

今年度の活動は以下のとおり。

実施日	名称	内容	参加者数
通年	エキストラ実験ショー	20 分間の実験ショーを実演する。 上演回数 125 回	10, 200 名
5 月 19 日 6 月 16 日	ジュニア科学クラブ 科学実験工作教室①	実験教室「ひんやり！涼しさの科学」目には見えない分子の動きを想像しながらひんやりする実験を体験する。	各 約 40 名
1 月 19 日 2 月 16 日	ジュニア科学クラブ 科学実験工作教室②	「高さに挑戦！ペーパータワー」A4 の紙を最大 3 枚使ってなるべく高い構造物を作る。	各 約 40 名

- ・担当：上羽 貴大

(3)客員講師

友の会活動や展示活動、また学術・教育上の指導などの学芸活動を支援していただける学識経験者を科学館客員講師として迎える制度として、2005 年度に発足させた。

本年度の登録講師ならびに活動分野は以下のとおり。

氏 名	所属等	活動分野
大野 隆	神戸大学名誉教授	友の会「化学サークル」における指導及び助言

(4)大阪市立科学館親善大使(Osaka Science Museum Goodwill Ambassador)

当館と海外科学系博物館との国際交流推進や、当館の国際ネットワーク構築に資する活動などを行う。

氏 名	任期
吉岡 亜紀子	2016年9月1日～2026年8月31日

(5)天体観望会指導員

市民向け天体観望会では、友の会会員など有志がボランティア指導員となって望遠鏡への天体導入、観望のサポート、天体の解説等を行っている。

(6)大阪市立科学館ボランティア SCIENCE de DOYA

科学デモンストレーターの有志により結成され、2022 年 1 月より大阪・関西万博 2025 の「TEAM EXPO2025」プログラム「共創チャレンジ」に参加している。「SDGs の達成への貢献」を目的とする。

今年度の実施イベントは以下のとおり。

実施日	名称	内容	参加人数
4 月 21 日(日) 5 月 19 日(日)	オンライン実験教室 「おうちで科学とものづくり！」 生分解性プラスチックを作ろう！	身近なものを使って生分解性プラスチックを作った。合成洗濯糊に食塩を加え、塩析を利用してポリビニルアルコールを取り出し、まるめて、スーパーボールを作った。牛乳または豆乳を加熱し、うすめたお酢またはレモン汁を加えて、等電点沈殿を利用してタンパク質を取り出し、好きな形を作った。水分子と、プラスチックの材料の高分子を模型で見比べ、高分子の模型を使って、プラスチックが高分子でできていることを紹介した。 対 象：どなたでも 参加費：無料	13 名 13 名
6 月 16 日(日)	オンライン実験教室 「おうちで科学とものづくり！」 ひんやり！涼しさの科学	湿らした手に風を当て気化熱を感じる実験、ペットボトルで雲をつくる実験、ゴム風船によるゴフ・ジュール効果の紹介、尿素による瞬間冷却パックの工作をおこない、目には見えない分子の動きを想像しながらひんやりする実験を体験した。 対 象：どなたでも 参加費：無料	32 名
9 月 16 日(月)	ワークショップ「のぞいてみよう！発酵の世界」	発酵について理解を深めることを目指し、酵母やコウジカビ、乳酸菌などの顕微鏡による観察、アルコール発酵で風船やパン生地膨張の観察、酵素による糖化実験、酵素による過酸化水素の分解を用いたフィルムケースのロケット実験などを行った。 対 象：小学 4 年生以上 参加費：500 円	22 名
1 月 13 日(月)	風力発電ワークショップ「風車を作って発電しよう！」	サイエンスショーで風力発電の仕組みを紹介したあと、紙皿を材料とする風車を、参加者自身の創意工夫により自由に制作し、より大きな発電量を目指してもらった。風車は手持ちのかざぐるまにして持ち帰った。 対 象：小学生と保護者の 2 人 1 組 参加費：無料 協 同*：川崎重工業株式会社	23 名

*大阪市立科学館以外の主催者

5. ジュニア科学クラブ

(1)概要

小学校5・6年生を対象に、科学館を利用しながら、楽しく科学を学んでもらうために2000年度より実施している。毎月第3日曜日に科学館にて9時45分から2時間程度実施し、2グループにわかれて前半と後半の異なる活動を行った。会員には、月刊「うちゅう」を毎月送付しており、中ほど1,2ページがジュニア科学クラブ会員対象のページとなっている。年会費4,000円。

(2)2024年度の活動状況

2-1)会員数 99名

2-2)ジュニア科学クラブの日

実施日	参加者数	内 容
4月21日(日)	95名	入会説明会 サイエンスショー「北斗(ほくと)七星と北極星」(飯山 青海)
5月19日(日)	84名	サイエンスショー「風はふしぎ」(大倉 宏) 実験教室「ひんやり!すずしさの科学」(科学デモンストレーター) またはプラネタリウム「たん生日のせいざ、ってな〜に?」(石坂 千春)
6月16日(日)	80名	プラネタリウム「月たんさ機「SLIM」、ひっくり返って着陸!」(西野 藍子) 実験教室「ひんやり!すずしさの科学」(科学デモンストレーター) またはプラネタリウム「たん生日のせいざ、ってな〜に?」(嘉数 次人)
7月21日(日)	75名	サイエンスショー「ハラハラ バランス大実験」(木村 優斗) プラネタリウム「同じ日本でも星の見え方がちがう?」(野村 美月)
8月18日(日)	72名	サイエンスショー「花火のひみつ」(猪口 睦子) 実験教室「分子をつくってみよう」(山本典史教授(千葉工業大学)、株式会社 QunaSys、光・量子飛躍フラッグシッププログラム Q-LEAP) または展示場自由見学
9月15日(日)	75名	サイエンスショー「見える見えないのふしぎ」(上羽 貴大) 実験教室「分子をつくってみよう」(山本典史教授(千葉工業大学)、株式会社 QunaSys、光・量子飛躍フラッグシッププログラム Q-LEAP) または展示場自由見学
10月20日(日)	75名	サイエンスショー「炎のアツイ科学」(大倉 宏) 実験教室「チタンの色を変えてみよう」(京都工芸繊維大学 科学・ものづくり普及プロジェクト “ぽっけ”) または学芸員の展示解説(江越 航、嘉数 次人)
11月17日(日)	64名	サイエンスショー「光を分ける?分光のふしぎ」(木村 優斗) 実験教室「チタンの色を変えてみよう」(京都工芸繊維大学 科学・ものづくり普及プロジェクト “ぽっけ”) または学芸員の展示解説(江越 航、嘉数 次人)
12月15日(日)	53名	プラネタリウム「冬休みの天体観察」(飯山 青海)
1月19日(日)	54名	サイエンスショー「ロケット!ロケット!ロケット!」(猪口 睦子) 実験教室「高さに挑戦!ペーパータワー」(科学デモンストレーター) または学芸員の展示解説(渡部 義弥、野村 美月)
2月16日(日)	71名	サイエンスショー「ビリッとびっくり!静電気」(上羽 貴大) 実験教室「高さに挑戦!ペーパータワー」(科学デモンストレーター) または学芸員の展示解説(渡部 義弥、野村 美月)
3月16日(日)	58名	プラネタリウム「春休みの天体観察」(野村 美月)

6. 科学館友の会

(1)概要

科学館を利用して科学の学習を行うことを目的とした友の会は、大阪市立電気科学館時代の1984年に発足し、科学館では普及啓発活動の一環として運営されてきたが、2004年より科学館から独立し、自発的な学習活動をするとともに科学館運営に協力する団体となった。一方、科学館は友の会の活動に協力し、施設利用や観覧料割引、事務机などの便宜を供与している。

1-1)役 員(2024 年度)

会 長 土生 陽子
副 会 長 山田 竜也
評 議 員 石川 嘉寿樹、上田 昌一、中尾 優司、藤原 勤、向井 由美、吉原 貴志、若山 陽子
監査委員 乾 圭一郎、本田 寿一
事務局長 植田 希
事務局員 成田 三枝子、新村 奈緒美

1-2)主な事業

- ・普及事業：例会（毎月第3土曜日）、友の会天体観望会、サークル活動等
- ・協 働：科学館等の普及事業における協働

1-3)年会費

3,000 円

(2)2024 年度の活動状況

2-1)会員数

615 名（2025 年 3 月末現在）

2-2)「月刊うちゅう」(大阪市立科学館発行)の配布

Vol. 41、No. 1～No. 12（通巻 481 号～492 号）を配布した。

2-3)総 会

5 月 18 日に開催。科学館会場での参加と Zoom を利用したオンライン参加の併用により開催とした。特別講演会、総会議事（予算、決算、事業案の審議）、バザーなど。参加者数 61 名。

2-4)例 会

毎月（総会実施の 5 月、友の会ナイト開催の 1 月を除く）第 3 土曜日の 14 時～16 時に開催した。科学館研修室での参加と Zoom を利用したオンライン参加の併用により開催とした。

実施日	参加人数	おもな内容
4月20日	47 名	「飛行機はどうやって飛んでいるか」（大倉学芸員）、他
6月15日	44 名	「ユークリッドが見たきらめく宇宙」（石坂学芸員）、他
7月20日	47 名	「新星爆発迫る！かんむり座 T 星」（渡部学芸員）、他
8月17日	46 名	「もやっとした天体のはなし」（猪口学芸員）、他
9月21日	50 名	「九州の星のお話アラカルト」（野村学芸員）、他
11月16日	43 名	「重力波の信号を見つけ出せ！」（木村学芸スタッフ）、他
12月21日	47 名	「ツチンシャン・アトラス彗星顛末記」（飯山学芸員）、他
1月18日	52 名	「橋本宗吉とエレキテル」（嘉数学芸員）、他
2月15日	50 名	「低緯度オーロラ」（西野学芸員）、他
3月15日	53 名	「大阪と原子核・素粒子・宇宙線」（大倉学芸員）、他

2-5)サークル活動

サークル名	世話人（会員）	活動内容
天文学習	段野、坂本、上田	天文学を学ぶことで天体と天文現象をより深く理解し、より詳しい観測等ができるようになる。活動日：毎月第4日曜日
英語の本の読書会	高柴、乾、杉野	宇宙に関する解説書やインターネットの記事を英語で読み、最新の宇宙について勉強する。活動日：毎月第3土曜日
化 学	蔵谷、縄田、美濃	大野隆先生を講師として、実生活で役立つ化学を身につける。最新の科学の話題を知り理解する。活動日：毎月第2日曜日
ハイキング	土生、若山	科学館から外へ出て天文や科学に関する史跡や施設を見学し、学習、体験する。活動は不定期。今年度は開催せず。
りろん物理	岩崎、小野、島田	量子力学、相対論、物理数学、場の理論を輪読形式で学習する。活動日：毎月第2土曜日（りろん物理）、毎月第3日曜日（場の理論）
科学実験	松木、増田、成瀬	自然界の法則を、実験を行うことを通して学び、人生が豊かで楽しいものになることを目的とする。活動日：毎月第4日曜日
光のふしぎ	玄田、縄田、北元	可視光だけでなく、電波～X線、光学現象、錯視等、光のさまざまな現象に驚き、感動をもって学ぶ。活動日：毎月第2日曜日
うちゅう☆多 むちゅう	藤井、本田、熊谷	宇宙についてやさしく学んでいく。「うちゅう」のメイン記事や天文ニュース、メンバー間の発表等。活動日：毎月第2土曜日
星 楽	吉田、川瀬	天体観望に適した場所まで電車で出かけて行き、天体観察を行い、会員間の親睦を深める。活動は不定期。

2-6)その他の行事

名 称	実施日	参加者数	内 容
天体観望会	6月15日	中止	天候不良により中止
友の会ナイト	10月19日	97名	ツチンシャン・アトラス彗星最新情報、星座座解説、オーロラ写真、他
合宿天体観望会	11月2日～ 11月4日	22名	和歌山県串本町にて開催、天体観察、BBQ、ピザづくりなど
天体観望会	11月16日	中止	天候不良により中止
天体観望会	1月18日	25名	木星・火星などの観察

(3)科学館との協働事業

今年度は実施せず。

7. 資料収集保管活動

(1) 寄贈・寄託・移管資料

今年度の収集資料はなし。

(2) 購入・製作資料

今年度は実施せず。

(3) 寄託・借用資料

資 料 名	受入番号		点数	借 用 先
住友銅吹所出土遺物一式	2000	6	5	大阪市教育委員会、大阪市文化財協会
舎密局模型	2005	10	1	大阪歴史博物館
地下鉄車両用主電動機（モーター）	2006	45	1	大阪市交通局緑木車両管理事務所
冷却 CCD カメラ	2006	170	1	群馬県立ぐんま天文台
アクリル製樹脂 水族館用水槽	2008	160	1	株式会社海遊館
ポリアセチレンフィルム	2008	164	1	後藤 博正
白川英樹博士ゆかりの実験道具	2008	165	1	後藤 博正
人工肺	2008	166	1	テルモ株式会社
ゴルフクラブとヘッド	2010	24	2	つるや株式会社
スカンクのはく製	2012	32	2	大阪市立天王寺動物園
真島利行研究室由来のウルシオール	2013	5	1	大阪大学総合学術博物館
アルマ望遠鏡 Band4 プロトタイプ受信機	2018	25	1	大阪府立大学
「ぎんが」衛星搭載 全天 X 線観測装置	2019	11	1	大阪大学大学院理学研究科
国際宇宙ステーション MAXI 用 CCD 素子	2019	12	1	大阪大学大学院理学研究科
リーフラー時計	—	—	1	京都大学理学部
M-V ロケットフェアリング EM 品カットモデル	—	—	1	JAXA
光電子増倍管	—	—	1	東京大学地震研究所
シンチレータ	—	—	1	東京大学地震研究所
最新型ミュオグラフィ装置	—	—	1	東京大学地震研究所
ワイヤーチェンバー	—	—	1	ハンガリー・ウィグナー物理研究所
国立国際美術館建築模型	—	—	1	国立国際美術館
クーリッジ管(X 線管)	—	—	1	姫路科学館
渋沢栄一肖像写真	—	—	1	公益財団法人渋沢栄一記念財団 渋沢史料館
手型のイス	—	—	1	大阪府日本万国博覧会記念公園事 務所
EXPO' 70 会場地図パネル	—	—	1	大阪府日本万国博覧会記念公園事 務所
EXPO' 70 開催告知ポスター	—	—	3	大阪府日本万国博覧会記念公園事 務所
タイムカプセル EXPO' 70 の封入資料	—	—	12	大阪歴史博物館
IBM System/360 コンピュータ資料	—	—	1	京都コンピュータ学院
タイムカプセル EXPO' 70 万博展示時の外観写真	—	—	1	パナソニックオペレーショナルエ クセレンス株式会社
朝日放送 EXPO' 70 映像アーカイブ	—	—	1	朝日放送テレビ株式会社
小惑星リュウグウの石	—	—	1	JAXA 宇宙科学研究所
万博関連写真	—	—	84	万博記念公園マネジメント・パート ナーズ（大阪府）

万博関連映像	—	—	4	万博記念公園マネジメント・パートナーズ（大阪府）
アポロ月の石	—	—	1	NASA
ルナ月の砂	—	—	1	ROSCOSMOS/大阪大学
ティコクレーター1/20 万立体模型	—	—	1	一般財団法人日本宇宙フォーラム
火星探査車パーシヴィアランス 1/10 模型	—	—	1	一般財団法人日本宇宙フォーラム
サターンV型ロケット（1/100 模型）	—	—	1	一般財団法人日本宇宙フォーラム
N-1 ロケット（1/100 模型）	—	—	1	一般財団法人日本宇宙フォーラム
アポロ月面活動服（1/1 模型）	—	—	1	一般財団法人日本宇宙フォーラム
アメリカ・ソ連の有人宇宙船（1/100 模型）	—	—	2	JAXA
Z1 宇宙服（1/1 模型）	—	—	1	一般財団法人日本宇宙フォーラム
月の砂シミュラント	—	—	1	一般財団法人日本宇宙フォーラム
ULTEGRA ロードレーサー	—	—	1	シマノ自転車博物館

(4)資料の貸し出し

資 料 名	貸出先	備考
15 cm反射望遠鏡経緯台	京都産業大学神山天文台	資料番号 1994-584
学天則（模型）	大阪中之島美術館	資料番号 2006-59

(5)図書資料の受入

調査研究用書籍（単行本）	50 冊
調査研究用定期購読雑誌	8 誌（国内7 誌、海外1 誌）
展示用定期購読雑誌	6 誌（うち寄贈1 誌）
展示用書籍（単行本）	27 冊
寄贈受け入れ書籍（単行本）	5 冊（調査研究用4 冊、展示用1 冊）

8. 調査研究活動

(1) 研究体制と研究テーマ

研究者一覧

氏 名	補 職 名	専門分野、研究テーマ	学 位	区 分
飯山 青海	天文係長	太陽系化学、流星	理学士	宇宙化学
石坂 千春	総務企画課長代理 兼研究副主幹	銀河団の力学、銀河、銀河団、宇宙全般	博士（理学）	天 文
猪口 睦子	学芸員	星団形成、星間物質	博士（理学）	物 理
上羽 貴大	学芸員	物理化学、楽器	博士（理学）	化 学
江越 航	学芸員	太陽、X線天文学、気象教育	修士（理学）	天 文
大倉 宏	理化係長	原子核構造、ハイパー核、宇宙線	博士（理学）	物 理
小野 昌弘	総務企画課長	無機化学、香料、元素と周期表、化学史	教育学士	化 学
嘉数 次人	学芸課長	科学史、天文教育	教育学修士	天 文
木村 優斗	技術職員	重力波のデータ解析	修士（理学）	化 学
西野 藍子	学芸員	電波天文学、天文教育、情報機器	理学士	天 文
野村 美月	学芸員	X線天文学、天文教育	学士（理学）	天 文
吉岡 克己	館長	科学教育、歴史的実験機器	理学士	天 文
渡部 義弥	学芸課長代理	銀河系天文学、天文機器、科学普及史	教育学士	天 文

(2) 調査研究活動

氏 名	内 容	実 施 日	場 所
飯山 青海	展示改装3階展示品打合せ 全国プラネタリウム大会・横浜 全天周映像「GALAXY」ナレーション録音 全天周映像「GALAXY」ミックスオーディオ	5月31日 6月 3日～5日 3月10日 3月24日	大阪市立自然史博物館 はまぎんこども宇宙科学館、他 SC アライアンス早稲田スタジオ SC アライアンス早稲田スタジオ
石坂 千春	天文文化研究会 天文教育研究会 天文教育フォーラム 船上から生中継！地球深部探査船「ちきゅう」とつながろう 日本物理学会公開講座2024 文化庁パブリックリレーション研修 日本天文教育普及研究会近畿支部会 全国理工系学芸員展示研究大会 ミュージアムの多様な来場者に対する合理的配慮について 天文教育フォーラム 2024年度文化をつなぐ研修	7月 7日 8月20日～22日 9月11日 11月23日 11月24日 12月 1日～2日 12月15日 1月29日 1月31日 3月17日 3月27日～28日	大阪工業大学 オンライン参加 オンライン参加 オンライン参加 オンライン参加 オンライン参加 オンライン参加 大阪市立科学館 オンライン参加 オンライン参加 オンライン参加
猪口 睦子	資料調査 展示協力打ち合わせ 展示視察 全国理工系学芸員展示研究大会	5月31日 7月 3日 11月 8日 1月29日～30日	大阪市立自然史博物館 大阪公立大学 貝塚市善兵衛ランド 大阪市立科学館
上羽 貴大	展示協力打ち合わせ 資料調査 展示協力打ち合わせ 展示協力打ち合わせ 展示協力打ち合わせ 展示協力打ち合わせ 資料調査	4月 5日 4月 8日 4月10日 4月18日 4月25日 5月 9日 5月11日	Glass studio Blue 山月工房 Glass studio Blue 大阪市立クラフトパーク Glass studio Blue 大阪市立中之島中高一貫校 和歌山市加太 田倉崎

	展示協力打ち合わせ 展示協力打ち合わせ 展示協力打ち合わせ ワークショップ視察 展示協力打ち合わせ 展示協力打ち合わせ 展示協力打ち合わせ 資料調査 展示視察	5月13日 5月21日 5月31日 6月 4日 6月 5日 7月10日 11月26日 1月 5日 3月 4日	日本精工硝子株式会社 シマノ自転車博物館 シマノ自転車博物館 大阪市立中之島中高一貫校 舞洲クラフト館 大阪市立クラフトパーク 大阪市立クラフトパーク 日本精工硝子株式会社 NTT インターコミュニケーションセンター
江越 航	気象予報士会関西支部防災部会勉強会 展示資料（バンデグラフ）現地調査 全国プラネタリウム大会 2024・横浜 展示資料（バンデグラフ）現地調査 展示資料（バンデグラフ）現地調査 日本天文学会 天文教育フォーラム XRISM 一般講演会 気象サイエンスカフェ東京 日本気象学会 2024 年度秋季大会 2024 年公開気象講演会 日本物理学会 2024 年度公開講座 YuMake sky meetup 気象データ活用勉強会 日本物理学会京都支部 科学交流セミナー 第 22 回天気予報研究会 日本気象予報士会研究成果発表会	4月 7日 5月29日 6月 3日～5日 6月19日 6月24日 9月12日 10月13日 10月14日 11月12日～15日 11月17日 11月24日 12月18日 12月25日 2月16日 2月23日	オンライン開催 奈良県天理市 はまぎん こども宇宙科学館 奈良県天理市 奈良県天理市 オンライン開催 オンライン開催 オンライン開催 つくば国際会議場 オンライン開催 オンライン開催 中央会計(大阪市) 京都大学 オンライン開催 オンライン開催
大倉 宏	放射線量調査 第 10 回高校物理基本実験講習会	10月31日～ 11月 2日 12月22日	福島県双葉郡浪江町、 双葉町、大熊町、富岡町 神戸高等学校
小野 昌弘	展示改装資料調査 展示改装資料引取 指定都市科学館連絡会議 第 15 回全国理工系学芸員展示研究大会	6月13日 7月12日 10月24日、25日 1月29日、30日	大阪市文化財協会東淀川調 査事務所（6・7 月とも） 札幌市青少年科学館 大阪市立科学館
嘉数 次人	研究会合（京大人文研共同研究班） 科研費「天文文化学の新展開」会議 資料調査 企画展資料調査 科研費「天文文化学の新展開」会議 資料調査	4月13日 10月14日 1月14日 3月12日 3月14日 3月24日	オンライン オンライン 京都大学 明石市立天文科学館 大阪工業大学 京都大学
木村 優斗	2024 年度 経済産業省資源エネルギー庁 科学館等職員対象研修会 日本物理学会 2024 年度公開講座 2024 年度 海外科学館視察研修（韓国・ソ ウル） 3D データ・3D プリンタ活用による博物館 ユニバーサル化の可能性 第 15 回全国理工系学芸員展示研究大会 3D プリンタで広がる触察モデルの世界	6月17日、18日 11月24日 12月 2日～ 6日 1月10日 1月29日、30日 2月 4日、5日	神戸三宮ユニオンホテル、人 と防災未来センター オンライン開催 国立果川科学館、国立中央科 学館、Seoul Robot & AI Museum オンライン開催 大阪市立科学館 大阪市立自然史博物館
西野 藍子	企画展資料調査	3月12日	明石市立天文科学館

野村 美月	日本天文学会 2024 年度秋季大会 視察 展示協力打ち合わせ 日本プラネタリウム協議会全国研修会 2024・富山 3D データ・3D プリンタ活用による博物館 ユニバーサル化の可能性 3D プリンタで広がる触察モデルの世界 企画展資料調査 企画展展示協力	9月11日 11月 8日 11月28日 12月16日～18日 1月10日 2月 5日 3月12日 3月13日	関西学院大学 貝塚市善兵衛ランド 京都産業大学神山天文台 富山市科学博物館 オンライン開催 大阪市立自然史博物館 日本科学未来館 京都産業大学神山天文台
吉岡 克己	資料調査 資料調査 資料調査 資料調査 第 15 回全国理工系学芸員展示研究大会 資料調査	6月18日 6月25日 7月 5日 11月29日 1月29日、30日 3月18日	明星天文館 株式会社西村製作所 ガスの科学館がすてな〜に 旧制高等学校記念館 大阪市立科学館 甲南学園学園史資料室
渡部 義弥	企画展資料調査 事業調査 全国プラネタリウム大会・横浜 企画展資料調査 企画展資料調査 スマート望遠鏡活用ハンドブック製作研 究会	4月24日 5月26日 6月 3日～5日 10月 9日 11月18日 11月22日	大阪府万博記念公園事務所 技術書典（東京都池袋サンシ ャインシティ）、コニカミノ ルタプラネタリム満天 横浜こども科学館 大阪歴史博物館 大阪府万博記念公園事務所 慶應義塾高等学校

(3) 学会・研究会等での発表、招待講演

氏 名	学会・研究会名：タイトル	発表日	場 所
上羽 貴大	日本音楽教育学会 第 55 回大会 共同企画 XVIII 「科学と音楽をつなぐワークショップ の開発 ーつくってみよう電子楽器・電子音楽ー」 第 15 回全国理工系学芸員展示研究大会 「大阪市立科学館 3 階展示改装『物質の探究』」	10月20日 1月29日	玉川大学 大阪市立科学館
江越 航	向日市天文館 天文学講座 第 1 講 「宇宙の果てをめぐる話」	10月 6日	向日市天文館
嘉数 次人	シニア自然大学校「日本の天文学と大坂」 向日市天文館天文学講座「江戸時代の人々の太陽系知 識」	11月26日 12月 1日	シニア自然大学校 向日市天文館
吉岡 克己	日本天文学会 2024 年秋季年会天文教育フォーラム 「科学館での天文教育 『連携』と『協働』と『広場』」 第 15 回全国理工系学芸員展示研究大会 「大阪市立科学館の展示リニューアル 展示デザイン を中心に」	9月11日 1月29日	関西学院大学 (オンライン) 大阪市立科学館
渡部 義弥	全国プラネタリウム大会・横浜「“スマート望遠鏡” 活 用ハンドブックの共同製作の呼びかけ」	6月 4日	横浜こども科学館

(4)著作・執筆等

4-1)大阪市立科学館研究報告誌 第34号(2025年2月発行、全146ページ)

氏 名	タイトル
石坂 千春、上羽 貴大	・新2階展示場『みんなでたのしむサイエンス』について
上羽 貴大	・サイエンスショー「空気パワー」実施報告 ・大人の化学クラブ2023「日本酒の化学スペシャル」実施報告 ・夏休み自由研究教室「電池を作ろう」実施報告
上羽 貴大、猪口 睦子、飯山 青海	・展示場3階「物質の探究」展示改装について
江越 航	・解析雨量・アメダス観測値と全天雲画像の組み合わせデータへの機械学習の適用 ・2023年度の気象に関する普及活動実施報告
嘉数 次人、石坂 千春、大倉 宏、江越 航	・科学館展示場4階「科学の探究」の改装について
西野 藍子、嘉数 次人	・企画展「プラネタリウム100周年記念イベント」実施報告 ・スペシャルナイト「プラネタリウム100周年記念イベント」実施報告
西野 藍子、飯山 青海	・全天周映像番組「ORIGIN 太陽系のはじまりを求めて」制作報告 ・スペシャルナイト「電波天文学者の阪本先生にいろいろ聞いてみる」実施報告
西野 藍子、田中 智恵、小野 昌弘	・1階・地下1階の改装について
吉岡 克己	・科学館展示の類型化と展示デザイン図式化の試みー大阪市立科学館展示場を事例としてー ・大阪市立科学館展示場リニューアルの全体像
渡部 義弥	・プラネタリウム「土星～白い氷が彩る世界」制作報告
渡部 義弥、江越 航	・部分日食の出張・屋外でのインターネット中継 実施報告

4-2)学術誌・図録・報告書等

氏 名	タイトル	書籍等名
嘉数 次人	天文学者たちの江戸時代	ちくま文庫
江越 航	化学大家466「セシリア・ペイン＝ガポーシュキン」	和光純薬時報Vol. 92 No. 4 (2024年10月発行)
渡部 義弥	スマート望遠鏡活用ハンドブック	大阪市立科学館発行 一財) 全国科学館振興財団助成

4-3)その他

氏 名	タイトル	適用
猪口 睦子	我が館の“推しなモノ・コト”「ステンドグラス」 (全科協ニュース Vol. 55 No. 2)	コラム執筆

(5)各種委員等

氏 名	名 称	組 織 名
飯山 青海	委員 非常勤講師 委員	スター・ウィーク実行委員会 大阪電気通信大学 日本プラネタリウム協議会近畿地域ワーキンググループ
石坂 千春	非常勤講師 監事	大阪公立大学 日本天文教育普及研究会
江越 航	委員	大阪府立東高等学校 学校運営協議会
大倉 宏	非常勤講師 実行委員	大阪電気通信大学 青少年のための科学の祭典大阪大会実行委員会
小野 昌弘	代表 委員	全国理工系学芸員会議 日本化学会近畿支部化学教育協議会
嘉数 次人	非常勤講師	岡山理科大学
西野 藍子	委員 実行委員	日本プラネタリウム協議会近畿地域ワーキンググループ プラネタリウム 100 周年記念事業実行委員会
野村 美月	実行委員	プラネタリウム 100 周年記念事業実行委員会
吉岡 克己	非常勤講師 評議員 評議員 副代表 副会長 委員 幹事 委員 委員	大阪公立大学 大阪科学技術センター 国立国際美術館 全国理工系学芸員会議 全国科学館連携協議会 日本プラネタリウム協議会近畿地域ワーキンググループ 電気記念日行事関西実行委員会 神戸市立青少年科学館展示更新検討会 大阪大学中之島芸術センターアドバイザーボード
渡部 義弥	非常勤講師 非常勤講師 理事長	奈良女子大学 大阪公立大学 日本プラネタリウム協議会

(6)学会・研究会所属状況

氏 名	所 属 学 会
飯山 青海	日本惑星科学会、日本流星研究会
石坂 千春	日本天文学会、日本天文教育普及研究会、国際天文学連合、全国理工系学芸員会議
猪口 睦子	日本天文学会、全国理工系学芸員会議
上羽 貴大	全国理工系学芸員会議、日本音響学会、日本サイエンスコミュニケーション協会
江越 航	日本天文学会、日本天文教育普及研究会、日本気象予報士会
大倉 宏	日本物理学会、日本物理教育学会近畿支部、関西博物館研究会、全国理工系学芸員会議
小野 昌弘	日本化学会、近畿化学協会、全日本博物館学会、全国理工系学芸員会議
嘉数 次人	日本科学史学会、日本天文学会、日本天文教育普及研究会
木村 優斗	日本物理学会、日本ミュージアム・マネジメント学会、全国理工系学芸員会議
西野 藍子	日本天文教育普及研究会
野村 美月	日本天文学会
吉岡 克己	日本天文学会、日本科学史学会、全国理工系学芸員会議
渡部 義弥	日本天文学会、日本天文教育普及研究会

(7)研究会の開催

名 称	開催日時	場 所	備 考
プラネタリウム解説とポインター研究会	4月23日(火)	大阪市立科学館 プラネタリウム	
スマート望遠鏡活用ハンドブック 製作研究会	11月22日(金)	慶應義塾高等学校 (神奈川県)	
第15回全国理工系学芸員展示研究大会	1月29日(水)、 1月30日(木)	大阪市立科学館	全国理工系学芸員会議 との共催

(8)共同研究

特になし

(9)研究費交付状況

氏 名	内 容	備 考
江越 航	全天画像・気象観測データと数値計算モデルの対応による観天望気への応用	令和4(2022)年度 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金)(基盤研究 (C)) 研究代表者
嘉数 次人	天文文化学の新展開 : 数理的手法の導入で文化史と科学論から自然観を捉える研究の加速	令和6(2024)年度 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金)(挑戦的研究 (開拓)) 研究分担者
渡部 義弥	スマート望遠鏡による科学教育テキストの製作	2024年度 全国科学博物館活動等助成事業

(10)その他活動

氏 名	内 容	備 考
飯山 青海	講演「宇宙の石を地球に届ける」	10月27日(日)開催、京阪ホールディングスと大阪市北区役所との共催事業「小惑星探査機『はやぶさ2』実物大模型展示および関連事業」の一部。
上羽 貴大	Research Partner	大阪音楽大学 太田智美研究室
上羽 貴大	ワークショップ講師	10月13日(日)開催、「科学ワークショップ 偏光板でステンドグラスを作ろう」(メニコン シアターAoi)
上羽 貴大	ワークショップ講師	11月3日(日)開催、科学と音楽のワークショップ「こすって鳴らす音楽のふしぎ」(京都教育大学)
上羽 貴大	自由研究コンテスト審査員、サイエンスショー上演	11月10日(日)開催、「第15回自由研究コンテスト2024」(関西大学)
上羽 貴大	舞台作品 科学監修・ドラマトウルク	11月23日~24日(土・日)開催、「子どものための舞台作品 ひかりとかげ」(メニコン シアターAoi)
上羽 貴大	サイエンスショー、ワークショップ講師	12月6日(金)開催、「大阪から来たよ!わくわくサイエンスショー!」(島根県松江市立中央小学校)
上羽 貴大	「課題研究」への指導助言	12月12日・13日(木・金)、2月4日(火)実施 (大阪府立茨木高等学校)
上羽 貴大	ワークショップ講師	3月1日(土)開催、「カゲとヒカリのワークショップ 影の会」(西川アイプラザ)
嘉数 次人	プラネタリウム・おとな向け投影の講師	6月2日(日) 茨木市文化・子育て複合施設おにクル、きたしんプラネタリウム

9. 広報・宣伝活動

(1)2024 年度広報・宣伝活動の特徴

1-1)大阪市立科学館ロゴマークの活用

リニューアルオープンに先立ち 2022 年度に大阪市立科学館の VI（ヴィジュアル・アイデンティティ）の検討を行い、シンボルマークと館名ロゴタイプからなるロゴマークを定めた。シンボルマークは、科学の発展に不可欠な人間の探究心の象徴として望遠鏡をモチーフとし、館の英名である「Osaka Science Museum」の O、Sci、M をマークに取り込んだ。ロゴタイプは、前身の「大阪市立電気科学館」の 1937 年からの歴史をイメージし、伝統を感じられるものとした。

2024 年度は、ロゴマークを公式・広報ツールやミュージアムショップのオリジナルグッズ、館内外のサイン等に展開し、大阪市立科学館を視覚的に統一的なイメージで現すブランディングを進めた。

VI 設定と展開は、大阪市立科学館研究報告第 34 号 2024 年（P. 131～）に詳述している。



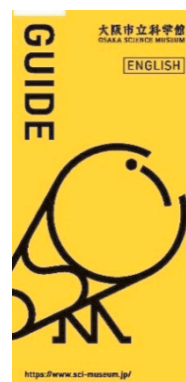
大阪市立科学館
OSAKA SCIENCE MUSEUM



ロゴマーク（基本形）



公式ホームページ（ヘッダー部分）



総合案内リーフレット 折りたたみ時
（左）日本語版、（右）英語版



屋外館名サイン

1-2)催事ポスターの掲出拡大

従来の広報媒体を見直し、大阪市包括連携の利用を拡大し、ポスター掲出、チラシ設置のほか、デジタルサイネージでもリニューアルオープンを周知した。また、大阪メトロとのタイアップポスター掲出や共用掲示板等を活用することで、掲出コストを抑え、ポスター露出の頻度を高めた。様々な年齢層が利用するショッピングモールやスーパー、金融機関、区民センター、図書館などに掲出することで、新規来館者の獲得に努めた。

詳細は「2-6）有料広告等（P. 58）」のとおり

1-3)SNS発信

X（旧 Twitter）、Instagram を活用し、日々の科学館の活動やイベント情報を発信した。リニューアル休館中も館内の様子など、リニューアルの進行状況を中心に投稿を行った。また、リニューアルオープン後は、各プログラムやイベント情報、新しくなった展示場の楽しみ方、科学館の日常のようすなど、フォロワーが科学館を訪れたいくなるような投稿作成を心掛けたほか、公式 SNS を周知するための投稿や館内掲示等でフォロワー増に努めた。開館日はほぼ毎日投稿し、X（旧 Twitter）は 774 名、Instagram は 1,543 名、合計 2,300 名を超える新規フォロワーを獲得した。

1-4) SNS広告の掲出

平日午後の来館者増進に向けた新たな試みとして、Instagram 内での SNS 広告の掲出を行った。学生・社会人向けとファミリー向けの2属性に対する展示場紹介の広告を動画と静止画で作成し、2025年3月10日～30日の21日間、フィード及びストーリーズ等に掲出した。各広告には、属性別特設サイトのリンクを設定し、特設サイトに遷移すると展示場の紹介動画の閲覧やチケットサイトへ遷移することができる仕様にした。結果として、特設ページへのクリック率が学生・社会人向けで1.99%、ファミリー向けで0.98%であった。特に、動画では、学生・社会人向け広告においては、クリック率が2.53%であり、一般的なクリック率(1%程度)を上回り、予想以上に学生・社会人からの反応が得られた。引き続き、今後の広報の手段のひとつとして検討してゆく。

1-5) マスコミ関係者向け情報提供

これまで取材で来館等があったマスコミ関係者約500名に、当館の活動をアピールするメールを一斉に送付し、マスコミへの露出増加を図った。2024年度は、大阪市立科学館リニューアルオープン、企画展「万博で夢見たサイエンス展」に関するお知らせ等、計5件を発信した。

詳細は「(3)プレスリリース (P.58)」のとおり

1-6) 来館者向け館内催事プログラム告知

展示場リニューアルに伴い、総合案内リーフレットを一新した。日本語、英語版を印刷したほか、QR Translatorを導入し、日本語、英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語のほか、計15言語について、二次元コードをスキャンすることで、オンラインで閲覧できるようにし、国内外からの来館者の利便性を高めた。

また、ポスター、イベント情報チラシ「科学館だより」等により、来館者に対して今後の催事プログラムを周知した。科学館だより vol.65 では、イベント情報だけでなく、リニューアルした展示場を特集するページを設け新しくなった展示場の見どころや「学芸員のここ見て！ポイント」を掲載した。

2024年度に作成した広報印刷物については、「(4)その他 広報印刷物 (P.59)」のとおり

1-7) 展示場リニューアル記念式典・内覧会

8月1日の展示場リニューアルオープンに先立ち、7月31日に記念式典・内覧会を開催した。

<概要>

日 時	2024年7月31日(水) 10:00～12:30 記念式典 10:00～10:30 内覧会 10:30～12:30
会 場	■記念式典 大阪市立科学館 展示場1階「みんなのサイエンス・ラボ」 ※会場が定員50名ほどの狭小スペースのため、プラネタリウムホールにて 式典の中継も行った ■内覧会 展示場(1階～4階)
対 象	招待者(大阪市関係者、機構関係者、類似施設関係者、展示協力者ほか)
参加者数	108名(式典会場35名、中継会場73名)、内覧会のみ約150名
内 容	■記念式典 <次第> 開会 主催者挨拶 来賓挨拶 祝電披露(敬称略) ・全国科学館連携協議会 会長 毛利 衛 ・公益財団法人 日本博物館協会 会長 山梨 絵美子 ・日本プラネタリウム協議会 理事長 渡部 義弥

	テープカットセレモニー 登壇者（敬称略） 大阪市長 横山 英幸 大阪市会副議長 西 徳人 地方独立行政法人大阪市博物館機構 理事長 真鍋 精志 大阪市立科学館長 吉岡 克己 謝辞 閉会 ■内覧会 参加者に新展示場をご自由にお楽しみいただき、各階で学芸員が解説を行った。 ※友の会やジュニア科学クラブ会員（小学5・6年生）とその保護者の方々も参加
取 材	19 社
備 考	記念式典・内覧会参加者およびリニューアルオープンから1週間の来館者（先着順）を対象に、ロゴマークがデザインされたノベルティうちわを計8,000枚配布



展示場リニューアル記念式典の様子



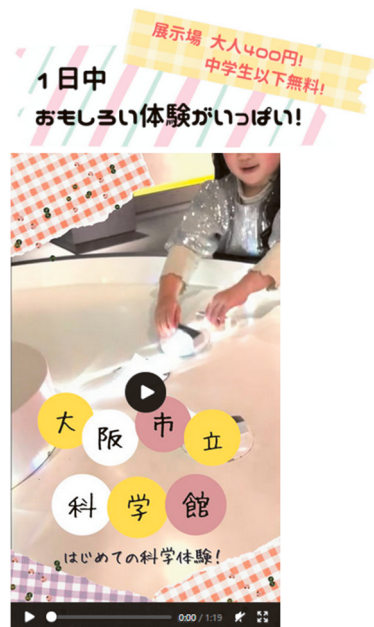
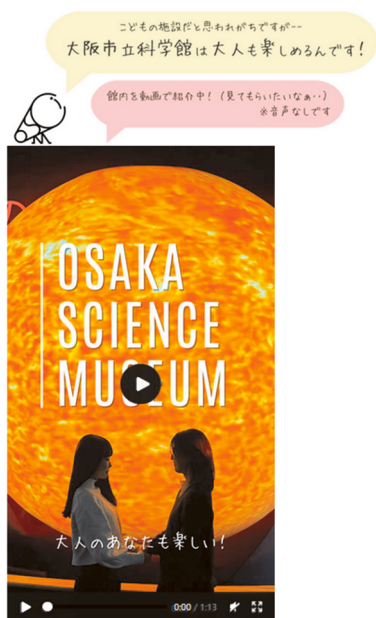
内覧会にて各局の取材に対応する吉岡館長



内覧会の様子



SNS広告 Instagram フィード 「学生・社会人」 向け SNS広告 Instagram フィード 「ファミリー」 向け



SNS広告リンク先 公式HP 「学生・社会人」 向け

SNS広告リンク先 公式HP 「ファミリー」 向け



広報担当のSNS投稿例 Instagram フィード

総合案内リーフレットの近くに掲示した QR Translator のご案内

(2)広報・広告活動

大阪市立科学館の価値・話題性から2024年度(2024.4~2025.3)においてテレビやラジオ、新聞、雑誌などで紹介された実績と内容は次のとおりである。

2-1)記事・広告掲載件数一覧

月 項 目		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
無料記事 (取材協力)	新 聞	0	1	0	2	4	0	0	0	6	4	2	0	19
	雑誌など	3	3	3	31	30	6	8	9	8	27	7	15	150
	テレビ	0	0	0	5	5	3	6	0	0	2	0	1	22
	ラジオ	0	0	0	0	3	0	0	0	1	1	0	0	5
	インターネット	11	1	1	9	22	4	11	7	11	11	16	5	109
	その他	0	0	0	2	0	1	1	3	0	1	0	0	8
	計	14	5	4	49	64	14	26	19	26	46	25	21	313
有 料 (広告)	新 聞	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	雑誌など	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	テレビ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラジオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		14	5	4	49	64	14	26	19	26	46	25	21	313

【過去の実績】

月 年 度		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
2023 年	無料記事	9	34	43	43	43	34	50	30	9	10	5	9	319
	有料広告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	9	34	43	43	43	34	50	30	9	10	5	9	319
2022 年	無料記事	19	38	46	28	16	15	25	40	22	43	9	24	325
	有料広告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	19	38	46	28	16	15	25	40	22	43	9	24	325
2021 年	無料記事	8	38	34	38	34	4	3	14	8	15	50	15	261
	有料広告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	8	38	34	38	34	4	3	14	8	15	50	15	261
2020 年	無料記事	13	20	16	34	36	35	14	10	20	41	40	46	325
	有料広告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	13	20	16	34	36	35	14	10	20	41	40	46	325
2019 年	無料記事	40	23	18	28	44	38	21	46	13	38	12	10	331
	有料広告	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	5
	合 計	40	23	18	28	44	38	26	46	13	38	12	10	336

2-2)テレビでの紹介状況

No.	放送日	放送局名	番組名	放送された概要(紹介概要)
		(会社名)		
1	7/30	毎日放送	報道情報番組 「よんチャンTV」	科学館リニューアル（吉岡館長インタビュー）※番組内で2回放送
2	7/31	NHK 大阪放送局	NHK ニュース・気象情報 (関西)	科学館リニューアル (吉岡館長インタビュー)
3	7/31	読売テレビ	かんさい情報ネット ten.	科学館リニューアル (吉岡館長インタビュー)
4	7/31	関西テレビ	news ランナー	科学館リニューアル
5	7/31	朝日放送	news おかえり	科学館リニューアル
6	8/1	朝日放送	おはよう朝日です	科学館リニューアル
7	8/2	毎日放送	よんチャンTV	リニューアルした科学館から生中継 (吉岡館長出演)
8	8/15	NHK 大阪放送局	ほっと関西	科学館リニューアル（嘉数学芸員出演）
9	8/20	毎日放送	よんチャンTV	夏休みミニ気象台の様子を紹介
10	8/23	朝日放送	news おかえり	リニューアルした科学館から生中継 (嘉数学芸員出演)
11	9/1	TBS スパークル	関口宏の一番新しい江戸時代	1749 年土星・金星のスケッチ画像
12	9/15	関西テレビ	ロザンのクイズの神様・超	リニューアルした科学館を紹介 (吉岡館長出演)
13	9/23	朝日放送	おはよう朝日です 祝日版	スタジオで実験を披露する (生放送、上羽学芸員出演)
14	10/2	eo 光テレビ	ナジャグランディエーバのチマタの ハテナ	リニューアルした科学館を紹介 (石坂学芸員出演)
15	10/4	中京テレビ報道局	ニュース情報番組 「キャッチ！」	ネオジム磁石のすごさについて、実験を とおして紹介する (大倉学芸員出演)
16	10/5	関西テレビ	フットマップ	リニューアルした科学館を紹介 (吉岡館長出演)
17	10/14	関西テレビ	news ランナー	ツチンシャン・アトラス彗星について、 「飯山学芸員に聞きました」として電話 取材内容を紹介
18	10/17	NHK 大阪放送局	ほっと関西	ツチンシャン・アトラス彗星について解 説する（飯山学芸員出演）
19	10/18	eo 光テレビ	ゴエと忠志のDEEP 関西	リニューアルした科学館を紹介 (飯山学芸員出演)
20	1/4	日本テレビ	せっかち勉強・第6弾	雨粒の形について、紹介内容に問題がない かの確認
21	1/9	テレビ大阪	やさしいニュース	大阪市内での星空観察のポイントについ て紹介（嘉数学芸員出演）
22	3/21	ベイコムチャンネル	チームベイコム	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の 紹介（渡部学芸員出演） ※3/27 まで公開

2-3)ラジオでの紹介状況

No.	放送日	放送局名	番組名	放送された概要（紹介概要）
		（会社名）		
1	8/1	NHK 大阪放送局 第1放送	関西ラジオワイド	リニューアルした科学館を紹介 （生中継、吉岡館長出演）
2	8/11	MBS ラジオ	サンデーライブ！ ゴエでSHOW！	リニューアルした科学館を紹介 （生中継、渡部学芸員出演）
3	8/23	MBS ラジオ	ヤマヒロのびかっ！と モーニング	リニューアルした科学館やこれまでの歴史、 天体など紹介（渡部学芸員出演）
4	12/6	NHK 大阪放送局 第1放送	関西ラジオワイド	企画展「万博で夢見たサイエンス展」を紹介 （渡部学芸員出演）
5	1/9	NHK ラジオ	マイあさ！	企画展「万博で夢見たサイエンス展」を紹介

2-4)新聞での紹介状況

No.	掲載日	新聞社	紹介記事概要
1	5/11	週刊 大阪日日新聞	科学館リニューアルについて紹介
2	7/1	大阪日日新聞（おやこ新聞）	「夏休みお出かけスポット」内にて科学館リニューアルについて紹介
3	7/13	大阪日日新聞	「夏休みお出かけスポット」内にて科学館リニューアルについて紹介
4	8/1	産経新聞	科学館リニューアルについて紹介
5	8/1	日刊工業新聞	科学館リニューアルについて紹介
6	8/1	読売新聞	科学館リニューアルについて紹介
7	8/23	奈良新聞	企画展「日本の科学館は大阪から」の紹介
8	12/10	朝日新聞	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の開催情報
9	12/13	京都新聞	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
10	12/13	公明新聞	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
11	12/13	読売新聞	ラックカイガラムシの紹介記事にて上羽学芸員のコメント掲載
12	12/17	朝日新聞	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
13	12/18	読売ファミリー	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
14	1/17	読売中高生新聞	プラネタリウムについて渡部学芸員のコメント掲載
15	1/26	しんぶん赤旗	お天気実験講座の紹介
16	1/30	読売新聞（西部）	ラックカイガラムシの紹介記事にて上羽学芸員のコメント掲載
17	1/30	読売新聞（東京）	ラックカイガラムシの紹介記事にて上羽学芸員のコメント掲載
18	2/1	読売新聞	節分と暦の関係について江越学芸員のコメント掲載
19	2/18	公明新聞	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介

2-5)雑誌・インターネットでの紹介状況

No.	掲載日	雑誌社(名)	紹介記事内容
	<4月>		
1	4/1	大阪府中小企業家同友会(会報誌)	わが街探訪 vol. 109 「大阪地域自慢」内にて科学館紹介
2	4/1	大阪府中小企業家同友会(Web)	昭和の記憶、令和の星空 ～この夏生まれ変わる大阪市立科学館～ (会報誌と同内容掲載)
3	4/1	日本食糧新聞社 社内報	レーウエンフックの顕微鏡(レプリカ)の紹介
4	4/10	いちょう並木4月号	休館、リニューアル情報
5	4/23	大阪ミュージアムズ 公式X	科学館リニューアル情報
6	4/23	大阪市博物館機構 公式HP	科学館リニューアル情報
7	4/23	大阪博 OSAKA-HAKU (Web)	科学館リニューアル情報
8	4/23	ファッションプレス (Web)	科学館リニューアル情報
9	4/23	うえまち新聞編集局 web サイト「うえまちweb」速報ページ	科学館リニューアル情報
10	4/23	NEWSRELEASE (Web)	科学館リニューアル情報
11	4/23	週刊大阪日日新聞 (Web)	科学館リニューアル情報
12	4/24	Lmaga.jp (Web)	科学館リニューアル情報
13	4/26	梅田経済新聞(Web)	科学館リニューアル情報
14	4/26	梅田経済新聞(X, Facebook)	科学館リニューアル情報
	<5月>		
15	5/10	いちょう並木4月号	休館、リニューアル情報
16	5/29	リビング大阪Web	科学館リニューアル情報
17	5/30	京阪神エルマガジン社 休日本 関西版 2024-2025	科学館リニューアル情報
18	5/31	サンケイリビング新聞社 リビング枚方 2072号	科学館リニューアル情報
	<6月>		
19	6/10	いちょう並木6月号	休館、リニューアル情報、学芸員のおススメコレクション「カールツァイスⅡ型プラネタリウム」の紹介
20	6/12	anna 関西をもっと楽しむライフスタイルマガジン(Web)	科学館リニューアル情報
21	6/19	まっふる大阪観光25	科学館リニューアル情報
22	6/26	博物館研究 2024年8月号	雑誌グラビア(電気科学館ポスター等)
	<7月>		
23～46	7/1	大阪市広報紙「大阪市民のみなさんへ」24区	科学館リニューアル情報
47	7/1	大阪ミュージアムズHP	展覧会・イベントスケジュール 7-9月

48	7/7	るるぶ &more (Web)	科学館の紹介
49	7/10	子どものためのイベント＋施設ガイド タッチ！	企画展「日本の科学館は大阪から」の紹介、科学館概要
50	7/10	いちょう並木 7月号	リニューアル、科学館のイベント情報
51	7/15	小学館集英社プロダクション社 オンライン講座「小学館の探求楽習」資料	オンライン講座の資料内で学天則を紹介
52	7/17	マイホーム Walker 特別編集	「厳選お出かけスポット」内にて科学館紹介
53	7/24	大阪スケジュール (Web)	科学館リニューアル情報
54	7/25	TOKK 8月号	科学館リニューアル情報
55	7/25	博物館研究 2024 年 8 月号	企画展「日本の科学館は大阪から」の紹介
56	7/25	ホッと！HANSHIN 8月号	科学館リニューアル情報
57	7/27	中之島ウエスト まちめぐりラリー&グルメクーポン (チラシ)	科学館リニューアル情報
58	7/29	TOKK (Web)	科学館リニューアル情報
59	7/31	読売新聞社公式 Youtube	かんさい情報ネット ten. (7/31) 放送内容を公式 Youtube にて公開
60	7/31	読売新聞オンライン (動画)	科学館 35 年ぶり展示場リニューアル
61	7/31	読売新聞オンライン	科学館展示場を全面改装 「科学が好きな人を育てる施設に」
62	7/31	産経新聞 (Web)	科学館リニューアル情報
63	7/31	ABC ニュース 関西ニュース (Web)	科学館リニューアル情報
64	7/31	ハッピークーポン夏号	プラネタリウム「ファミリータイム」
	<8 月>		
65～88	8/1	大阪市広報紙「大阪市民のみなさんへ」24 区	サイエンスショーの紹介
89	8/1	Yahoo! ニュース	科学館リニューアル情報
90	8/1	JR 西日本「おでかけガイド」(Web)	科学館リニューアル情報
91	8/1	株式会社リクルート「じゃらん net」 観光ガイド (Web)	科学館リニューアル情報
92	8/1	JR 西日本「WESTER」(Web)	科学館リニューアル情報
93	8/1	うえまち web 新聞	科学館リニューアル情報
94	8/1	JAVA. jp (Web)	科学館リニューアル情報
95	8/1	まっふる 星と天体観測と旅の本	「憧れの PLANETARIUM」内にて科学館紹介
96	8/1	阪急沿線お出かけ情報紙 TOKK 8月号	「阪急インフォメーション」にて科学館紹介
97	8/1	ABC テレビ「おはよう朝日です」(X)	同日放送コーナーの告知／きょうリニューアルオープン「大阪市立科学館」

98	8/1	NHK 関西ブログ (Web)	科学館リニューアル情報
99	8/1	ニュースサイト「ラジトピ」	科学館リニューアル情報
100	8/1	日刊工業新聞 (電子版)	科学館リニューアル情報
101	8/1	関西ラジオワイド(X)	「今日リニューアルオープンした大阪市立科学館から中継」放送告知
102	8/1	筑摩書房 天文学者たちの江戸時代	江戸時代の天文学紹介の中で科学館所蔵物を掲載
103	8/1	読売新聞オンライン	大阪市立科学館 好奇心育む体験を
104	8/2	梅田経済新聞(Web)	科学館リニューアル情報
105	8/2	梅田経済新聞(X, Facebook)	科学館リニューアル情報
106	8/2	Yahoo! ニュース	科学館リニューアル情報
107	8/4	TOKK(X)	科学館リニューアル情報
108	8/5	時事通信社 JIJL.COM (Web)	科学館リニューアル情報
109	8/10	いちょう並木 8月号	科学館のイベント情報
110	8/14	LIVING 大阪 Web	科学館リニューアル情報
111	8/15	NHK 関西 NEWS WEB	科学館リニューアル情報
112	8/16	ぴあ関西編集部 公式 Instagram	科学館リニューアル情報
113	8/17	ウーマンライフ Vol. 187	プラネタリウム紹介
114	8/22	KoKaNet 子供の科学の Web サイト	企画展「日本の科学館は大阪から」の紹介
115	8/23	MBS ラジオ「ヤマヒロのぴかッとモーニング」(X)	同日の放送 渡部学芸員出演のお知らせ
116	8/25	博物館研究 2024 年 9 月号	企画展「日本の科学館は大阪から」の紹介
	<9 月>		
117	9/1	月刊ブレーン 10 月号	科学館のロゴマークを紹介
118	9/5	「大阪博」Web ページ	館内各所 (サイエンスショー、展示場、ミュージアムショップ、プラネタリウム、カフェ) 紹介
119	9/10	子供の科学	企画展「日本の科学館は大阪から」の紹介
120	9/10	いちょう並木 9月号	科学館のイベント情報
121	9/13	あんふあん 10 月号	科学館の紹介 (子ども向け)
122	9/13	ロザンのクイズの神様(X)	科学館紹介 9/15(日)放送回の告知
123	9/17	FESTIVAL PLAZA 街中のオアシス中之島を歩こう	科学館の紹介
124	9/18	大阪博 WEB ミュージアムって楽しい! By OSAKA MUSEUMS	リニューアルオープン! 大阪市立科学館
125	9/23	クラフトパークフェスタ 2024	科学館リニューアル情報
126	9/23	ABC TV 「アスミライこども week」HP	おはよう朝日です 祝日版 9/23(上羽学芸員出演)放送の告知
127	9/25	博物館研究 2024 年 10 月号	企画展「日本の科学館は大阪から」の紹介

	<10月>		
128	10/1	大阪ミュージアムズHP	展覧会・イベントスケジュール 10-12月
129	10/1	わがまち北区 10月号	アートエリア B1 での、大阪市立科学館出張講演会「宇宙の石を地球へ届ける」(講師:飯山学芸員)開催告知
130	10/1	ベネッセコーポレーション社 入試問題解説書	入試問題の解説に月食の経過画像を掲載
131	10/2	eo 光チャンネル(X)	科学館紹介「ナジャグランディエーバのチマタのハテナ」10/2(水)放送回の告知
132	10/5	関西テレビ「フットマップ」(Web)	科学館紹介 10/5(土)放送回の告知
133	10/6	関西テレビ「フットマップ」(X)	科学館紹介 10/5(土)放送回の見逃し配信告知
134	10/8	保育園ライフを未来のたからものにぎゅって	科学館概要
135	10/8	マイナビティーンズ (Web)	科学館概要
136	10/10	いちょう並木 10月号	科学館のイベント情報
137	10/11	あんふあん 11月号	科学館リニューアル情報
138	10/14	月刊星ナビ 10月号	科学館学芸課編著「こよみハンドブック」の紹介
139	10/15	日本博 HP	科学館の紹介 (海外向け)
140	10/17	eo 光チャンネル(X)	科学館紹介 10/18(金)放送回「ゴエと忠志のDEEP 関西」の告知
141	10/21	museumpick(Web)	博物館リストにて科学館の紹介
142	10/21	eo 光チャンネル(Web)	10/18(金)放送回「ゴエと忠志のDEEP 関西」Web 版掲載
143	10/21	eo 光チャンネル(X)	10/18(金)放送回「ゴエと忠志のDEEP 関西」Web 版更新のお知らせ
144	10/22	KASHIBA DAISUKI! 香芝ダイスキ!	プラネタリウム紹介
145	10/25	博物館研究 2024 年 11 月号	企画展「日本の科学館は大阪から」の紹介
146	10/26	アートエリア B1 小惑星探査機「はやぶさ2」実物大模型展示 (チラシ)	飯山学芸員出張講演、キーワードラリーの案内
147	10/29	大阪市博物館機構 ポータルサイト「OSAKA MUSEUMS」トップバナー	プラネタリウム新プログラムのお知らせ
	<11月>		
148	11/1	全科協 News Vol. 54 No. 6	科学館リニューアル情報、11月12月特別展情報に企画展「日本の科学館は大阪から」、企画展「万博で夢見たサイエンス展」の会期掲載

149	11/1	TR@VEL MEDLEY!!!!!! JR 東海×アイドルマスター デジタルスタンプラリーガイドブック	大阪のオススメスポットとして科学館を紹介
150	11/1	中之島ウエスト 冬ものがたり 2024	プラネタリウム「オーロラに逢いにいこう」の紹介
151	11/1	中之島ウエスト HP	プラネタリウム「オーロラに逢いにいこう」、 「HAYABUSA2 ～REBORN」、企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
152	11/1	第6回教育展 楽器の世界 子どもと音楽をつなぐ楽器展	科学と音楽のワークショップ「こすって鳴らす 楽器のふしぎ」（講師：上羽学芸員）の案内
153	11/1	ミュージアム連続講座 2024 (チラシ)	企画展「万博で夢見たサイエンス展」に関する 講座（講師：渡部学芸員）のお知らせ
154	11/1	大阪博 WEB ミュージアムって楽しい！By OSAKA MUSEUMS	おさんぽミュージアム 大阪市立科学館編
155	11/1	アフロ社 入試問題解説書	入試問題の解説に皆既月食画像を掲載
156	11/6	読売新聞大阪本社公式Instagram	主に訪日外国人向けに展示場を紹介
157	11/10	いちょう並木 11月号	ミュージアムトピックス「科学館リニューアル」、イベント情報
158	11/12	「SUUMO 新築マンション関西版」 遊ぶ・学ぶ・体験する 公共施設がすごい街 10	科学館リニューアル情報
159	11/13	大阪博 WEB ミュージアムって楽しい！By OSAKA MUSEUMS	スペシャルコンテンツ気になる「推し」に会いに行こう。「学天則」の紹介
160	11/15	ナカシャクリエイティブ NFT スタンプラリー Osaka Museum Treasure Hunt	スタンプラリー対象施設として紹介
161	11/25	博物館研究 2024 年 12 月号	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
162	11/25	かんでん WITH YOU(Web)	大阪でおすすめのプラネタリウム6選！にてプラネタリウム紹介
163	11/27	MEQQE (Web)	科学館の紹介（子ども向け）
164	11/28	「Bloomberg Connects (ブルームバーグ・コネクト)」アプリ	科学館の施設概要、イベント情報
165	11/30	Osaka Metro, 大阪シティバス おでかけKID'S PASS ご利用ガイドブック	対象施設として参加
166	11/30	理系の職場 日本科学未来館のしごと	科学館の紹介、ボールマシンの紹介
	<12月>		
167	12/1	わがまち北区 12月号	プラネタリウム「オーロラに逢いにいこう」の紹介
168	12/1	大阪観光コンシェルジュ	プラネタリウムのコラム掲載
169	12/2	ぷらっと阪急 (Web)	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介

170	12/4	NHK 関西ブログ	渡部学芸員出演「関西ラジオワイド」12/6(金)放送回の告知
171	12/6	関西ラジオワイド(X)	渡部学芸員出演「関西ラジオワイド」12/6(金)放送回(聞き逃し配信)の告知
172	12/9	大阪市博物館機構公式 X, Facebook	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
173	12/9	大阪市博物館機構公式 X, Facebook	サイエンスショーの紹介
174	12/10	いちょう並木 12・1月合併号	科学館のイベント情報
175	12/13	Yahoo!ニュース	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
176	12/13	ラジオ関西トピックス ラジトピ(Web)	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
177	12/15	JTB パブリッシング マンガとクイズで楽しく学ぶ身近な科学	科学館リニューアル情報
178	12/18	Yahoo!ニュース	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
179	12/18	みんなの万博新聞(Web)	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
180	12/18	梅田経済新聞(Web)	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
181	12/18	梅田経済新聞(X, Facebook)	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
182	12/21	星ナビ 2025 年 2 月号 天文外史・火星騒動史	平天儀図解・火星に関する画像掲載
183	12/23	SAVVY 2 月号	ミュージアムショップグッズ ぱたぱた付箋の紹介
184	12/25	博物館研究 2025 年 1 月号	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
185	12/26	頼れるドクター大阪	科学館の紹介
	<1 月>		
186	1/1	大阪ミュージアムズHP	展覧会・イベントスケジュール 1-3 月
187 ~ 210	1/1	大阪市広報紙「大阪市民のみなさんへ」24 区	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
211	1/1	わがまち北区 1 月号	スペシャルナイト「月の石ナイト」の紹介
212	1/1	るるぶ大阪ベスト'26	科学館リニューアル、施設概要紹介
213	1/6	だいしんビデオ(大阪信用金庫 70 店舗内のデジタルサイネージ)	プラネタリウム「オーロラに逢いにいこう」の紹介(～1/31 まで)
214	1/7	JR 西日本「おでかけガイド」(Web)	サイエンスショーの紹介
215	1/7	株式会社リクルート「じゃらん net」観光ガイド(Web)	サイエンスショーの紹介
216	1/7	JR 西日本「WESTER」(Web)	サイエンスショーの紹介
217	1/7	JAVA. jp(Web)	サイエンスショーの紹介
218	1/15	大阪市博物館機構 Instagram	中之島デートプラン内で科学館を紹介
219	1/22	大阪市広報 X, Facebook	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
220	1/25	TOKK 2 月号	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介

221	1/28	じゃらんニュース 冬のおすすめデ- トスポット 2025 (Web)	プラネタリウム「オーロラに逢いにいこう」、 「HAYABUSA2 ～REBORN」の紹介
222	1/29	HugMug (Web)	科学館概要 (子ども向け)
223	1/30	KoKaNet 子供の科学の Web サイト	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
224	1/31	ウォーカープラス (Web)	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
	<2 月>		
225	2/1	ARCADIA 3 月号	中之島特集内にて科学館の紹介
226	2/5	月刊天文ガイド 3 月号	月刊うちゅうの紹介
227	2/5	TOKK (Web)	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
228	2/5	TOKK (X)	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
229	2/6	JR 西日本「おでかけガイド」 (Web)	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
230	2/6	株式会社リクルート「じゃらん net」 観光ガイド	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
231	2/6	JR 西日本「WESTER」 (Web)	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
232	2/6	JAVA. jp (Web)	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
233	2/7	QR Translator 公式 HP	QR Translator 実績紹介にて、導入施設として紹 介
234	2/10	いちよう並木 2 月号	学芸員のおススメコレクション「ザガミ隕石」の 紹介、イベント情報
235	2/10	子供の科学	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
236	2/10	子供の科学 (Web)	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
237	2/12	JR 西日本「おでかけガイド」 (Web)	科学館の紹介
238	2/12	JR 西日本「WESTER」 (Web)	科学館の紹介
239	2/12	JAVA. jp (Web)	科学館の紹介
240	2/16	月刊 News がわかる特別編 アルミニウ ムがわかる	展示場 3F の紹介
241	2/21	じゃらんニュース 雨の日デートにおすすめ！室内でも遊 べるお出かけスポット 33 選！ (Web)	プラネタリウムの紹介
242	2/25	キクマリのプラネ旅ウム (Instagram)	科学館の紹介
243	2/25	明石市立天文科学館星の友の会会報 「135° の星空」No. 200 記念号	当館施設見学の様子を掲載
244	2/26	Newton 4 月号	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
245	2/26	じゃらんニュース (Web)	科学館の紹介
246	2/28	SpaceMate (Web)	科学館の紹介
247	2/28	大阪ミュージアムズ Youtube	サイエンスショーの紹介
	<3 月>		
248	3/1	全科協 News Vol. 55 No. 2	表紙に科学館の展示「ステンドグラス」、中面 に猪口学芸員による展示解説掲載

249	3/1	日経サイエンス 645 号	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
250	3/1	ブレーン 3 月号	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の紹介
251	3/1	来てな！OSAKA(大阪デスティネーションキャンペーンガイドブック)	科学館の紹介
252	3/1	わがまち北区 3 月号	電気記念日スペシャルイベント 2025 の紹介
253	3/4	大阪市博物館機構 ポータルサイト「OSAKA MUSEUMS」 トップバナー	プラネタリウム新プログラムのお知らせ
254	3/7	新潮 3 月号	中之島 15 の場所での物語でカールツアイスⅡ型投影機を紹介
255	3/9	プラネ旅ウム (YouTube ショート動画)	ナレーター 菊地マリコさん撮影館内映像 (学天則)
256	3/10	タッチ 春号	プラネタリウム、サイエンスショー、企画展の概要紹介
257	3/10	いちょう並木 3 月号	大阪の宝の紹介、イベント情報
258	3/10	月刊「旅の手帖」	特別付録内で科学館の紹介
259	3/20	彩羽真矢さん(アイドル)X	ベイコム「チームベイコム」(企画展「万博で夢見たサイエンス展」紹介) 番組放送告知
260	3/22	SAVVY 5 月号	展示場の紹介 (嘉数学芸員コメント掲載)
261	3/26	副読本「おおさか環境科」小学校・義務教育学校 3・4 年生	環境学習施設マップに当館概要
262	3/26	副読本「おおさか環境科」小学校・義務教育学校 5・6 年生	環境学習施設マップに当館概要
263	3/26	副読本「おおさか環境科」中学校・義務教育学校	環境学習施設マップに当館概要
264	3/27	るるぶ Kids (Web)	大阪市立科学館を徹底レポ！ (施設紹介)
265	3/30	ハレ旅大阪	科学館の紹介
266	3/31	Lmaga MOOK 大阪観光	科学館の紹介、星座早見盤の紹介
267	3/31	中部サイエンスネットワーク かがくであそぼ！ (Web)	プラネタリウム「ファミリータイム」の紹介

2-6)有料広告等

区分	件名		概要
固定広告	Osaka Metro(地下鉄) 肥後橋駅周辺案内図		年間契約
	JR 福島駅周辺案内図		年間契約
	JR 新福島駅周辺案内図		年間契約
	京阪中之島線渡辺橋駅周辺案内図		年間契約
	阪神電鉄福島駅周辺案内図		年間契約
	Osaka Metro(地下鉄) 市政広報板ポスター掲出		8 路線 各駅(106 か所) × 2 週間 4 回
	京阪電車駅構内「大阪ミュージアムインフォメーション」常設案内コーナー B2 判ポスター掲出		年 3 回
その他	Osaka Metro 駅構内 共用掲示板 ポスター掲出、チラシ設置		(ポスター) 22 駅×1 ヶ月 1 回 (チラシ) 22 駅×1 ヶ月 2 回
	Osaka Metro 下帯付きタイアップポスター掲出		全駅×1 ヶ月
	大阪市包括連携協定 イオングループ ポスター掲出		市内全店舗 54 か所×半月
	大阪市包括連携協定 大阪シティ信用金庫 ポスター掲出		市内全店舗 40 か所×半月
	大阪市包括連携協定 あべのキューズモール館内 デジタルサイネージ		動画 (大型モニター 1 台)、静止画 (縦型 モニター 11 台) 約 1 ヶ月放映
	イオンモール大阪ドームシティサイネージ インフォメーションパネル ポスター静止画掲出		1 ヶ月放映
	大阪ミュージアム情報発信媒体 だいしんビデオ 大阪信用金庫 デジタルサイネージ 催事情報掲出		70 店舗×約 1 ヶ月
	近鉄百貨店上本町店 1 階ウインドウ内設置モニター デジタルサイネージ		2024 年 12 月末日まで、随時掲出
	大阪市立中央図書館 専用チラシラック設置		科学館だより等の催事チラシを適宜入替
	SNS 広告配信 (Instagram)		2025 年 3 月 10 日から 3 月 23 日まで 広告表示回数 200,000 回以上
	当館内・外	屋外デジタルサイネージ	2024 年 9 月 1 日から、随時更新 ※サイネージ管理者である国立国際美術館の工事に伴い一時休止
		屋外 ガラスボード	2024 年 8 月 更新
		屋外 正面玄関 記念撮影シート	2024 年 8 月 更新
		正面玄関インフォメーションボード	随時更新
		イベント情報チラシ発送	約 85 か所×3 回
	ホームページ管理		事業内容、総合案内など紹介

(3)プレスリリース

プレスリリースを通じて、科学館事業の広報周知をはかった。2024 年度におけるリリースは、以下のとおりである。

リリース日	リリース内容
4 月 23 日	2024 年 8 月 1 日 (木)、大阪市立科学館リニューアルオープン！ —他にない、みんなで科学を楽しむ空間へ—
7 月 17 日	関係者向け 展示場リニューアル記念式典・内覧会のご案内 2024 年 8 月 1 日 (木) 大阪市立科学館リニューアルオープン！
12 月 12 日	万博が未来をみちびく 企画展「万博で夢見たサイエンス展」を開催します！
2 月 19 日	「月の石」の本当の価値が、深く楽しくわかる 3 月 1 日 (土) スペシャルナイト「月の石ナイト」開催！※
3 月 13 日	月の石のスペシャリストが登場！ 3 月 29 日 (土) スペシャルナイト「月の石、『リュウグウ』の石 - 太陽系の歴史を探る -」開催 ※

※メールマガジンのみ送付

(4)その他 広報印刷物

館内で印刷したものを除いて、以下の印刷物を発行した。

内容	規格
総合案内リーフレット（日本語・英語）	A4（巻き三つ折り）
リニューアルオープン ノベルティうちわ	直径約 210mm 紙穴あき・骨なし
リニューアルオープン ポスター	B2
リニューアルオープン ポスター（Osaka Metro 下帯付き）	B1
冬のプラネタリウム ポスター「オーロラに逢いにいこう」他	B2
春のプラネタリウム ポスター「月世界への道」他	B2
イベント情報チラシ 科学館だより vol. 65（8月～11月のイベント情報）	A4 外三つ折り（Z折り加工）
イベント情報チラシ 科学館だより vol. 66（12月～2月のイベント情報）	A4
イベント情報チラシ 科学館だより vol. 67（3月～5月のイベント情報）	A4
リニューアルオープン企画展「日本の科学館は大阪から」チラシ	A4
企画展「万博で夢見たサイエンス展」チラシ	A4
「サイエンスブックフェスタ」チラシ	A4



リニューアルオープン ノベルティうちわ
（裏面デザインは8月の星図）



リニューアルオープン ノベルティうちわ（配架の様子）



科学館だより vol. 65 リニューアル特集ページ



リニューアルオープン ポスター（Osaka Metro 下帯付き）

10. 売店事業

天文・科学関連の商品をはじめ、ミニブックやオリジナルグッズ等の商品の販売を行った。

クレジットカード決済は、件数で18%、金額で21%の利用、電子マネー決済は、件数で7%、金額で6%の利用、コード決済は、件数で15%、金額で13%の利用があった。

2021年度より公式ネットショップを開設し商品の販売を行っている。4年目に当たる2024年度は「メダル」「こよみハンドブック」などの売り上げが好調であった。

<参考> 売れ筋商品ベスト5

1. 数量		2. 金額	
1位	天体マグネットガチャ	1位	天体マグネットガチャ
2位	宇宙航空ガチャ	2位	スペースフードたこやき
3位	スペースフードたこやき	3位	スペースフードチョコケーキ
4位	クネクネカラフル鉛筆	4位	宇宙航空ガチャ
5位	スペースフードチョコケーキ	5位	スペースフードバニラ

《2024年度オリジナル商品》



トートバッグ



オリジナル星座早見盤



マグカップ



マスキングテープ



ぱたぱた付箋



こよみハンドブック



タオルハンカチ



カールツァイス缶バッジ



ラバーキーホルダー



リニューアルオープン
記念メダル

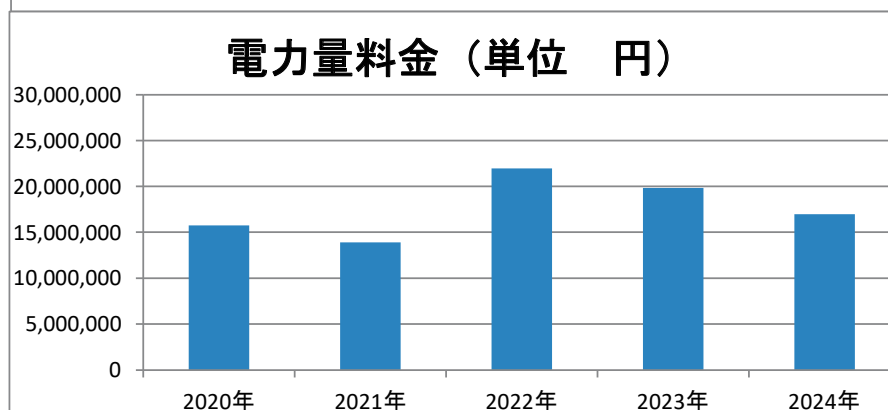
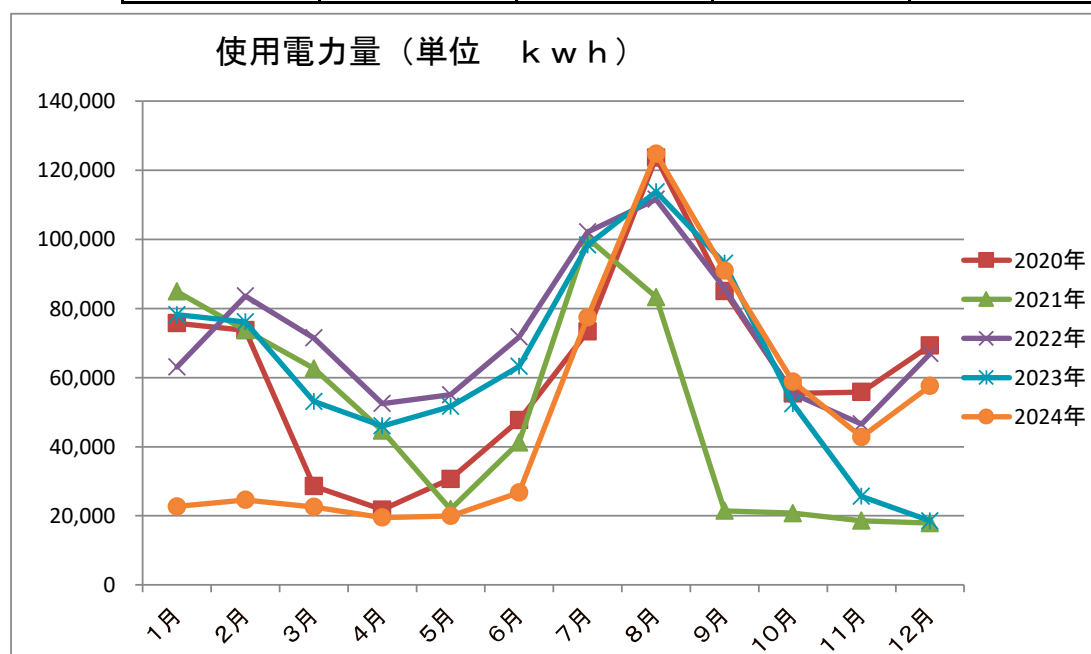
11. 電力量料金の推移

(1) 過去5カ年の各月使用電力量と電力量料金の推移（2020年1月～2024年12月）

注) 2020年2月29日～5月20日 全面閉館
 2020年5月21日～7月20日 部分閉館（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）
 2020年5月21日からプラネタリウムの定員を1/5にして部分再開。展示場は休止中
 2020年7月21日から展示場再開。220点の展示のうち30点は使用を休止中。展示場定員300人
 2020年9月2日からプラネタリウムの定員を1/3に変更
 2021年11月23日から契約電気を特別高圧電力から高圧電力に変更
 2021年4月25日～6月21日 臨時休館（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）
 2021年8月23日～2022年2月1日 大規模修繕工事にて全面休館
 2023年11月6日～2024年7月31日 リニューアル工事等にて全面休館

月	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
1月	75,713	84,914	63,069	78,185	22,686
2月	73,682	73,727	83,628	76,109	24,559
3月	28,588	62,623	71,503	53,079	22,509
4月	21,749	44,614	52,475	45,998	19,452
5月	30,657	21,886	55,028	51,645	19,973
6月	47,628	41,222	71,732	63,214	26,731
7月	73,316	100,365	102,132	98,347	77,444
8月	123,693	83,290	111,610	113,771	124,794
9月	84,979	21,465	85,802	93,086	90,989
10月	55,395	20,742	55,332	52,395	58,802
11月	55,801	18,532	46,529	25,597	42,792
12月	69,229	17,858	66,952	18,505	57,548
合計	740,430	591,238	865,792	769,931	588,279

・料金 (税込)	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
	15,748,644	13,909,493	21,970,622	19,828,336	16,978,668



12. イベント・その他

(1)開館時間延長

【プラネタリウム1回延長】(展示場は通常通り 17 時まで)

・土曜日・日曜日・祝休日

【プラネタリウム1回延長及び展示場1時間延長】(展示場は 18 時まで)

・8 月 3 日～25 日の土曜日・日曜日・祝日及び 8 月 13 日～16 日

(2)七夕まつり

長期休館中のため実施せず。

(3)展示場の無料開放

展示場は小人(中学生以下)に対して通年、無料開放している。

(4)北側広場の大道芸パフォーマンスへの開放

土、日、祝日及び冬・春休み期間を中心に、パフォーマーに活動の場を提供した。

(5)駐車場の管理運営

お客様のサービス向上のため、予約バス及び一般車両を受け入れている。

また、3 月 1 日よりバイクシェア事業を開始した。実績は貸出 275 回 返却 277 回であった。

(6)自動販売機の設置

お客様サービスのため、駐車場北側のテント内に飲料自動販売機を 6 台設置している。令和 6 年度の総売上個数は 60,686 個であった。

(7)Wi-Fi の設置

お客様のサービス向上のため、館内に無料 Wi-Fi (Osaka Free Wi-Fi) を設置している。

(8)インターネット予約購入システム

お客様の利便性向上のため、プラネタリウム及び展示場の個人観覧券をインターネットから事前に購入できるシステムで運用している(来館日の 7 日前から投影 1 時間前まで購入可能、キャンセルは午前 9 時まで)。また、障がい者等手帳をお持ちの方、大阪市内在住 65 歳以上の方の無料観覧券が、有料の方と一緒にあれば購入できるようにした。

(9)キャッシュレス決済

チケットカウンターではクレジット決済システムを導入している。

また、ミュージアムショップではクレジット決済システム及び電子マネー決済を導入している。

(10)クリスマス

12 月 6 日(金)～12 月 25 日(水)に正面玄関横にクリスマスツリーを設置した。

3部 資料編

1. 科学館概要

館 長	吉岡 克己
所在地	〒530-0005 大阪市北区中之島四丁目2番1号
電 話	06-6444-5656 (代表)
ファックス	06-6444-5657
ホームページ	https://www.sci-museum.jp/
開 館	1989年10月7日
設置目的	自然、科学及び科学技術に関する資料等を収集し、保管して公衆の観覧に供するとともに、当該資料等に関する調査研究及び普及活動を通じて、市民の文化と教養の向上を図るとともに、学術の発展に寄与することを目的とする。 (以上、大阪市博物館機構定款第一条より該当部分抜粋による)
主な事業	・自然、科学および科学技術に関する実物、標本、現象に関する資料その他資料（以下「博物館等資料」という。）を収集（制作及び寄託を含む）し、保管し、プラネタリウム投影を含む公衆の観覧に供する。 ・次に掲げる博物館等資料に関する国内外の資料及び情報を収集し、整理し、提供する。 (1) 図書、逐次刊行物、研究成果報告書、調査報告書、地図、絵図、拓本等 (2) 写真、スライド、マイクロフィルム、磁気媒体、光ディスク等 (3) その他の情報及び資料 ・次に掲げる調査研究を行う。 (1) 博物館等資料に関する調査研究 (2) 博物館等資料の保存及び管理方法並びに展示方法に関する調査研究 (3) その他博物館等資料の収集、保管、及び公衆の観覧の充実に資する調査研究 ・博物館等資料並びにその保管及び公衆の観覧並びに前条の調査研究に関する教育及び普及の事業を行う。 (1) 講演会、講座、シンポジウム、展示解説、ワークショップ、観察会等の開催 (2) アマチュアや専門研究をめざす者等への指導・助言 (3) 定期刊行物、展覧会図録、ガイドブック、研究報告書等の刊行及びホームページ等を通じた情報の提供 ・施設の提供や協働事業を通じて、市民が自らの学習の成果を活用して行う教育活動機会の提供とその奨励を行う。 ・博物館等資料を国内外の博物館その他これに類する施設と貸借し、及び交換することができる。 (以上、地方独立行政法人大阪市博物館機構業務方法書による)
展示点数	228 点
資料点数	15,040 点
プラネタリウム	ドーム 直径 26.5m 座席数 267 席（うち車いすスペース 5 席分） 本 機 インフィニウムΣ-OSAKA (2019 年、コニカミノルタプラネタリウム製) 全天周映像システム メディアグローブΣSE (2022 年、コニカミノルタプラネタリウム製)

2. 沿革

大阪市立科学館は大阪市が市制 100 周年(1989 年)記念事業の一つとして計画、関西電力株式会社からの寄贈申し出により実現の運びとなり、1989 年 10 月開館した。

年月日	西暦	できごと
昭. 58. 8. 25	1983	大阪市制 100 周年記念事業基本構想の中に、新しい科学技術館の新設がうたわれる。
昭. 61. 9. 29	1986	関西電力(株)から大阪市制 100 周年に賛同し、関西の電気事業創業 100 年を記念して「科学技術館(仮称)」を建築して寄贈する旨、申し出
昭. 62. 2. 9	1987	科学技術館展示構想委員会発足(委員 10 名で構成)、第 1 回展示構想委員会開催(以後開館までに 6 回開催)
昭. 63. 1. 27	1988	「科学技術館(仮称)」建築工事着工
昭. 63. 10. 7	1988	大阪市教育委員会内に科学技術館開設準備室設置
平. 元. 4. 1	1989	大阪市立科学館条例制定、科学技術館(仮称)の名称を「大阪市立科学館」に決定
平. 元. 5. 31	1989	大阪市立電気科学館閉館
平. 元. 7. 1	1989	大阪府教育委員会において財団法人大阪科学振興協会設立認可
平. 元. 8. 25	1989	建物施設完工、関西電力(株)から大阪市へ引き渡し
平. 元. 10. 7	1989	開館
平. 2. 12. 16	1990	入館者 100 万人達成
平. 5. 12. 25	1993	入館者 300 万人達成
平. 6. 7. 29	1994	第一次展示改装
平. 8. 3. 19	1996	博物館として登録される
平. 9. 5. 18	1997	入館者 500 万人達成
平. 11. 10. 7	1999	第二次展示改装(展示場閉鎖 9/1～10/6)
平. 12. 12. 12	2000	所蔵するカールツァイスプラネタリウム投影機が大阪市指定文化財に
平. 16. 7. 7	2004	プラネタリウム更新
平. 17. 9. 22	2005	条例改正。市条例第 110 号。指定管理者制度導入
平. 18. 3. 2	2006	(財)大阪科学振興協会が指定管理者に指定 (2006/4/1～2008/3/31 の 2 年間)
平. 18. 6	2006	(財)大阪科学振興協会「5 ヶ年の経営計画」策定
平. 18. 9. 28	2006	入館者 1000 万人達成
平. 19. 4. 1	2007	科学館の所管局移管 (教育委員会からゆとりとみどり振興局へ)
平. 20. 2. 1	2008	(財)大阪科学振興協会が指定管理者に指定 (2008/4/1～2010/3/31 の 2 年間)
平. 20. 7. 18	2008	第三次展示改装(展示場閉鎖 5/7～7/17)
平. 21. 10. 7	2009	開館 20 周年記念式典
平. 22. 2. 1	2010	(財)大阪科学振興協会が指定管理者に指定 (2010/4/1～2014/3/31 の 4 年間)
平. 23. 12. 11	2011	プラネタリウムホールプロジェクト更新
平. 24. 3. 31	2012	年間最多入場者数を記録 (773, 442 名)
平. 24. 4. 1	2012	公益財団法人大阪科学振興協会への移行
平. 25. 4. 1	2013	科学館の所管局移管 (ゆとりとみどり振興局から経済戦略局へ)
平. 25. 9. 28	2013	入館者 1500 万人達成
平. 26. 3. 7	2014	(公財)大阪科学振興協会が指定管理者に指定 (2014/4/1～2019/3/31 の 5 年間)
平. 31. 3. 30	2019	光学プラネタリウム更新、展示場一部改装
平. 31. 4. 1	2019	地方独立行政法人大阪市博物館機構の設置、運営となる
平. 31. 4. 1	2019	設置者が変わったため博物館法の規定により博物館登録を解かれる
令. 2. 2. 29	2020	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館(～5/20)
令. 3. 3. 31	2021	博物館法における博物館相当施設に指定される
令. 3. 4. 25	2021	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館(～6/20)
令. 4. 2. 2	2022	全天周映像システム更新、展示場一部改装、地下トイレ改装、電気設備補修
令. 4. 8. 27	2022	入館者 2000 万人達成記念イベント举行
令. 5. 11. 6	2023	第四次展示改装 (全館休館 11/6～7/31)
令. 6. 3. 31	2024	博物館法における登録博物館に指定される
令. 6. 7. 31	2024	展示場リニューアル記念式典・内覧会
令. 6. 8. 1	2024	展示場リニューアルオープン

3. 施設概要

(1) 建物概要

所在地	大阪市北区中之島四丁目2番1号（大阪大学理学部跡地）
敷地面積	16,086.75 m ²
建築面積	3,165.78 m ²
延床面積	9,356.45 m ²
構造	地下1階～2階鉄骨鉄筋コンクリート造 3階以上鉄骨造
施工期間	1988年1月～1989年8月

主要施設面積

階	階数別面積	主要個所の面積		
地下1階	3,065.4 m ²	プラネタリウム 480.0 m ²	研修室 205.5 m ²	工作室 87.8 m ²
1階	1,753.42 m ²	1階展示場 344.0 m ²	展示場合計 3,156.3 m ²	
2階	1,030.14 m ²	2階展示場 421.9 m ²		
3階	1,372.78 m ²	3階展示場 996.0 m ²		
4階	1,877.21 m ²	4階展示場 1,394.4 m ²		
塔屋1階	113.55 m ²			
2階	75.83 m ²			
3階	43.15 m ²	天体観測室 25.8 m ²		

寸法

階	階高	天井高	最高高
地下1階	4,000 mm	2,600 mm	建物高 40,500 mm 31,000 mm
1階	8,500 mm	6,065 mm	
2階	6,500 mm	4,500 mm	
3階	6,500 mm	4,500 mm	
4階	6,000 mm	4,000 mm	

各室定員

プラネタリウム	客席数	267席(内、車椅子スペース5席分)
研修室		80人
工作室		50人
多目的室		120人

建物の特色

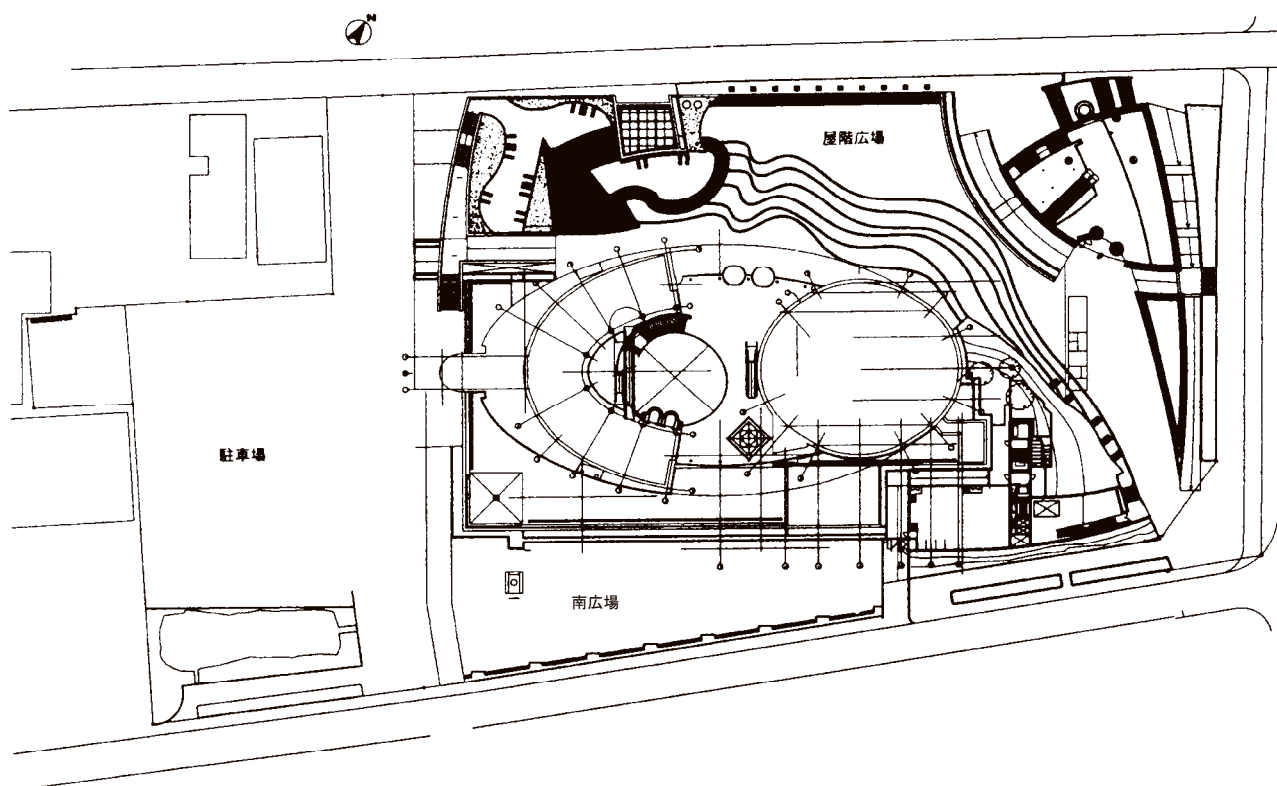
アトリウムを囲んで展示場、プラネタリウムを配した楕円形(惑星の軌道)の建物。
建物中央部の1階～3階の南北両側はガラス張りで見通し可能。プラネタリウムは、世界最大級の直径26.5mのドーム。エネルギー源は電気のみ。

造形作品

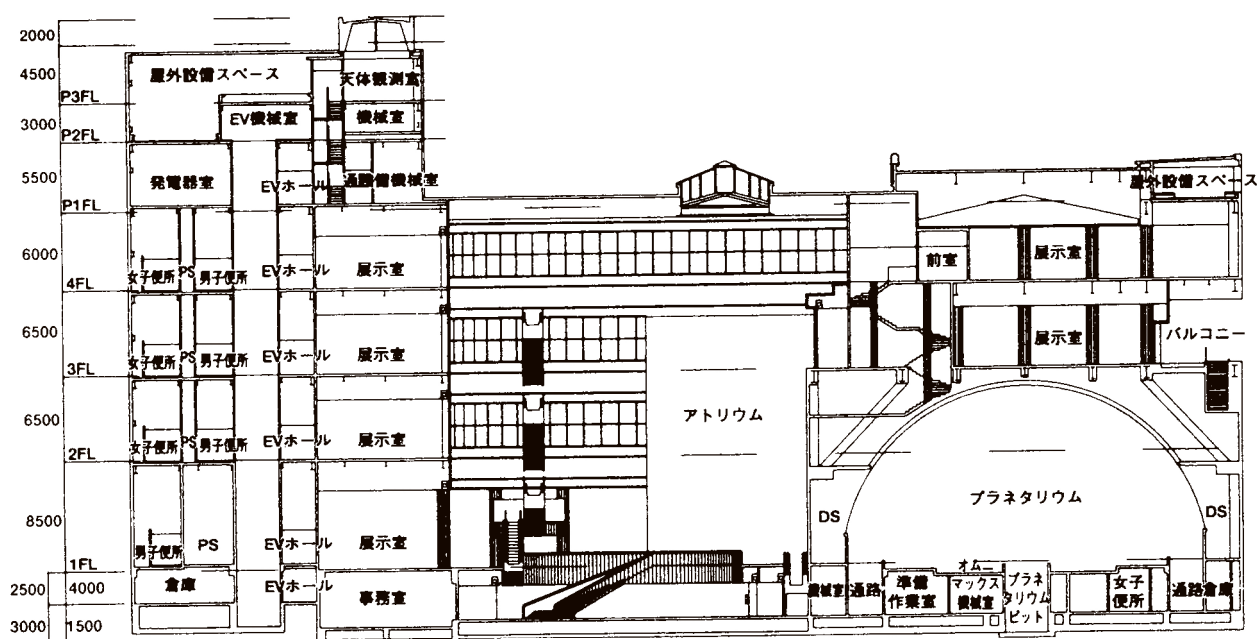
作品名	作者	設置場所・概要
「遊々」	小田 信夫	アトリウム内壁 小鳥が飛ぶレリーフ
「ECHO」	清水 九兵衛	館東側 屋外 モニュメント
「太陽系」	西田 明末	エレベーター前 壁・床一体化したレリーフ
大阪大学理学部跡記念モニュメント	——	北西側 屋外
旧町名継承碑		屋外

(2)配置図・断面図・各階平面図

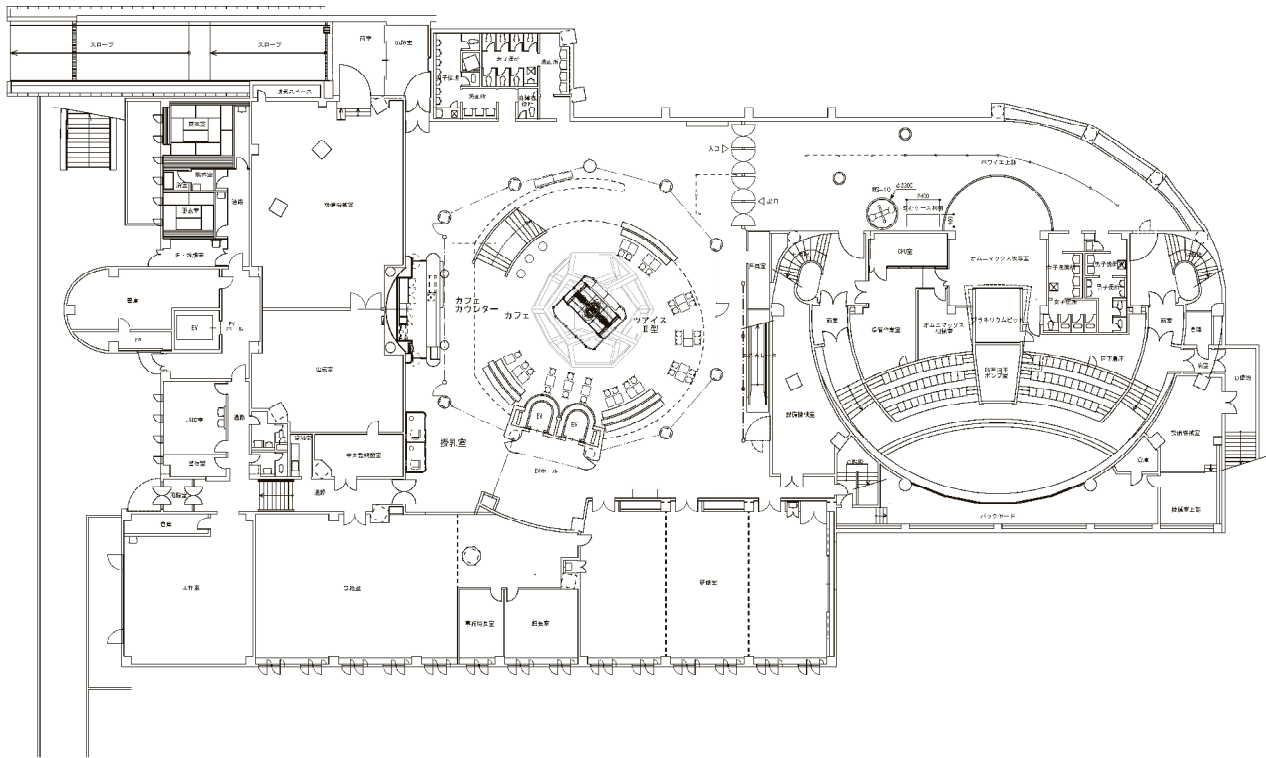
配 置 図



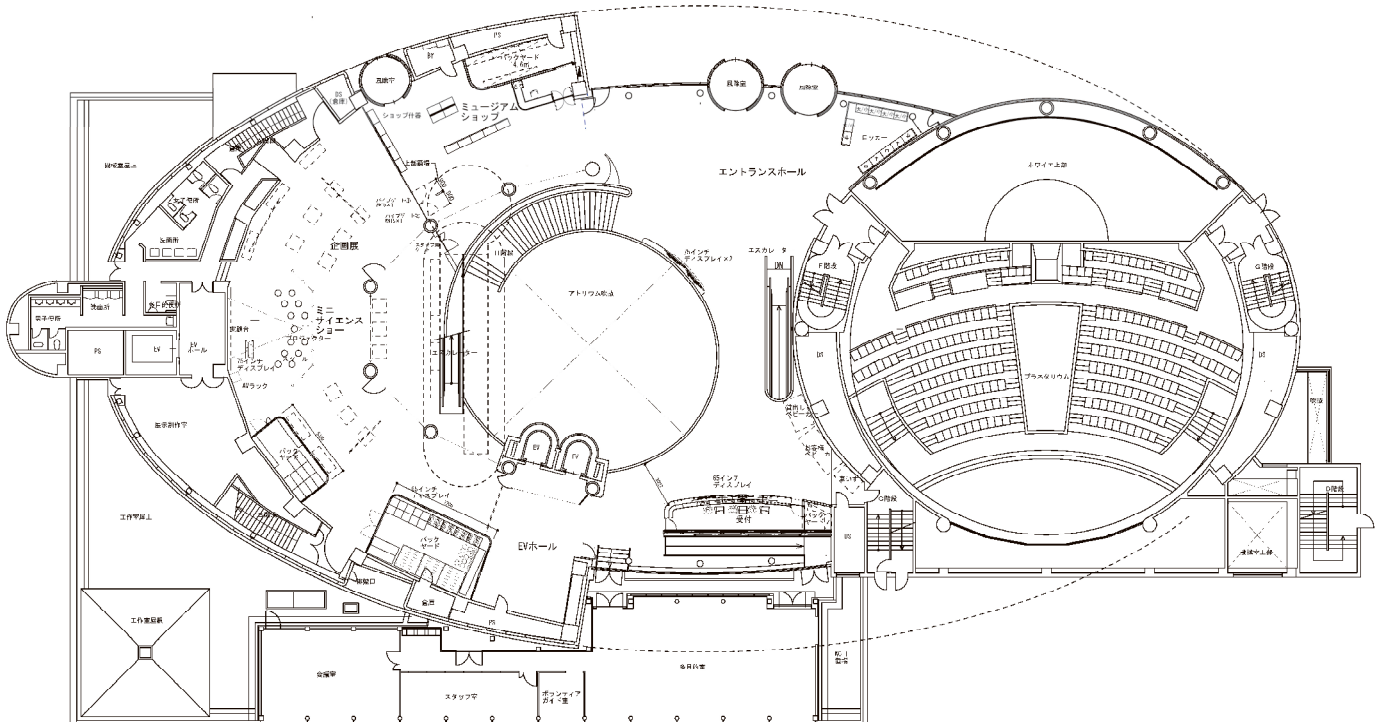
断 面 図



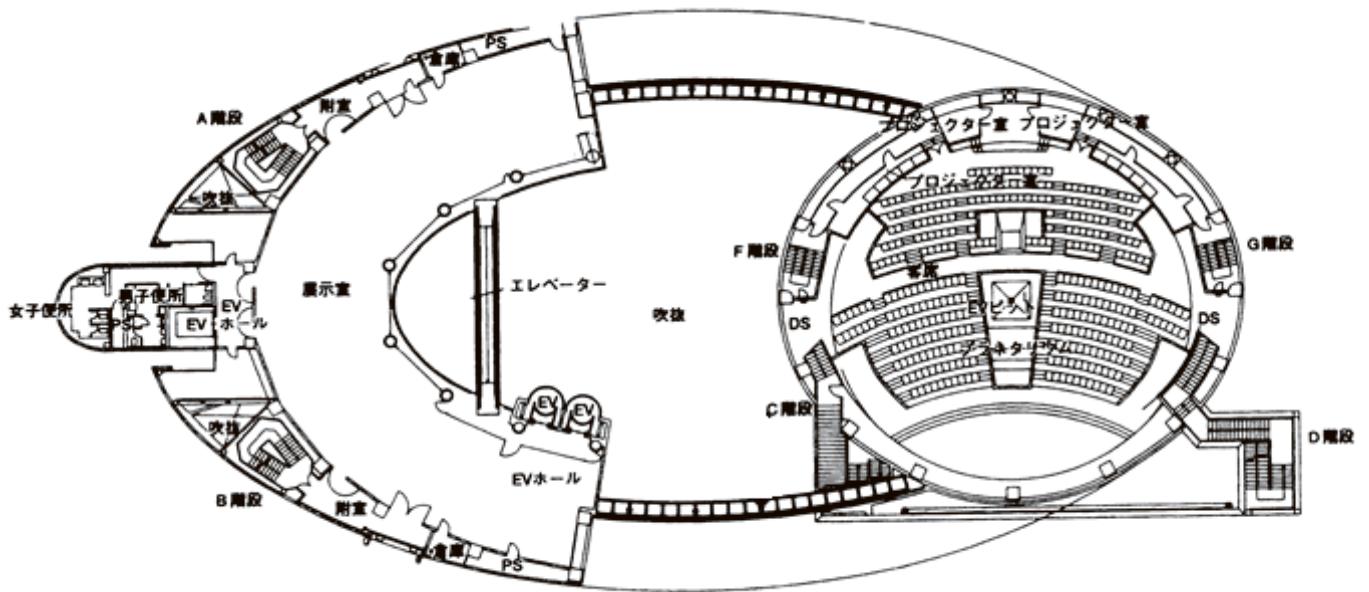
地下1階平面図



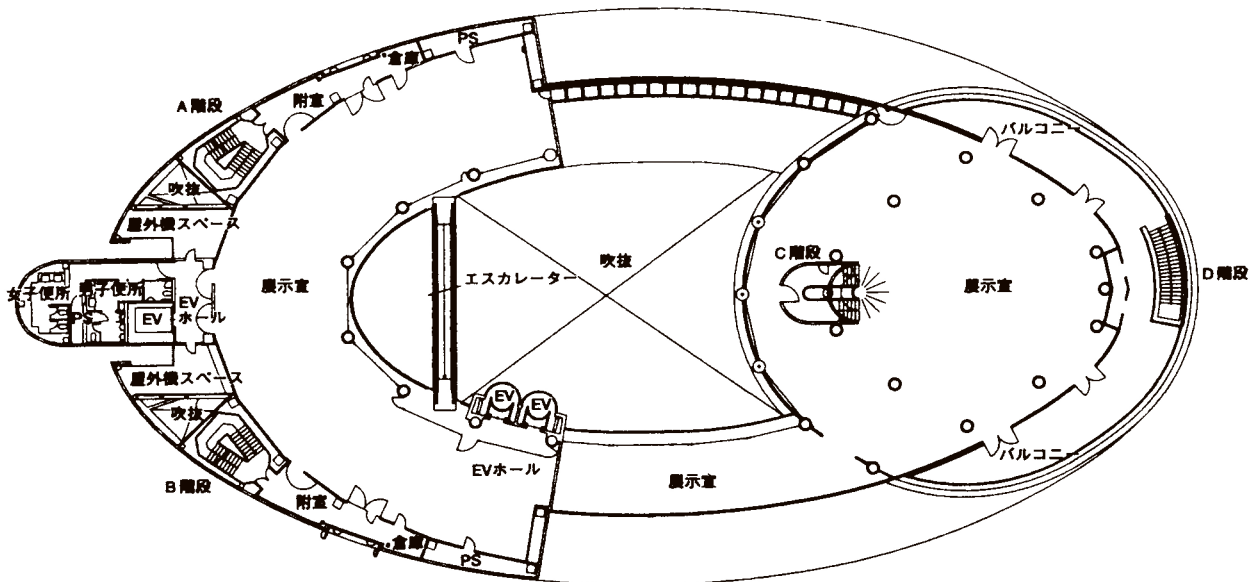
1階平面図



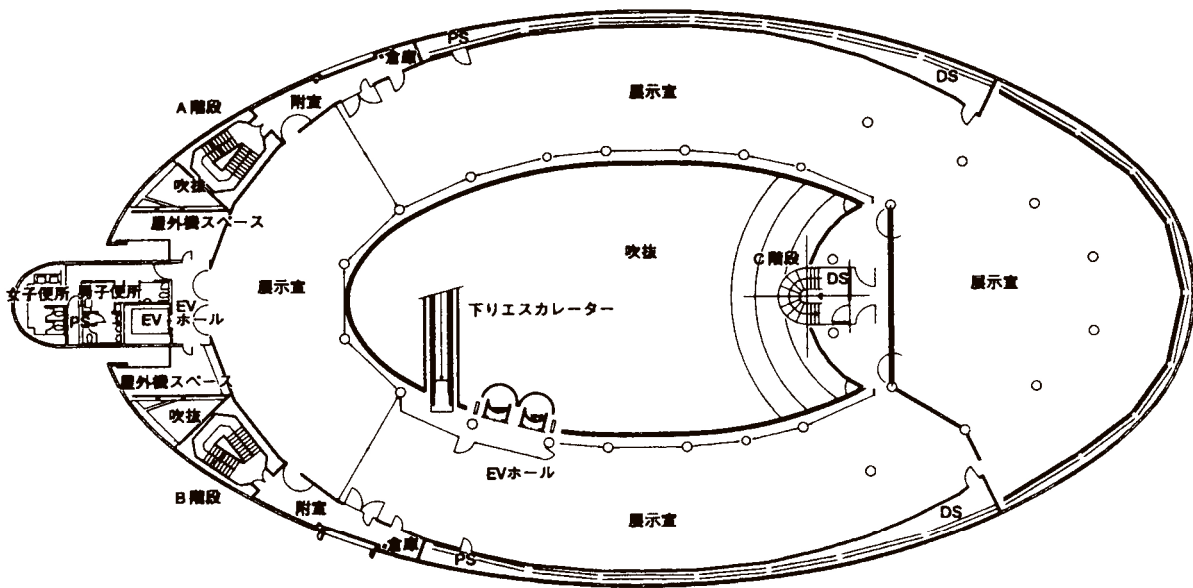
2 階平面図



3 階平面図



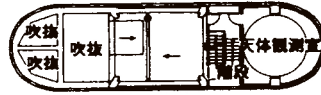
4 階平面図



屋上・塔屋平面図



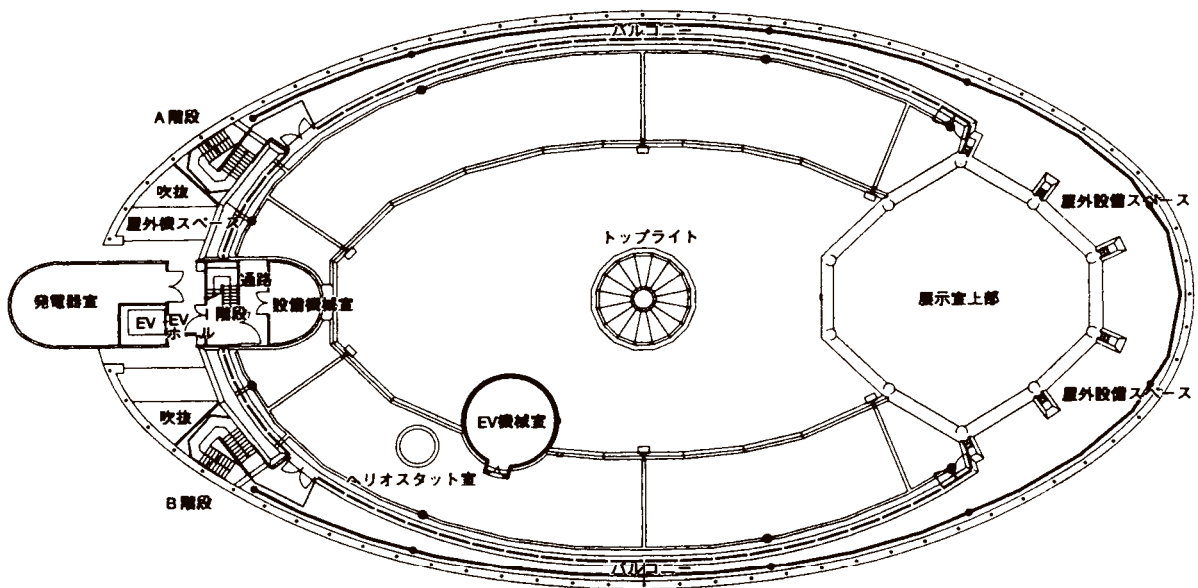
塔屋1階平面図



塔屋2階平面図



塔屋3階平面図



4. 常設展示品一覧

令和7年3月31日現在の展示品(総数228点)及び関係展示コーナー(6ヶ所)は以下のとおり。

(1)4階 科学の探究 展示点数:116 展示場面積:1,394.4 m²

展示品名	整理番号
4. 1 私たちの宇宙	
4. 1. 1 宇宙のすがた	
太陽	4-18-1
惑星体重計	4-18-5
惑星の重力くらべ	4-18-4
太陽系の惑星	4-18-2
隕石	4-18-3
太陽系の小天体	4-24-1
月の満ち欠け	4-18-10
宇宙探査	4-18-19
太陽風と磁気圏	4-18-6
オーロラ	4-18-7
宇宙の階層構造	4-24-2
デジタル星座早見	4-18-17
星の三次元分布	4-24-3
天の川銀河	4-24-4
宇宙の大規模構造	4-99-6
4. 1. 2 宇宙を探る	
波長による見え方くらべ	4-18-16
電波望遠鏡	4-18-12
パラボラゴルフ	4-18-11
赤外線観察装置	4-17-5
望遠鏡のしくみ	4-99-28
生駒山宇宙科学館の反射望遠鏡	4-05-1
紫外線観察装置	4-18-14
X線観察装置	4-18-15
4. 1. 3 素粒子・宇宙線と検出器	
ミュオグラフィ	4-17-1
ニュートリノ研究	4-99-4
宇宙線検出器	4-00-1
大型拡散型霧箱	1-08-20
X線回折装置	4-99-22
真空管式電子顕微鏡	4-99-22
電子顕微鏡「日本電子 JSM-T200」	4-99-22
顕微鏡分光光度計	4-13-1
4. 2 大阪と科学	
4. 2. 1 大阪の科学研究	
コッククロフト・ウォルトン型加速器	4-93-04
バンデグラフ加速器の加速管	4-24-5
小型霧箱	4-24-6

展示品名	整理番号
ウィルソンの霧箱	4-17-2
湯川秀樹	4-24-7
南部陽一郎	4-24-8
磁石のテーブル	4-01-2
4. 2. 2 大阪の科学史	
江戸時代の天文学	4-99-9
橋本宗吉とエレキテル	4-24-9
大阪舎密局	4-99-11
4. 2. 3 大阪の産業史	
住友銅吹所	4-99-10
綿工業・紡績	4-24-10
4. 2. 4 大大阪の繁栄	
シアター(大大阪を支えた電気事業)	4-24-11
学天則、学天則機構模型	1-08-1
4. 2. 5 電気科学館	
磁石説明装置	4-24-12
電界の説明装置	4-24-13
廻転玉子	350
輻射計動作説明装置	4-24-14
射撃練習装置	4-24-15
幻の花	4-24-16
X線実験装置	4-24-17
手動発電機	1-08-6
4. 3 科学と歴史のあゆみ	
4. 3. 1 力と運動	
科学の夜明け(ケース)	4-24-18
滑車	4-24-19
てこ	4-24-20
力くらべ	3-93-02
アーチ橋	4-99-29
歯車	4-24-21
振り子ウェーブ	4-13-5
振り子時計	4-24-22
カオティック振り子	4-01-1
ケプラーモーション	4-17-4
慣性の法則	4-18-22
遠心力	3-93-03
時と暦	4-99-14
リーフラー時計	4-24-23

展示品名	整理番号
4. 3. 2 光と熱	
光のとおり道	4-24-24
光のスペクトル	4-99-34
虹スクリーン	4-99-35
CD のカーテン	4-24-25
3D の虹	4-12-3
光の三原色	4-13-6
光学機器(ケース)	4-99-15
分光(ケース)	4-24-26
熱力学(ケース)	4-99-17
真空中の音と風	4-18-23
4. 3. 3 電気と磁気	
電磁気(ケース)	4-99-20
磁石のイス	4-99-38
天然磁石	4-03-1
静電気マシン	4-99-39
人間電池	4-24-27
電流と磁場	3-94-21
電流が受ける力	3-94-19
強力電磁石	4-17-6
磁力線とコイル	4-99-41
磁力線の花	4-06-1
トランス	4-99-40
電気をおこそう	1-08-8
地下鉄のモーター	4-06-4
渦電流テーブル	1-92-26

展示品名	整理番号
渦電流の応用(リターダ、IH 炊飯器)	4-24-28
アルミがねばる	4-15-2
不思議な金属板	3-94-18
三相交流モーター	4-24-29
電気でジャンプ	4-11-1
ヘルツの実験	4-99-42
4. 3. 4 科学の利用	
手回し発電	4-24-30
水力発電	4-24-31
火力発電	4-24-32
原子力発電	4-24-33
太陽光発電	4-24-34
振動発電	4-24-35
燃料電池発電	4-24-36
いろいろな発電	4-24-37
家電製品のいろいろ	4-24-38
電波の利用	4-24-39
エレクトロニクス	4-24-40
計算機	4-24-41
いろいろなパソコン	1-21-2
スーパーコンピュータ「京」	1-21-1
気象観測モニター	4-18-27
気象観測機器のいろいろ	4-24-42
天気予報ができるまで・ラジオゾンデ	4-24-43
ミニ露場	4-18-26
キューブ君	1-08-2



展示場4階「コッククロフト・ウォルトン型加速器」、「バンデグラフ加速器の加速管」

(2)3階 物質の探究／サイエンスショー 展示点数:72

展示場面積:996.0 m²

展示品名	整理番号
3. 1 鉱物・結晶	
水晶	3-08-6
水晶の構造	3-24-1
鉱物ってなに？	3-24-2
まわしてならべて	3-06-1
結晶を観察しよう	3-24-3
鉱物いろいろ	3-08-1
岩塩	3-24-4
鉱物からできるもの	4-18-32
宝石いろいろ	3-08-3
スロー実験 結晶の成長	3-24-5
3. 2 金属	
金属ってなに？	3-24-6
素材の重さくらべ	3-24-7
素材の冷たさくらべ	4-99-36
金の構造	3-24-8
鉄	3-24-9
金	3-24-10
銀	3-24-11
銅	3-24-12
アルミニウム	3-24-13
チタン	3-24-14
ジュラルミン	3-24-15
合金カタログ	3-24-16
スロー実験 金属のさび	3-24-17
3. 3 セラミックス・ガラス・液晶	
スタンドグラス	3-24-18
ガラスと水晶を見分けよう	3-24-19
ガラスいろいろ	3-24-20
ガラスの構造	3-24-21
セラミックスってなに？	3-24-22
セラミックアート	3-24-23
セラミックスいろいろ	3-24-24
はれたりくもったり	3-24-25
液晶ってなに？	3-24-26
液晶を観察しよう	3-24-27
液晶の構造	3-24-28
3. 4 原子・分子の発見	
実物周期表	4-18-29
元素の利用	4-18-30

展示品名	整理番号
原子体重計	3-24-29
ブラウン運動を観察しよう	3-24-30
ブラウン運動のおもちゃ	3-24-31
においをかいでみよう	3-24-32
においいろいろ(ケース)	3-24-33
メントール結晶	3-14-1
スロー実験 物質の昇華	3-24-34
いろいろな素材のイス	3-24-35
素材の音の聞きくらべ	3-24-36
3. 5 高分子	
プラスチックいろいろ	3-24-37
繊維いろいろ	3-24-38
ナイロン 6,6 の構造	3-24-39
ポリエチレンの構造	3-24-40
プラスチックってなに？	3-24-41
活躍する高分子	3-24-42
スロー実験 生分解性プラスチック	3-24-43
3. 6 色の化学	
色いろいろ	3-24-44
染料いろいろ	3-24-45
顔料いろいろ	3-24-46
プルシアンブルーの構造	3-24-47
花火の科学	3-24-48
光るものいろいろ	3-24-49
クレヨンができるまで	3-24-50
3. 7 大阪のものづくりと化学	
漆	3-24-51
ウルシオール構造	3-24-52
生薬ウォール	3-08-25
生薬とその道具	3-24-53
河内木綿	3-24-54
化粧まわし	3-24-55
和泉蜻蛉玉	3-24-56
堺打刃物	3-24-57
3. 8 私たちの未来と化学	
炭素循環ってなに？	3-24-58
石油に代わるエネルギー・材料	3-24-59
石油の利用	4-08-31
太陽光エネルギーの利用	3-24-60
水素社会実現に向けた新技術	3-24-61

(3)2階 みんなでたのしむサイエンス 展示点数:35

展示場面積:421.9 m²

展示品名	整理番号
2. 1 ボールがころがる	
ボールマシン	360
ボールがはねる道	2-08-2
坂道ゴルフ	2-24-1
ぐるぐるループ	2-11-1
うずをまいて落ちる	2-08-5
車りんのきょうそう	2-24-2
どこにとんでく?	2-24-3
どうして上れる?	2-24-4
どれが曲がれる?	2-24-5
2. 2 鏡にうつる	
ういて見える?	2-08-21
顔がたくさん	2-08-20
ゆがんでうつる?	2-08-15
顔でまんげきょう	2-24-6
わたしがたくさん	2-08-12
むげんにうつる	2-08-11
大きくうつる	2-08-16
いろいろなかがみ	2-24-7

展示品名	整理番号
2. 3 風がふく	
風の通り道	2-24-8
たつまき作ろう	2-24-9
おどる風船	2-24-10
ボールをうかそう	2-24-11
風が引っぱる	2-24-12
2. 4 音がなる	
いろいろな楽器	2-24-13
ピアノの中身	2-08-36
楽器を鳴らそう	2-24-14
音でふるえる	2-24-15
たたいてドレミ	2-24-16
はく手でこだま	2-08-30
音を集める	2-24-17
足あとウェーブ	2-24-18
波のかたち	2-24-19
2. 5 磁石につく	
じ石でつろう	2-24-20
じ力を見よう	2-24-21
地球をうかそう	3-94-22
じ石ゆらゆら	4-17-3



展示場2階「みんなでたのしむサイエンス」

(4) 1階、正面玄関、地階、屋外 展示点数:5

展示品名	整理番号
1階	
博学連携コーナー	4-18-25
地階	
カールツアイスⅡ型プラネタリウム	BF-3
MS-10 型プラネタリウム	BF-4

展示品名	整理番号
正面玄関	
偏光ステンドグラス	1-08-3
屋外	
屋外日時計	A-05-1

(5) その他展示コーナー等

コーナー名	整理番号
デバイスギャラリー	3-99-15
図書コーナー	3-08-35
サイエンスショー	3-08-34

コーナー名	整理番号
サイエンスショー展示コーナー	3-08-36
しゅうりこうぼう	2-08-1
ショーウィンドー(正面玄関横)	1-4-01



地下1階「カールツアイスⅡ型プラネタリウム」

5. プラネタリウム設備及び投影種別

(1) 投影機器類

投影機種類	種 別	仕 様
プラネタリウム	インフィニウム Σ -OSAKA (2019 年コニカミノル タプラネタリウム製)	・恒星:LED 光源、6.5 等星までの約 9,000 個 ・明るい 39 個の恒星(4 つの変光星含む)を個別投影、またたき可、低高度での自動減光可、変光星はパターンならびに学術データにそった変光可 ・スペクトル型に従った色表現ー上位 100 星 ・天の川:35 万個の恒星の集合で表現 ・太陽・惑星:独立した 6 台の投影機から投影 ・月:満ち欠けを機械式で表現する専用投影機の他、月食にも対応するビデオプロジェクターを搭載した投影機も併用 ・地球上のみならず、太陽系内を航行する宇宙船の視点あるいは任意の惑星上での天体の運動も表現可能 ・超新星:日年周に追従する専用投影機により表現 ・タブレットによるリモコン操作、音声認識
補助投影機(1)	メディアグローブ Σ SE (2022 年コニカミノル タプラネタリウム製)	・全天周動画システム ・プロジェクター 6 台 ・フルカラー動画・静止画を投影 ・5.1 チャンネル音響の再生 ・デジタルプラネタリウム機能ー任意の日時や場所での星空をはじめ星座絵・各種座標線・恒星間飛行など多彩な表現が可能 ・各種宇宙天文に関するデータベースを搭載し、宇宙の姿を忠実に再現 ・グラフィカルユーザーインターフェイスにより、リアルタイム操作によるインタラクティブな演出
補助投影機(2)	メディアグローブ Σ (2019 年コニカミノル タプラネタリウム製)	・2 台のプロジェクターで全天に映像を投影 ・プラネタリウムの星空と完全に同期して星座絵や座標線などを投影
音響システム	(2022 年ヒビノスパー ステック製)	・メインスピーカー 8 台、スーパーウーハー 2 台 ・音像移動制御
ドーム照明	LED式照明	・ドーム周囲 360 ユニット、DMX演出制御ー1 ユニット単位で制御 ・ドーム周囲低照度の全周青照明、DMX演出制御 ・ドーム後方から上部照射の作業用高輝度ライト(10 灯)点灯消灯のみ
その他	Amateras Server (2022 年オリハルコン テクノロジーズ製)	・映像入出力補正用メディアサーバー ・メディアグローブ Σ SE からの 5.6K×5.6K の映像出力を投影補正してプロジェクターに出力 ・最大 6K×6K(60p)の全天周映像・平面映像の投影機能、音声出力機能 ・4K×2K の映像入力可能な外部入力 2 系統 ・NDI 方式での FHD 映像入力機能 ・PIP 重ね合わせ機能

その他	統合制御・メディアグローブΣ・メディアグローブΣSE オフライン開発環境(2022 年コニカミノルタプラネタリウム製)	・プラネタリウム、メディアグローブΣ、メディアグローブΣSE 用コンテンツ作成用ツール ・ドーム直径 3mテスト投影ドーム及びプロジェクター(4K×2K 投影)
-----	---	---

(2) 投影の種類

種 類	内 容	備 考
一般投影 A	対象者を限定しない通常行っている投影	その日大阪で見える星空解説と、季節ごとのテーマ解説を生解説で行う。 テーマ解説の内容は、学芸員がシナリオ・演出の基本プランを作成し、制作を実施。コンテンツ(CG 動画、インタビュービデオ等)の一部は外注で制作。 投影時間:約 45 分間
一般投影 B	対象者を限定しない通常行っている投影	その日大阪で見える星空解説と、季節ごとの全天周デジタル映像作品を投影する。 今年度の映像作品は「ブラックホールを見た日」「まだ見ぬ宇宙へ」を投影した。 投影時間:約 45 分間
学芸員スペシャル	対象者を限定しない投影(2019 年 6 月 8 日より開始)	土日祝日の 17:00 に実施。 学芸員が交代で担当。各自の専門・得意分野を生かした投影。 投影時間:約 45 分間
学習投影	小学生・中学生対象にした理科の単元に沿った投影	小学生向けの、日の出入りと星の動き(A)と、中学生向けの、季節変化と惑星(B)の内容で、予約団体に合わせて学芸員の生解説で投影する。それぞれ学習用テキストを配布。 投影時間:約 50 分間
ファミリータイム	主に幼児から小学校低学年までの子供連れの家族向け投影	その日大阪で見える星空解説と月ごとの話題をやさしく解説する。平日の 11:00 からと、学休期間土日祝日の 10:10、13:00 から実施。 投影時間:約 35 分間
特別投影	スペシャルナイト等	学芸員の専門・得意分野を活かした内容や外部講師を招いての投影。90 分間から 120 分間程度。また夏休み期間等に小学校高学年を対象とするプログラムも特別投影と位置付ける。

6. 主な設備・備品

(1)天体観測装置

1-1)天体観測室

屋上塔屋 3 階にあり、以下の設備となっている。天体観望会・プラネタリアムや展示の映像資料作成等に使用されている。ドームは西村製作所製(1989 年)、直径 4.7m。なお、2021 年に 50cm 反射望遠鏡及び同架 10cm 望遠鏡の経年劣化部分について整備を行った。天体観測室の主な設備は以下のとおり。

種 別	備品番号	仕様・品名	備 考
50cm カセグレン・ニュートン兼用反射望遠鏡	—	カセグレン合成焦点距離 600cm(F12) ニュートン焦点距離 200cm(F4) フォーク式赤道儀	1989 年、西村製作所製 (2013 年 駆動系一部改修 自動導入装置追加、2021 年 光学整備)
10cm 屈折望遠鏡	—	焦点距離 1200mm	1989 年、ニコン製。50cm 鏡に同架、2 本(2021 年 光学整備)
冷却 CCD カメラ	—	スターダム BT-20 CompuScope 製 CCD800	1997 年、ビットラン製
CMOS カメラ	—	QHYCCD 社 QHY5III462C QHYCCD 社 QHY5III485C	2021 年 1/2.8" FHD 2021 年 1/1.2" 4K
ビデオ CCD カメラ	—	ビクセン製 B05-3M WATECWAT100N+CBC6mmF0.8(レンズ)	2001 年
イメージインテンシファイアー	—	浜松ホトニクス製 II	1989 年
光電測光装置	—	エイ・イー・エス製 PCPA-1	1989 年
35mm 判カメラ	—	ニコン F3	1989 年
H α フィルタ	—	デイスター製(半値幅 0.6 Å)	1989 年
デジタルカメラ	14013-1 — — — — 2021002-1	ニコン D100 キャノン EOS Kiss Digital フジ Finepix S5pro ニコン D800 ニコン D610 ソニー α 7SIII	2003 年 2006 年 2009 年 2012 年 2015 年 2021 年
カメラ用レンズ	— — —	シグマ全周魚眼レンズ(ニコン用) ニコン魚眼ズームレンズ +ソニー E マウントコンバータ	2008 年 (4.5mm F2.8) 2021 年 (8-15mm F3.5-4.5) 2021 年
低分散分光器・カメラ	—	DSS-7 SBIG ST-7XME-NABG・クラス 1	2010 年

1-2)その他の天体観測機器

種 別	備品番号	仕様・品名	備 考
35cm シュミットカセグレン	06031-1	セレストロン C14 型 口径 35cm	1995 年、移動式赤道儀(旭光学工業製 MS-4)に同架
テレビ観望用望遠鏡	2021006-1	ユニステラ社 eVscope 口径 11.4cm	2021 年
小型望遠鏡	07029-1 07030-1 — —	13cm 反射・GP 赤道儀 2 台 8cm 屈折・GP 赤道儀 2 台 8cm 屈折・GP2 赤道儀 3 台 8cm 屈折・ポルタ経緯台 3 台	1996 年、ビクセン製 1996 年、ビクセン製 2009 年、ビクセン製 2009 年、ビクセン製
双眼鏡		7倍 50mm 6 台 10 倍 50mm 3 台	ビクセン製、Z 型 CF 台数分のカメラ用三脚あり

小型太陽望遠鏡 ならびに太陽電波 受信装置	——	コロナド社 PST TDK パラボラアンテナ及び、マイクロ波検 波装置、記録用 PC	2007 年、川上新吾氏の科研費購 入品より贈与
-----------------------------	----	--	-----------------------------

(2) データ解析装置

種 別	備品番号	仕様・品名	備 考
マイクロフォトメータ	——	ナルミ商会製 101 型	1997 年、東京学芸大学より寄贈
ワークステーション	——	サン Ultra5(メインメモリ 128MB、 ハードディスク 24GB)	2000 年
デジタルアーカイブ	——	Canon Eos Kiss + マクロレンズ EF50mm スタジオワイドセット LPL-L18911 PFU 非破壊ブックスキャナ SCAN SNAP SV-600 PFU OCR スキャナ SCAN SNAP iX1500	2007 年 2013 年 2020 年

(3) ネットワークシステム

館内ネットワークの調査、整備を行い新たに屋上等に情報コンセントを設けた。また、研修室等に Wi-Fi アクセスポイントを設けた。

種 別	仕 様	備 考
LAN	基幹ケーブル:1000BASE F(事務室、プラネタリウム準備室) 支線ケーブル:100BaseT(事務室、館長室、副館長室、研修室、工 作室、1 階資料庫(旧展示制作室)、展示場 1~4 階、プラネタリウム CPU 室、プラネタリウムコンソール、プラネタリウム製作室、屋上旧ヘリオス タット室、天文台)	2002 年 1996 年(2021 年拡張) 2004 年(2021 年拡張)
WAN	国立情報学研究所 SINET に広域 LAN(UNO)で接続(100Mbps)	2014 年
Wi-Fi	事務室、第1会議室(旧応接室)、研修室、工作室、多目的室、サイエンス ステージ、プラネタリウム準備室、天文台、プラネタリウムコンソール	2021 年
プロトコル	LAN・WAN とも TCP/IP	

(4) 物理・化学関係実験装置・測定器等

種 別	整理番号	仕様・品名	備 考
真空ポンプ	——	島津製作所製 D-50	
バンデグラフ起電機	——	島津製作所製 VG-250	
ミリカン電気素量測定器	04011-1	島津製作所製 MLD-10	1993 年
放電管用高圧変圧器	——	島津製作所製	
磁化用コイル	——	島津製作所製 MC-50	
スタティックモータ	——	島津製作所製 SM-3	
ドライアイス製造器	05006-1	島津製作所製 111-050	1993 年
ドラフトチャンバ	——	島津製作所製 CB-1	
純水製造器	08020-1	島津製作所製 SWAC-100	1997 年
超音波洗浄機	——	島津製作所製 SUS-103	
化学実験投影装置	——	島津製作所製 TOS-10	
万有引力測定実験器	——	マリス製	1994 年、住友銀行中之島支店よ り寄贈
水波投影装置	05014-1		1994 年
紫外線物質鑑定器	——	マリス製	

電子線回折装置	06025-1	マリス製 06-1131-CML	1995 年
遠心分離器	——	サンコー製 CW-1400	
PH 計	06011-2	東亜電波工業製 HM-14P	1995 年
電気導電率計	06021-1	東亜電波工業製 CM-14P	1995 年
CCD カメラ	14004-1	エルモ製 SK-2120	2002 年
顕微鏡	05025-2	カートン製 VS	1994 年、10 台
X線装置	14041-1	ケニス 1-121-330 B-4	2003 年
デジタル分光器	11023-1	島津 V-30D	2000 年
電解装置	06015-1	マリス 11-6275 A-DM	1994 年
放射温度計	05054-1	TA-0510F	1994 年
放射線計数装置	04012-1	島津 RMS-6	1993 年
演示用てこ	04008-1	マリス 03-0278	1992 年
衝突球	04007-1	マリス 03-1533	1992 年
真空ポンプ	08017-1	マリス 03-6384-S-30P	1996 年
イオン分析器	08029-1	IA-100	1997 年
オシロスコープ	08032-1	島津 DSS-533	1997 年
大型ナトリウム光源	09016-1	島津 NLA-10	1997 年
テスラ実験装置	10010-1		1999 年
ナトリウム吸光器	11008-1	マリス 03-9730-CNN	1999 年
偏光顕微鏡	——	Nikon	2010 年 小村良二氏より寄贈
ツインタワーバンデグラフ	——	島津 VG-T	2010 年
高速度カメラ		キーエンス VW-9000	2012 年
高性能ズームレンズ		キーエンス VH-Z20W	2013 年
電動ステージ		キーエンス VHX-S90F/VH-S30B	2014 年
半導体レーザー干渉計		石川光学造形研究所 LDIF-1	2017 年

(5)オンライン収録・配信用機器

令和 2 年から続く新型コロナウイルス感染症のまん延で、外出や広域での移動が抑制される一方、オンラインでの視聴環境が家庭、学校等で整ってきたこともあり、オンラインでの事業が増えてきた。これらの品質を高め、効率化を図るため令和 3 年度に文化庁による新型コロナウイルス感染症まん延対策の助成(半額)を受け、収録・配信用機器を整備した。なお、天体の映像撮影にも使用するものは(1)天体観測機器と共用している((共)を付した)。

種 別	整理番号	仕様・品名	備 考
カメラ	2021002-1	ソニー α 7SIII (共)	2021 年 天体機器共用
	2021005-1	Panasonic LUMIX GH5II	2021 年
	2021004-1	ソニー ZV-1	2021 年
カメラレンズ	2021003-1	タムロン A046SF 17-28mm F/2.8	2021 年 SONY E マウント用
書画カメラ		プリンストン PDP-4K13 4K カメラ	2021 年
顕微鏡カメラ		サードウェーブ ビティニーUM08 FHD	2021 年
テレビ観望用望遠鏡	2021006-1	ユニステラ社 eVscope(共)	2021 年
望遠鏡用カメラ		QHYCCD 社 QHY5III462C(共)	2021 年 1/2.8" FHD
		QHYCCD 社 QHY5III485C(共)	2021 年 1/1.2" 4K
映像配信用スイッチャー		ATEM Mini PRO 2 セット	2021 年 HDMI
		ATEM Mini	2020 年 HDMI
映像中継、カメラコントロール、コンテンツ送出用 PC	2021009-1,2	Dell G15 2 セット	2021 年
		Microsoft LAPTOPGO 2 セット(共)	2021 年 WEB カメラ付き
配信用音響ミキサー	2021009-3	Dell XPS デスクトップ	2021 年
		YAMAHA AG03 CANON I/F USB OUT	2020 年

映像モニター		EIZO FlexScan EV2785 2セット IO データ LDC131DBM	2021 年 27 型 4K 2021 年 13 型 FHD
野外用ポータブル 電源		Anker PowerHouseII 400 300Wh	2021 年

7. 大阪市立科学館利用規程

制 定 平成 31 年 4 月 1 日
大阪市博物館機構規程 第 37-4 号

(趣旨)

第 1 条 大阪市立科学館（以下「科学館」という。）の利用に関しては、この規程の定めるところによる。

(休館日)

第 2 条 科学館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その日後最初に到来する休日以外の日）
- (2) 12 月 28 日から翌年 1 月 4 日まで

2 前項の規定にかかわらず、科学館の館長（以下「館長」という。）は、科学館の設備の補修、点検若しくは整備、天災その他やむを得ない事由があるとき又は科学館の効用を発揮するため必要があるときは、事前に又は速やかに理事長の承認を得て同項の規定による休館日を変更し、又は臨時の休館日を定めることができる。

3 館長は、前項の休館を行う場合、事前に又は速やかにその内容を公告しなければならない。

(供用時間)

第 3 条 科学館の供用時間は、午前 9 時 30 分から午後 5 時までとする。

2 前条第 2 項及び第 3 項の規定は、科学館の供用時間について準用する。この場合において、同条第 2 項中「前項」とあるのは「第 3 条第 1 項」と、「休館日を変更し、又は臨時の休館日を定める」とあるのは「供用時間を変更する」と、同条第 3 項中「前項」とあるのは「第 3 条第 2 項の規定により読み替えられた第 2 条第 2 項」と読み替えるものとする。

(入館の制限)

第 4 条 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を断り、又は退館させることができる。

- (1) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑となる行為をするおそれがある者
- (2) 建物、設備又は展示品を損傷するおそれがある者
- (3) 他人に危害を及ぼし、若しくは他人に迷惑となる物品又は動物を携行する者
- (4) 管理上必要な指示に従わない者
- (5) その他管理上支障があると認める者

(特別観覧の許可)

第 5 条 科学館等資料について特別の観覧をしようとする者は、館長の許可を受けなければならない。

2 特別の観覧に関する手続きについては、別に定める。

(貸出しの許可)

第 6 条 科学館等資料の貸出しを受けようとする者は、館長の許可を受けなければならない。

2 科学館等資料の貸出しに関する手続きについては、別に定める。

(利用料金)

第7条 科学館を観覧しようとする者は、館長に利用料金を支払わなければならない。ただし、学校教育法(昭和22年法律第26号)第17条第1項に定める小学校就学の始期に達しない者、小学校(これに準ずるものを含む。)の児童及び中学校(これに準ずるものを含む。)の生徒に係るプラネタリウム及び特別の展示を除く観覧料については、この限りではない。

2 利用料金の額は、次に掲げる区分に応じて定める金額の範囲内において、館長があらかじめ理事長の承認を得て定める。利用料金の額を変更しようとするときも、同様とする。

- (1) 観覧料(特別の展示に係るものを除く)1人1回につき別表に掲げる金額
- (2) 特別の展示に係る観覧料 特別の展示ごとに理事長が定める額

3 理事長は、前項の承認を行ったときは、速やかに当該承認を行った利用料金の額を公告するものとする。

4 館長は、公益上の必要その他特別の事由があると認めるときは、別に定める要項に基づき、利用料金を減額し、又は免除することができる。

(損害の賠償及び事故の責任)

第8条 科学館を観覧する者が建物、設備又は科学館等資料を損傷し、又は亡失したときは、理事長の定めるところに従い、これを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程の施行期日は、平成31年4月1日とする。
- 2 本規定の施工前に納付された利用料金については、なお従前の例による。

別表(第7条関係)

種 別	区 分	観 覧 料	団体(30人以上) 観覧料
展 示 場	高等学校、高等専門学校、大学及びこれらに準ずる教育施設に在学する者	300 円	240 円
	その他の者	400 円	320 円
プラネタリウム ホール	3 歳以上中学生以下	300 円	240 円
	高等学校、高等専門学校、大学及びこれらに準ずる教育施設に在学する者	450 円	360 円
	その他の者	600 円	480 円

附録 大阪市立科学館職員名簿

(2025 年 3 月 31 日現在)

職 名	氏 名	備 考
館長	吉 岡 克 己	
副館長		
総務企画課		
総務企画課長	小 野 昌 弘	
総務企画課長代理	石 坂 千 春	兼学芸課研究副主幹
総務企画課長代理	田 中 智 恵	
総務係長（総務）	大 本 真 紀	兼事務局総務課総務係長（2024/10/1～2025/3/31）
（総務・設備）	本 安 雄 貴	
（総務・設備）	山 本 幸 恵	
（経理）	新 富 淳 子	
（経理）	森 田 直 子	
主任（広報）	竹 浦 雅 美	
（広報・企画評価）	伊 丹 柚	
副主任（サービス）	西 岡 直 子	
副主任（サービス）	曾我部 孝 子	
副主任（企画評価）	永 原 達 哉	
学芸課		
学芸課長	嘉 数 次 人	学芸員
学芸課長代理	渡 部 義 弥	学芸員
理化係長	大 倉 宏	学芸員
	上 羽 貴 大	学芸員
	猪 口 睦 子	学芸員
	木 村 優 斗	技術職員
天文係長	飯 山 青 海	学芸員
	江 越 航	学芸員
	西 野 藍 子	学芸員
	野 村 美 月	学芸員

異 動

転入			転出		
吉岡 克己	2024/ 4/1	新規採用	大倉 宏	2025/3/31	退職
大本 真紀	2024/ 4/1	大阪市博物館機構事務局			
猪口 睦子	2024/ 4/1	新規採用			
野村 美月	2024/ 4/1	新規採用			
木村 優斗	2024/ 4/1	新規採用			
山本 幸恵	2024/10/1	大阪歴史博物館			
伊丹 柚	2024/10/1	新規採用			

補助スタッフ

氏 名	担当、備考	氏 名	担当、備考
桺川 晏里	プラネタリウム解説	長尾 碧	プラネタリウム解説
松本 怜	プラネタリウム解説	谷坂 明代	ボランティア指導
筒井 満	ボランティア指導	出山 茂雄	ボランティア指導
青木 司	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の展示品「月の石」の監視	今谷 恵美子	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の展示品「月の石」の監視
玉垣 伸行	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の展示品「月の石」の監視	前田 武克	企画展「万博で夢見たサイエンス展」の展示品「月の石」の監視

大阪市立科学館概要

名 称：大阪市立科学館（博物館法第 29 条による博物館に相当する施設）

所 在 地：〒530-0005 大阪市北区中之島四丁目 2 番 1 号

設 置 者：大阪市

運 営：地方独立行政法人大阪市博物館機構（2019 年 4 月 1 日設立）

開 設：1989 年 10 月 7 日

敷地面積：16,086.75 m²（市有地）

建築面積：3,165.78 m²

延床面積：9,356.45 m²

建物概要：鉄筋コンクリート造、地上 4 階地下 1 階塔屋、高さ 31m（塔屋まで 40.5m）

外装ホワイトグレー色磁器タイル張

職 員 数：24 名

設置目的：自然、科学及び科学技術に関する資料等を収集し、保管して公衆の観覧に供するとともに、当該資料等に関する調査研究及び普及活動を通じて、市民の文化と教養の向上を図るとともに、学術の発展に寄与することを目的とする。（以上、定款による）

事 業：・自然、科学及び科学技術に関する実物、標本、現象に関する資料その他資料（以下「博物館等資料」という。）を収集（制作及び寄託を含む）し、保管し、プラネタリウム投影を含む公衆の観覧に供する。

- ・博物館等資料に関する国内外の資料及び情報を収集し、整理し、提供する。
 - ・調査研究を行う。
 - ・博物館等資料並びにその保管及び公衆の観覧並びに前条の調査研究に関する教育及び普及の事業を行う。
 - ・施設の提供や協働事業を通じて、市民が自らの学習の成果を活用して行う教育活動機会の提供とその奨励を行う。
 - ・博物館等資料を国内外の博物館その他これに類する施設と貸借し、及び交換することができる。
- （以上、地方独立行政法人大阪市博物館機構業務方法書による）

運営テーマ：「宇宙」と「エネルギー」を中心にそれらに関連する様々な科学知識・技術の普及、啓発、研究

大阪市立科学館 館報 Vol. 35

令和 6 年（2024 年）度版

編集発行 大阪市立科学館
（地方独立行政法人 大阪市博物館機構）
〒530-0005
大阪市北区中之島四丁目 2 番 1 号

発行日 令和 7 年 6 月 13 日
印刷 あさひ高速印刷株式会社
〒550-0002
大阪市西区江戸堀二丁目 1 番 13 号
